

津市立安東小学校給食受入施設改修工事

設計図

図面リスト					
図面番号	建築	図面番号	電気設備	図面番号	機械設備
A-01	特記仕様書01	E-01	電気設備特記仕様書1	M-01	機械設備 特記仕様書1
A-02	特記仕様書02	E-02	電気設備特記仕様書2	M-02	機械設備 特記仕様書2
A-03	特記仕様書03	E-03	電気設備特記仕様書3	M-03	図示記号・衛生器具表
A-04	特記仕様書04	E-04	電灯設備・自動火災報知設備 1F平面図(改修前)	M-04	平面詳細図1F(改修前) 給排水衛生設備
A-05	特記仕様書05	E-05	電灯設備・自動火災報知設備 1F平面図(改修後)	M-05	平面詳細図1F(改修後) 給排水衛生設備
A-06	特記仕様書06	E-06	コンセント・動力設備 1F平面図(改修前)	M-06	空調機器表・換気機器表
A-07	附近見取図、配置図	E-07	コンセント・動力設備 1F平面図(改修後)	M-07	平面詳細図1F(改修前) 空調換気設備
A-08	仕上表、1階平面図兼内部仮設計画図	E-08	弱電設備 1F・2F平面図(改修後)	M-08	平面詳細図1F(改修後) 空調換気設備
A-09	平面詳細図1F(改修前)				
A-10	平面詳細図1F(改修後)				
A-11	矩計図(改修前・後)				
A-12	展開図01(改修前)				
A-13	展開図01(改修後)				
A-14	展開図02(改修後)				
A-15	天井伏図1F(改修前)				
A-16	天井伏図1F(改修後)				
A-17	建具配置図・建具表(改修前・後)				
A-18	雑詳細図(改修後)				
A-19	雑詳細図(改修後)				
A-20	外構図(改修前)				
A-21	外構図(改修後)				

NISSHIN
 SEKKEI
 日新設計株式会社

工事特記仕様書（改修）	
I. 工事名称	津市立安東小学校給食受入施設改修工事
II. 工事概要	
1 工事場所	三重県津市納所町245
2 敷地面積	12,230㎡
3 工事内容	
標名称	校舎
構造	鉄筋コンクリ造
建築面積	
延べ面積	工事対象87.83㎡
工事項目	内外装改修、躯体改修等
III. 建築改修工事仕様	
1 共通仕様	
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版（以下「改修標準仕様書」という。）による。	
2 特記仕様	
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。	
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。	
(3) 項目欄に記載の()内表示番号は改修仕様の該当項目等を示す。	

章	項目	特記事項																				
① 一般共通事項	① 適用基準等	<p>① 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官庁営繕部監修（平成28年版）</p> <p>② 建築工事標準仕様書 国土交通大臣官庁営繕部監修（平成28年版）</p>																				
	② 施工条件	<p>施工方法及び検査に関する事項</p> <p>※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。</p> <p>※ 作業着手までの校内調査は、事前に学校及び市監督員の承諾を得るものとし、学校の授業終了後、休日等の行事に影響を与えない範囲とする。</p> <p>※ 工事中の安全計画、消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。</p> <p>※ 工事作業については、学校運営に支障をきさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。</p> <p>※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。</p> <p>※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。</p> <p>※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。</p> <p>※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。</p> <p>※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。</p> <p>※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。</p> <p>※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。</p> <p>※ 工事着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監督員立会いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。</p> <p>※ 設計図面に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事を含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。</p> <p>※ 工事用水、電力については施設既存の施設を無償で利用できる。但し、学校業務に影響しないよう事前に打ち合わせのうえ計画し、施工すること。</p> <p>※ 現場着手は、原則、7月20日からとする。但し、学校及び監督員との協議により承諾を得た場合は、この限りではない。</p> <p>※ 8月30日までに、市検査課による完了検査を受け、引き渡しを行うこと。（書類含む）</p> <p>※ 作業後の校舎等の施設については学校側と十分協議を行うこと。</p>																				
	③ 発生材の処理等（1.3.12）	<p>本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号、以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施等について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>工事契約書に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>分別解体等の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造成等</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>上部構造部分・外装</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>○ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>建築設備・内装等</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>○ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他（ ）</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 引き渡しを要するもの（ ・ 無 ・ ） ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有（ ） 処理方法（ ）</p> <p>○ アスベスト 成形板等解体時の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。 飛散させないよう封じること。 保護具及び作業着を着用すること。 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。 事前使用箇所や状況の調査を行い記録すること。 <p>・ 現製において再利用を図るもの（ ）</p> <p>○ 再資源化を図るもの（ ） ○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ○ 建設発生材</p> <p>引渡を要するもの、再資源化を図るものについては計画書を作成し、監督員へ提出すること。</p> <p>引渡を要するもの以外のものは、全て構内へ搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設部産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェスト A、B、D票を提示すること。</p>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	その他（ ）	・ 有 ・ 無
工程	作業の有無	分別解体等の方法																				
造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
上部構造部分・外装	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
その他（ ）	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				

4 建設部産物情報交換システムの利用	<p>再生資源の利用又は建設部産物の搬出がある場合、受注者は受注前において工事請負代金額が1億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。</p> <p>また、工事着手前にはJACIで運営する「建設部産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。</p> <p>本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの期間に別定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。</p> <p>なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。</p>																																
⑤ 三重県産業廃棄物税	適用する																																
6 電気保安技術者（1.3.3）	職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。																																
7 技能士（1.6.2）	調査範囲及び調査方法 ・ 工種別の特記による																																
8 施工数量調査（1.5.2）	補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）																																
9 調査のための破壊部分の補修（1.5.3）																																	
⑩ 建築材料等	<p>1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。</p> <p>2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。</p>																																
11 化学物質の濃度測定（1.6.9）	<p>測定対象化学物質（●で示したのとする。）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>施設用途</th> <th>ホルムアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>エチルベンゼン</th> <th>スチレン</th> <th>パラジクロロベンチ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>学校 教育施設</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td>住宅</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）</p> <p>測定方法（ ・ パッシブ法 ・ アクティブ法）</p> <p>報告書提出回数 2 部</p> <p>改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。</p> <p>低騒音型・低振動型騒音機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。</p>	適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンチ		学校 教育施設	●	●	●	●	●	●		住宅	●	●	●	●	●			その他	●	●	●	●	●	
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンチ																										
	学校 教育施設	●	●	●	●	●	●																										
	住宅	●	●	●	●	●																											
	その他	●	●	●	●	●																											
12 特別な材料の工法	当修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。																																
⑬ 騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型騒音機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。																																
⑭ 工事写真	当修工事写真撮影要領 国土交通省大臣官庁営繕部（平成28年版）に従い撮影する。 提出回数 1部 用紙は上質紙とする。																																
⑮ 完成図（1.8.2）	<p>作成する（ ○ 完成図 ・ 保金に関する資料 ・ （ ） ）</p> <p>完成図作図範囲（設計図を訂正）</p> <p>完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる著作権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。</p>																																
⑯ 完成写真	○ デジタルカメラで撮影し、全てA4版相当サイズで印刷する。 （A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。																																
17 設備工事との取合い	<p>施工範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の封鎖 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び封鎖 自動昇降装置取付け箇所切込み及び封鎖 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ <p>施工図</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。 <p>工事施工の際し、在来部分を汚損した場合又は損壊した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。</p>																																
⑱ 既存部分等へ（1.3.13）	工事の施工中事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。																																
⑲ 事故報告																																	
20 消防提出書類	<p>1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ・ 本工事（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事） ・ 別途工事</p> <p>2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。</p>																																
21 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。																																
⑳ 不正給油の使用の禁止	<p>1) 一般事項 市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正給油（地方税法第144条の32 製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料を用い。）を使用してはならない。</p> <p>2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならぬ。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。</p> <p>3) 是正措置 受注者は、不正給油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正給油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。</p>																																
23 屋外広告物	屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。																																

② 仮設工事	① 足場（2.2.1）（表2.2.1）	<p>設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び伸縮木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>内部足場の種別 ○ 脚立 ・ 足場板 ・ （ ） 外部足場の種別 ○ （手摺先行くさび型足場） 防護シート 等による養生 ・ 適用する ・ 適用しない</p>																																				
	② 既存部分の養生（2.3.1）	<p>既存部分の養生 ○ 図示（図面番号： A-08）</p> <p>既存フラインド・カーテンの養生 養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ・ 行わない</p>																																				
	3 仮設間仕切り（2.3.2）（表2.3.1）	<p>屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種 合板 厚さ ・ 9mm ・ （ ） せっこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・ （ ） 合板又はせっこうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない 仮設扉 設置箇所 ・ 図示（図面番号： ） 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p>																																				
	4 監督員事務所（2.4.1）	<p>・ 構内建物内の一部を使用する。 ・ 設置する ・ 設置しない 監督員事務所の規模 単位 m²</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用規模</th> <th>10程度</th> <th>20程度</th> <th>35程度</th> <th>65程度</th> <th>100程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監督員事務所の上げ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>部 位 等</td> <td colspan="5">仕 上 げ</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td colspan="5">合板張り又はビニール床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td colspan="5">合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td colspan="5">装着防水シートつき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </tbody> </table>	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	監督員事務所の上げ						部 位 等	仕 上 げ					床	合板張り又はビニール床シート張り					内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り					屋根	装着防水シートつき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り				
	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																
	監督員事務所の上げ																																					
	部 位 等	仕 上 げ																																				
	床	合板張り又はビニール床シート張り																																				
	内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																				
	屋根	装着防水シートつき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																				
5 監督員事務所の備品等（2.4.1）(b)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>机・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>長靴</td> <td>雨合羽</td> <td>保護眼鏡</td> <td>懐中電灯</td> <td>衣類ロッカー</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>消火器</td> <td>掃除具</td> <td>受注者加入電話 FAX</td> <td>冷暖房機器</td> <td>インターネット</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </tbody> </table>	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護眼鏡	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	台	台	台	
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																	
数量	組	台	個	個	個																																	
種類	長靴	雨合羽	保護眼鏡	懐中電灯	衣類ロッカー																																	
数量	足	着	個	個	台																																	
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット																																	
数量	個	個	台	台	台																																	
⑥ 仮設便所	<p>構内既存の施設 ・ 利用できる ○ 利用できない</p>																																					
⑦ 工事用水	<p>構内既存の施設 ○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない</p>																																					
⑧ 工事用電力	<p>構内既存の施設 ○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事起因する電力料金は、本工事に含まれる。</p>																																					
⑨ 交通誘導警備員	配置 ○ 図示（図面番号： A-07）																																					

原図：A2

備考		<p style="text-align: center;">NISSHIN SEKKEI 目新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹</p>	Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事				DATE
			Drawng Title	特記仕様書01				SCALE
				担当建築士				Nb Scale
				管理建築士	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分憲之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327099 倉田和彦

防水改修工事

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 仕上塗料. Includes sections for 1 アスファルト防水, 2 改質アスファルトシート防水, 3 合成高分子系ルーフィングシート防水, 4 塗膜防水, 5 既存防水層表面の仕上塗料の除去.

Table with 4 columns: 種類, 材種, 施工箇所, 改修工法. Includes sections for 6 シーリング, 7 とい, 8 アルミニウム製笠木, 4 外壁改修工事.

Table with 4 columns: 改修工法等, 種類, 材料, 仕様. Includes sections for 3 改修工法等, 4 外壁改修工事, and 5 既存防水層表面の仕上塗料の除去.

原図: A2

備考

NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

津市立安東小学校給食受入施設改修工事 特記仕様書02 担当建築士 管理建築士 一級建築士 No.265708 出口基樹

A-02

④ 塗り仕上げ (4.2.2)(j) (表4.2.4(その1) (その2))	種類	呼び名	仕上げ形状	工法																		
	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず形状	吹付け																		
			・ 平たん状 ・ 凹凸状	こて																		
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ ゆず形状 ・ さざ波状	ローラー																		
・ 吹出し ・ 凸凹処理			吹付け																			
複層仕上塗材	・ 外装厚塗材S ・ 外装厚塗材E	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて																			
		・ 吹出し ・ 凸凹処理	吹付け																			
可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材F ・ 可とう形改修塗材G	・ ゆず形状	ローラー																			
		・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず形状	吹付け																			
・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量(kg/m ²)																						
・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種 仕上材塗り()																						
複層仕上塗材の上塗材の種類																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶剤種類</th> <th>外観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ シリカ系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ ポリウレタン系</td> <td>・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ アクリルシリコン系</td> <td>・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ ふっ素系</td> <td>・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> </tbody> </table>					樹脂種類	溶剤種類	外観	・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ポリウレタン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ ふっ素系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
樹脂種類	溶剤種類	外観																				
・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																				
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																				
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																				
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																				
・ ふっ素系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																				
(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。																						
既存塗膜等の除去及び下地処理																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜よく離れ工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ テッキブラシ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧ポンプ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					工法	処理範囲	・ サンダー工法		・ 高圧水洗工法		・ 塗膜よく離れ工法		・ 水洗い工法		・ テッキブラシ		・ 高圧ポンプ					
工法	処理範囲																					
・ サンダー工法																						
・ 高圧水洗工法																						
・ 塗膜よく離れ工法																						
・ 水洗い工法																						
・ テッキブラシ																						
・ 高圧ポンプ																						
下地調整 <input type="checkbox"/> O-1 <input type="checkbox"/> O-2 <input type="checkbox"/> OM2 <input type="checkbox"/> E ()																						

⑤ 建具改修工事	① 改修工法 (5.1.3)	・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法 ・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法
	2 防火戸 (5.1.4)	・ 例示仕様 ・ 個別認定(認定番号:) ・ 自動閉鎖機構 ・ 図示(図面番号:)
	3 見本の製作 (5.1.5)	・ 製作する ・ 製作しない
	4 防犯建物部品 (5.1.7)	・ 図示(図面番号:)
5 ブラインドボックス等 (5.1.6)(c)	・ 再使用する ・ 再使用しない	
⑥ アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2)	性能等級等 ・ A種 <input checked="" type="radio"/> B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ・ 耐震ドアセット(等級) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示(図面番号:) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 <input checked="" type="radio"/> 外側に面する建具 ・ B-1 <input checked="" type="radio"/> B-2 () ・ 内側に面する建具 ・ O-1 ・ O-2 ()	

7 網戸 (5.2.3)(e)	・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ 性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種
8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~ (表5.3.3)	・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ガラス ・ 複層ガラス () 建具枠見込寸法 ・ 図示(図面番号:) 水切り ・ 図示(図面番号:) ぜん板 ・ 図示(図面番号:) 丁番 ・ 改修標準仕様書(表5.7.3)による ・ 図示(図面番号:)
⑨ 鋼製建具 (5.4.2)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ・ 耐震ドアセット(等級) <input checked="" type="radio"/> めっき付着量 JIS G 3302 <input checked="" type="radio"/> Z12 ・ F12 () <input checked="" type="radio"/> JIS G 3317 ・ Y08 ()
(5.4.3)	<input checked="" type="radio"/> H2400又はW950の建具 鋼板の厚さ ・ 図示(図面番号:)
(5.4.4)	鋼製軽量建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ・ 耐震ドアセット(等級) <input checked="" type="radio"/> H2400又はW950の建具 鋼板の厚さ ・ 図示(図面番号:)
⑩ 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3)(a) (5.2.3)(a)	表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 <input checked="" type="radio"/> カラー鋼板 <input checked="" type="radio"/> ステンレス鋼板(・ HL ・ 鏡面)
11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2)	ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級) ・ 耐震ドアセット(等級) 材料 ・ SUS304 ()
(5.6.3)	表面仕上げ ・ H仕上げ ()
(5.6.4)	曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
(5.6.5)	金物の見え掛り部等の材質等 <input checked="" type="radio"/> 改修標準仕様書(表5.7.1)による <input checked="" type="radio"/> 図示(図面番号: A-17)
⑫ 建具用金物 (5.7.2)	マスターキー ・ 製作する <input checked="" type="radio"/> 製作しない※但し既存マスターキーに適合すること。 引渡用鍵箱 ・ 必要 <input checked="" type="radio"/> 不要
(5.7.4)	閉鎖装置の性能値 ・ 図示(図面番号:)
13 自動ドア閉鎖装置 (5.8.2)	センサーの種類 ・ 図示(図面番号:) 凍結防止措置 ・ あり ・ なし
(5.8.3) (表5.8.3)	自閉式上吊り引戸装置の性能値 <input checked="" type="radio"/> 改修標準仕様書(表5.9.1)による ()
(5.8.3)(f)	種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター
15 重量シャッター (5.10.2)	耐風圧強度(Pa以上) 閉鎖機能 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式
(5.10.2)(c) (表5.10.1)	一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ()
(5.10.2)(f) (5.10.3)	閉鎖形式 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式
(5.11.2) (表5.11.1)	耐風圧強度(Pa以上)
(5.11.4)	スラットの材質及び形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 () JIS G 3322 ・ A230 ()

17 オーバーヘッドドア (5.12.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度(Pa以上) 閉鎖方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 図示(図面番号: A-17)																																																																	
(5.12.3)	図示(図面番号:) シーリング ・ ガスケット()																																																																	
⑬ 板ガラス (5.13.2)(a) (5.13.4)	図示(図面番号:) 改修標準仕様書(表5.13.1)による																																																																	
⑭ ガラス留め材 (5.13.2)(b)	図示(図面番号:) 改修標準仕様書(表5.13.1)による																																																																	
⑮ ガラス溝の寸法、形状等 (5.13.3)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示(図面番号:) 金属枠、補修材 ・ 図示(図面番号:) 化粧カバー ・ 図示(図面番号:) 工法 ・ 図示(図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。																																																																	
21 ガラスブロック積み (5.13.5)	既存閉仕切壁の撤去に伴う 取り合い部分の改修範囲 <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修部分</th> <th>改修範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 天井</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>・ 壁</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>・ 床</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> </tr> </tbody> </table> 天井内の既存壁の撤去に伴う 取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示(図面番号: A-10) () 天井の撤去に伴う 取り合い部の壁面改修 ・ 図示(図面番号: A-10) () 既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの除去 <input checked="" type="radio"/> 行う <input type="radio"/> 行わない 合成樹脂塗料床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 <input checked="" type="radio"/> 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 () 既存閉仕切壁の撤去に伴う 他の構造体の補修工法 <input checked="" type="radio"/> (勿論)	改修部分	改修範囲	・ 天井	・ 図示(図面番号:)	・ 壁	・ 図示(図面番号:)	・ 床	・ 図示(図面番号:)																																																									
改修部分	改修範囲																																																																	
・ 天井	・ 図示(図面番号:)																																																																	
・ 壁	・ 図示(図面番号:)																																																																	
・ 床	・ 図示(図面番号:)																																																																	
⑯ 一般事項 (6.1.3)(b)	表面仕上げ ・ A種 ・ B種 ・ C種 木材の含水率(工事現場搬入時、質量比) <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材名称</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </tbody> </table> 製材 「製材の日本農林規格」による製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地用</td> <td>・ 図示 ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>造作用</td> <td>・ 図示 ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示 ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示(図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 () <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 代用樹種の使用 ・ 禁止する ・ 禁止しない 造作用集材 「集材の日本農林規格」による造作用集材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種 ・ 寸 法</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用集材</td> <td>・ 図示 ()</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧張り造作用集材</td> <td>・ 図示 ()</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧張り構造用集材</td> <td>・ 図示 ()</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>造作用集材</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table>	部材名称	種別	下地材	・ A種 ・ B種	造作材	・ A種 ・ B種	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	下地用	・ 図示 ()	・ ()	・ ()	針葉樹製材	()	()	()	造作用	・ 図示 ()	・ ()	・ ()	針葉樹製材	()	()	()	広葉樹製材	・ 図示 ()	・ ()	・ ()	部 位	樹 種	県 産 材													部 位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚さ	造作用集材	・ 図示 ()	・ ()		化粧張り造作用集材	・ 図示 ()	・ ()		化粧張り構造用集材	・ 図示 ()	・ ()		造作用集材	()	()	()
部材名称	種別																																																																	
下地材	・ A種 ・ B種																																																																	
造作材	・ A種 ・ B種																																																																	
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率																																																															
下地用	・ 図示 ()	・ ()	・ ()																																																															
針葉樹製材	()	()	()																																																															
造作用	・ 図示 ()	・ ()	・ ()																																																															
針葉樹製材	()	()	()																																																															
広葉樹製材	・ 図示 ()	・ ()	・ ()																																																															
部 位	樹 種	県 産 材																																																																
部 位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚さ																																																															
造作用集材	・ 図示 ()	・ ()																																																																
化粧張り造作用集材	・ 図示 ()	・ ()																																																																
化粧張り構造用集材	・ 図示 ()	・ ()																																																																
造作用集材	()	()	()																																																															
(6.1.3)(c)																																																																		
(6.1.3)(f)																																																																		
⑰ 既存壁撤去、下地補修 (6.2.2)(a)(1)																																																																		
(6.2.2)(a)(2)																																																																		
(6.2.2)(c)																																																																		
⑱ 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)																																																																		
4 木下地等 (6.5.1)(c) (表6.5.1)																																																																		
(6.5.2)(a)(2) (表6.5.2)																																																																		
(6.5.2)(b)(1)																																																																		
(6.5.2)(b)(2) (6.5.2)(b)(3) (表6.5.3)																																																																		
(6.5.2)(b)(3)																																																																		
(6.5.2)(c)(i)																																																																		

(6.5.2)(c)(ii)	「集材材の日本農林規格」以外の製材 種類、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示(図面番号: 含水率 ・ 1.5%以下 ・ ()
(6.5.2)(d)(i)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 部位 厚さ 表面の品質 防虫処理 造作用単板積層材 (図面番号:) ・ () ・ ()
(6.5.2)(d)(ii)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 厚さ、表面の品質、防虫処理 ・ 図示(図面番号: 含水率 ・ 1.4%以下 ・ ()
(6.5.2)(e)	床張り用合板等 部材名称 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理等 厚さ 耐水用合板 777 1類 2級 C-D 12
(6.5.5)(a)	防腐、防蟻処理 適用階位 図示(図面番号: 保存処理性能区分() 薬剤の塗布等の処理方法() ボード 原料接着剤への防腐、防蟻処理()
(6.5.5)(b)	防虫処理 図示(図面番号:)
⑤ 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2)(表6.6.1)(6.6.3)	野縁等の種類 ・ 屋内 ・ 19形 ・ () ・ 屋外 ・ 25形 ・ () 形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示(図面番号:) ・ 耐震天井 ・ 図示(図面番号:) ・ ふところ≧1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(h) ・ 図示(図面番号:) ・ ふところ>3m ・ 図示(図面番号:)
(6.6.4)	既存埋込マイナースート ・ 使用する ・ 使用しない 既存埋込マイナースート、あと施工アンカーの引き抜き試験 ・ 行う(図示(図面番号:)) ・ 行わない 耐震天井 ・ 図示(図面番号:)
⑥ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	スタッド、ランナー等の種類 ・ 図示
⑦ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)(a)(6.8.2)(b)(6.8.2)(c)(1)(6.8.2)(c)(2)(6.8.2)(c)(3)(6.8.2)(c)(4)(6.8.2)(e)(6.8.3)(a)(6.8.3)(b)	材料 ・ ビニル床シート【JISA 5705(ビニル系床材)】 種類の記号 色柄 厚さ 備考 FS マブル 2.5mm ・ ビニル床タイル【JISA 5705(ビニル系床材)】 種類の記号 厚さ 備考 ・ 帯電防止床シート又は床タイル 種類 性能 厚さ 備考 ・ 視覚障害者用床タイル 種類 形状 備考 ビニル床タイル 300×300×7.0mm ・ 耐動荷重性床シート 種類 性能 厚さ 備考 ・ 防滑性床シート又は床タイル 種類 性能 厚さ 備考 ・ ゴム床タイル 種類 厚さ 備考 工法 下地 ・ モルタル下地 ・ 木下地 ・ その他() ビニル床シート張り 熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない

8 カーペット敷き (6.9.3)(a)(表6.9.1)	・ 織じゅうたん 種類 バイルの形状 帯電性 品質の程度 ・ A種 ・ カット/バイル ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ () ・ B種 ・ ループ/バイル ・ C種 ・ カット、ループ併用 ・ () 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)
(6.9.3)(b)(表6.9.2)	・ タフテッドカーペット バイルの形状 バイル長(mm) 帯電性 工法 品質の程度 ・ カット/バイル ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ 全面接着工法 ・ () ・ ループ/バイル ・ カット、ループ併用 ・ ()
(6.9.3)(c)	・ ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) 帯電性 備考 ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()
(6.9.3)(d)(表6.9.2)	・ タイルカーペット 種類 バイルの形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質の程度 ・ カット/バイル ・ 500×500 ・ 6.5 ・ () ・ ループ/バイル ・ () ・ ()
(6.9.3)(e)	下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ()
(6.9.3)(f)	見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状) ・ 図示(図面番号:)
(6.9.4)(e)	敷き方 平場 ・ 市松敷き ・ 樹葉敷き ・ () 階段部分 ・ 市松敷き ・ 樹葉敷き ・ () 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 潮気耐し展べ仕上げ ・ 平滑 ・ 防滑 ・ 厚膜耐し展べ仕上げ ・ 平滑 ・ 防滑 ・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 平滑 ・ 防滑 ・ 潮気型塗床仕上げ(平滑)
9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(b)(1)(表6.10.4)(6.10.3)(b)(2)(6.10.3)(c)(表6.10.5)~(表6.10.8)	・ 釘留め工法 材料 種類 仕様 ・ フローリングボード (根太張り) ・ A種 ・ なら ・ 複合フローリング (根太張り) ・ B種 ・ () ・ C種 防湿処理 ・ 図示(図面番号:) ・ 接着工法 材種 仕様 厚さ 大きさ ・ フローリングボード(直張り) ・ フローリングブロック(直張り) ・ 複合1種フローリング(直張り) ・ A種 ・ なら ・ 複合2種フローリング(直張り) ・ B種 ・ () ・ 複合3種フローリング(直張り) ・ C種 ・ モザイクタイル(直張り) ・ () ・ () ・ () 緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示(図面番号:)
10 フローリング張り (6.11.4)(表6.11.2)(6.11.5)(表6.11.3)(表6.11.5)	塗装 ・ ウレタン樹脂系ニス塗り(1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り ・ () 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
(6.11.6)(2)	種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
11 畳敷き (6.12.2)(表6.12.1)	種類 厚さ(mm) ・ せつこうボード 壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) ・ 化粧せつこうボード ・ トラバーチン模様 ・ 9.5(準不燃) ・ 木目模様 ・ 9.5(準不燃) ・ ロックウール化粧吸音板 ・ 普通 ・ 9 ・ 立体模様 ・ 強化石膏ボード ・ タイプ II 0.8FK ・ 6 ・ 15
(6.13.2)(h)	遮音シール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド
(6.13.3)(e)(3)	合板類の張付け ・ A種 ・ B種
(6.13.3)(g)(1)(表6.13.5)	せつこうボードの目地工法 ・ 継目処理 ・ 突付け ・ 目透し
13 壁紙張り (6.14.2)	施工箇所 品質 防火性能 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃

14 モルタル塗り (6.15.3)	既製目地材 ・ 使用する(形状:) 床の目地 ・ 図示(図面番号:)
15 タイル張り (6.16.2)(6.16.3)	伸縮調整目地 位置 ・ 図示(図面番号:) タイルの種類 施工箇所 形状寸法 工法 用途による区分 すべり抵抗性 区分 I類(磁器) II類(せっ器) III類(陶器) 役物 標準・特注色 耐凍害・性有無
(6.16.3)(b)(1)	試験網張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない
16 セルフレベリング材塗り (6.17.2)(6.17.3)	・ せつこう系 ・ セメント系 塗厚() mm
17 断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法 種類 ・ A種 ・ B種 種類 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ A種硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム 断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム) 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ A種1 ・ 窓回り等の断熱材材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版 ・ A種2 ・ () ・ A種3 ・ ()
⑦ 塗装改修工事	① 材料 (7.1.3)(b) ② 下地調整 (7.2.1~7.2.7)(表7.2.1)~(表7.2.7) ③ 錆止め塗料塗り (7.3.2)(7.3.3)(表7.3.3)~(表7.3.4) ④ 合成樹脂調合ペイント塗り(SF) (7.4.2)(7.4.3~7.4.5)(表7.4.1)~(表7.4.3) ⑤ クリヤラッカー塗り(L) (7.5.2)(表7.5.1) ⑥ アクリル樹脂系非水分散形塗料(NF) (7.7.2)(表7.7.1) ⑦ 耐水性塗料塗り(IP) (7.8.2)~(7.8.4)(表7.8.1)~(表7.8.3)
① 材料 (7.1.3)(b)	・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)
② 下地調整 (7.2.1~7.2.7)(表7.2.1)~(表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えてR.B種の場合) ・ 図示 種類 下地 種類 種類 仕上げ部の特修 ・ 木部 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種 ・ 鉄鋼面 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種 ・ 垂鉛めっき鋼面 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種 ・ モルタル、プaster面 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種 ・ 行う ・ コンクリート、ALCパネル面 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種 ・ 行う ・ コンクリート、押出成形セメント板面 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種 ・ 行う ・ せつこうボード、その他ボード面 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種
③ 錆止め塗料塗り (7.3.2)(7.3.3)(表7.3.3)~(表7.3.4)	錆止め塗料種類 ・ 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種類 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
④ 合成樹脂調合ペイント塗り(SF) (7.4.2)(7.4.3~7.4.5)(表7.4.1)~(表7.4.3)	塗料種類 ・ 1種 ・ () 種類 下地 種類 ・ 木部 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
⑤ クリヤラッカー塗り(L) (7.5.2)(表7.5.1)	種類 木部 ・ A種 ・ B種
⑥ アクリル樹脂系非水分散形塗料(NF) (7.7.2)(表7.7.1)	種類 ・ A種 ・ B種
⑦ 耐水性塗料塗り(IP) (7.8.2)~(7.8.4)(表7.8.1)~(表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系) 種類 下地 種類 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種

原図: A2

備考	NISSHIN SEKKEI 目新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹		Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事 DATE Drawing Title 特記仕様書04 SCALE Nb Scale A-04			
			管理建築士 担当建築士 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.215909 藤分進之 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.327099 倉田和彦			

⑧の5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事

① あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)

種類

- 金属系 セットの方式 () 本体打込み式 () 改良型 () 従来型 ()
 - 径及び埋込み深さ () 図示 (図面番号:) ()
 - 引張耐力 () 図示 (図面番号:) ()
 - せん断耐力 () 図示 (図面番号:) ()
 - 接合筋の種類・径・長さ () 図示 (図面番号:) ()
- 接着系 カプセル型回転 () 打撃式 () 有機系 () 無機系 ()
 - 径及び埋込み深さ () 図示 (図面番号: A-18) ()
 - 引張耐力 () 図示 (図面番号:) ()
 - せん断耐力 () 図示 (図面番号:) ()
 - アンカー筋の種類 () 図示 (図面番号:) ()
 - アンカー筋の新設壁内への定着長さ () 図示 (図面番号:) ()

あと施工アンカーの性能確認試験 () 行う () 行わない ()

② あと施工アンカーの施工 (8.12.2) (8.12.4) (8.12.5)

穿孔

埋込み配管等の深査の方法

- 鉄筋探知機 金属探知機により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
- はつり出しによる。
- ()

あと施工アンカーの施工確認試験 () 実施する () 実施しない ()

確認試験方法

- 改修標準仕様書(8.11.5)による () ()

確認強度 () ()

場所打ちコンクリート壁の増設工事 (8.12.2) (8.12.4) (8.12.5)

③ シアコネクター

場所打ちコンクリート壁の増設に用いる既存部とのシアコネクター種類

- 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
- 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー

径[mm] ・ D10

長さ[mm] ・ 増打壁厚+40 () ()

埋込み深さ[mm] ・ 5d(d:シアコネクターの径)以上 () ()

間隔[mm] ・ 500×500

シアコネクターとセパレーターの兼用 () 兼用してもよい () 兼用しない () ()

8の6 耐震改修工事 鉄骨工事

1 鉄骨製作工場 (8.1.5)

株式会社鉄骨評価センター又は株式会社鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

- J
- R
- M
- H
- S

2 施工管理技術者 (8.1.5)

施工管理技術者(鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等)の適用

- しない ()
- する ()

3 鋼材 (8.2.8)

材質・形状及び寸法 () 図示 (図面番号:) ()

4 高カポルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)

高カポルトの適用

- トルシア形高カポルト 2種(S10T)
- JIS系高カポルト 2種(F10T)
- 溶融処理めっき高カポルト 1種(F8T相当)

8の7 耐震改修工事 グラウト工事

(グラウト工事)

1 モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (8.2.11) (表8.2.5) (表8.2.10)

構造体用モルタル

- 改修標準仕様書(8.2.6)及び(8.2.11)による。

無収縮モルタル

- 改修標準仕様書(8.2.11)(a)による
- ()

グラウト材

- 改修標準仕様書(8.2.11)(b)による。

現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨プレースの設置工事等)

増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法

部位	処理方法	備考
増設壁の上部	グラウト材を注入 ()	寸法は図示による ()
()	()	()

2 既存構造体との取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)

8の8 耐震改修工事 柱補強工事

(連続繊維補強工事)

1 連続繊維シート等による工法 (8.24.1)

連続繊維による補強、補修工法

- (財)日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。
- ()

2 連続繊維シート及び含湿接着樹脂等の材料 (8.23.6)

連続繊維の材料

- ()

工法

- ()

引張強度(含湿硬化後) () ()

ヤング係数(含湿硬化後) () ()

3 連続繊維シートの施工準備

仕上げモルタルの除去

- 既存構造体表面まで除去する
- モルタル除去は行わない ()
- ()

8の9 耐震補強工事 スリット新設工事 免震改修工事

耐震スリット新設工事

1 スリットの種類 (8.25.1) (8.25.2)

付着強度試験

- 実施する(JIS A6909に準拠する) 試験数量()
- 実施しない ()

耐震スリットの種類及び形状

完全スリットの形状

記号	一般型		一面せん断型	
	図示(図面番号:)	()	図示(図面番号:)	()
形状	図示(図面番号:)	()	図示(図面番号:)	()
幅W(mm)	図示(図面番号:)	()	図示(図面番号:)	()
既存鉄筋の処理	()	()	()	()
	既存鉄筋はつり出し ()	()	切断してよい ()	()
	切断してよい ()	()	()	()

部分スリットの形状

記号	片側スリット		両面スリット	
	図示(図面番号:)	()	図示(図面番号:)	()
形状	図示(図面番号:)	()	図示(図面番号:)	()
幅W(mm)	図示(図面番号:)	()	図示(図面番号:)	()
目地部の残存厚さ	()	()	()	()
t(mm)	()	()	()	()
既存鉄筋の処理	()	()	()	()
	存置する ()	()	存置する ()	()
	既存鉄筋はつり出し ()	()	切断してよい ()	()
	切断してよい ()	()	()	()

8の10 その他工事

1 基礎工事 (8.28.2) (8.28.3)

既存杭の撤去

- 図示(図面番号:) ()

埋戻し及び盛土の材料及び工法

- A種
- B種
- C種
- D種

建設発生土の処理

- 自由処分
- 処分地指定 処分地() ()
- 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km

山留めの撤去

- 撤去 ()
- 存置 ()

9 環境配慮改修工事

1 アスベスト含有材の処理工事 (9.1.1)

施工調査

- アスベスト含有建材の事前調査
- 工事着手に先立ち、目視及び資する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。

調査範囲 () 図示(図面番号:) () ()

資与資料 () ()

分析によるアスベスト含有建材の調査

分析対象

アクチノライト、アモサイト、アンソファイト、クリソタイト、クロシドライト、トリモライト

分析方法

- JISA 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部 市販のレキ材からの試料採取及び定性的判定方法)による
- JISA 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による
- JISA 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部 アスベスト含有率のX線分析定量分析方法)による

材料名	定性分析		定量分析	
	箇所数()	()	箇所数()	()
()	()	()	()	()
()	()	()	()	()
()	()	()	()	()
()	()	()	()	()

サンプル数 1箇所あたり3サンプル

採取箇所 () 図示(図面番号:) () ()

アスベスト 粉じん濃度測定

測定時期、場所及び測定点

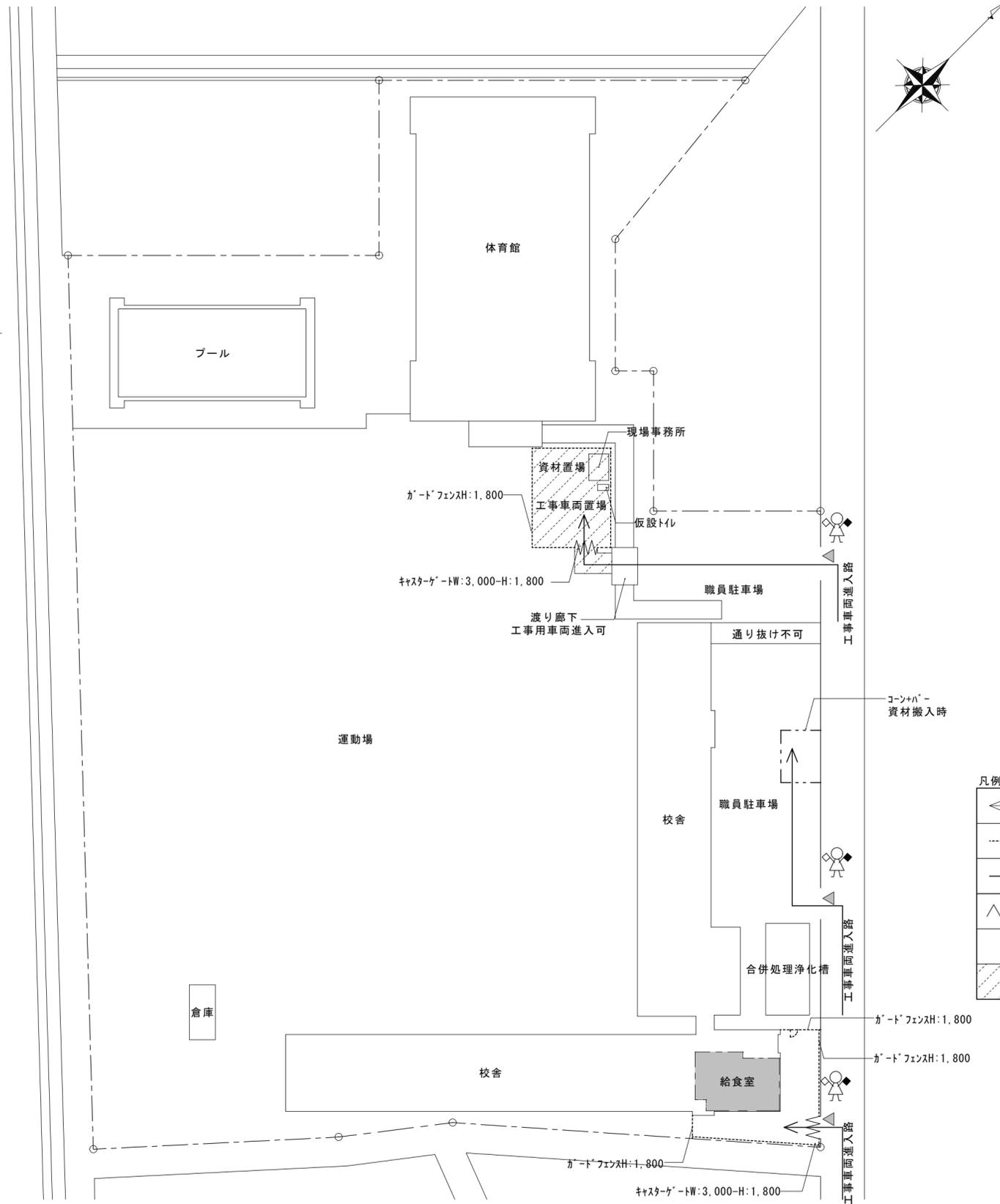
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
()	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点
()	測定2		調査対象室外部の付近	計点
()	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点
()	測定4		負圧・除じん装置の排気出口	計点
()	測定5		出口吹出し風速1m/s以下の位置	計点
()	測定6	処理作業後(シート養生中)	処理作業室外(敷地境界)	計点
()	測定7	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	計点
()	測定8		調査対象室外部の付近	計点

測定方法

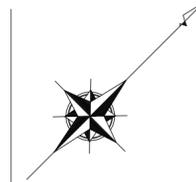
	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 () ()	・ 5 () ()	・ 10 () ()
試料の吸引時間(min)	・ 5 () ()	・ 120 () ()	・ 240 () ()



附近見取図



配置図兼外部仮設計画図 S:1/500



凡例

	工事車両進入路
	仮囲い ガードフェンス H=1800
	コンパハ-
	キャストゲート
	交通誘導員 (大型車輛搬入時)
	仮設鉄板敷き (t22)

改修箇所

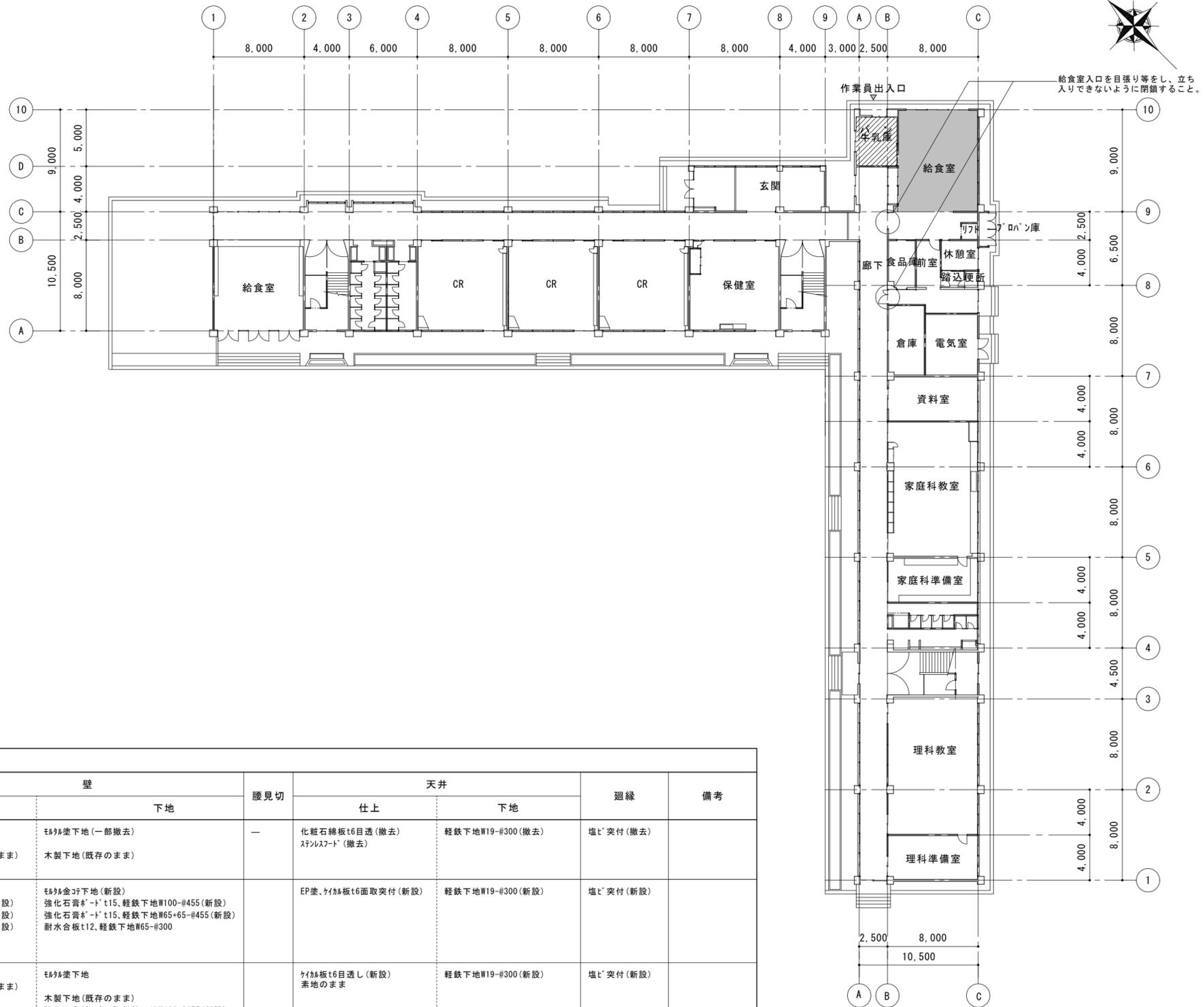
原図: A2

備考	

**NISSHIN
SEKKEI**
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Project Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事	
Drawing Title 附近見取図、配置図	
Manager 管理建築士 No.265708 出口基樹	Responsible Architect 担当建築士 No.265708 出口基樹
Architect 一級建築士 No.215909 藤分憲之	Architect 一級建築士 No.267099 倉田和彦

DATE
SCALE A2: 1/500 A3: 1/700
A-07



階	状況	場所	仕上内容	
			仕上	下地
改修前	改修前	給食室前	モルタル毛引き(一部撤去) アスファルト舗装(一部撤去) 側溝(一部撤去)	壁躯体RCt150(一部撤去)
		配膳室前	複層塗材E吹付(新設) フラットフォーム(新設) アスファルト舗装(新設) 側溝(新設) 7&M製庇(新設) ポール(新設)	モルタル毛引き(一部新設)

階	状況	室名	床		巾木	壁		腰見切	天井		廻縁	備考
			仕上	下地		仕上	下地		仕上	下地		
改修前	改修前	給食室	モルタル金コシ仕上(一部撤去)	土間コンクリート(一部撤去)	—	陶器質100角タイル(一部撤去) モルタル金コシ仕上(既設のまま) 化粧石綿板t6目透(既設のまま)	モルタル塗下地(一部撤去) 木製下地(既設のまま)	—	化粧石綿板t6目透(撤去) ステンレスト(撤去)	軽鉄下地W19-#300(撤去)	塩ビ'突付(撤去)	
		配膳室	ビニル床シート2.5(新設)	モルタル金コシ下地 土間コンクリートt120(新設)	ビニル巾木H300(新設)	下地調整の上、NAD塗 EP塗、ケイカル板t6面取突付(新設) EP塗、ケイカル板t6面取突付(新設) EP塗、ケイカル板t6面取突付(新設)	モルタル金コシ下地(新設) 強化石膏'-'t15、軽鉄下地W100-#455(新設) 強化石膏'-'t15、軽鉄下地W65+65-#455(新設) 耐水合板t12、軽鉄下地W65-#300	—	EP塗、ケイカル板t6面取突付(新設)	軽鉄下地W19-#300(新設)	塩ビ'突付(新設)	
改修後	改修後	給食室	モルタル金コシ仕上(新設) 排水溝(新設) グレーチング(新設)	土間コンクリートt120(新設)	ビニル巾木H300(新設)	モルタル金コシ仕上(新設) 化粧石綿板t6目透(既設のまま) ケイカル板t6面取突付(新設) ケイカル板t6面取突付(新設)	モルタル塗下地 木製下地(既設のまま) 強化石膏'-'t15、軽鉄下地W100-#455(新設) 強化石膏'-'t15、軽鉄下地W65+65-#455(新設)	—	ケイカル板t6目透し(新設) 素地のまま	軽鉄下地W19-#300(新設)	塩ビ'突付(新設)	

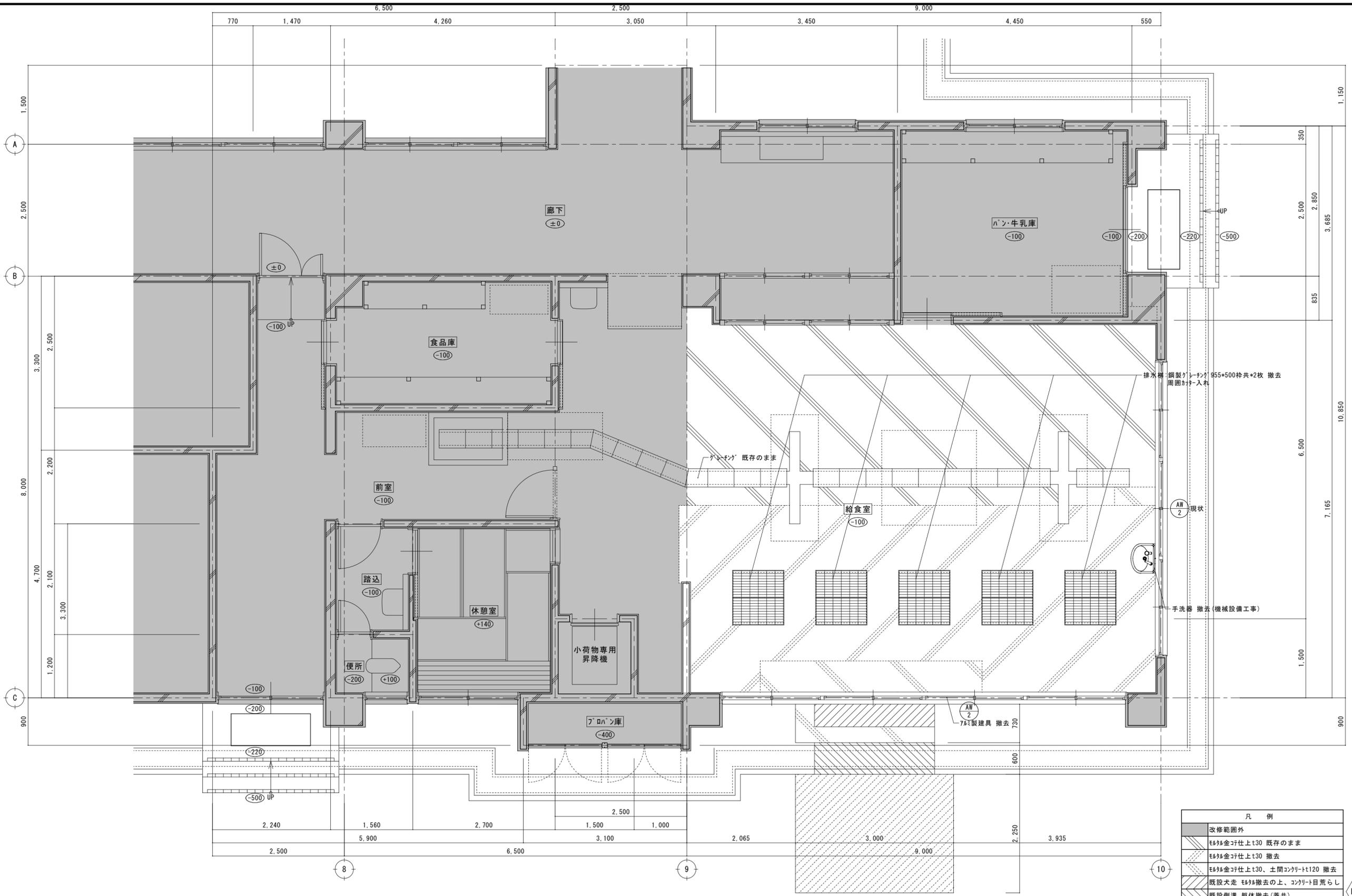
1階平面図兼内部仮設計画図 S:1/300

	工事範囲を示す
	床養生を示す(シート+ベニヤ板t12)

備 考	

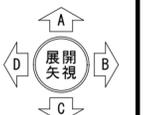
NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事 Drawing Title 仕上表、1階平面図兼内部仮設計画図		原図: A2 DATE SCALE A2: 1/300 A3: 1/420
管理建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分進之	担当建築士 一級建築士 No.265708 出口基樹 倉田和彦
A-08		



凡例	
[Pattern]	改修範囲外
[Pattern]	モルタル仕上 t30 既存のまま
[Pattern]	モルタル仕上 t30 撤去
[Pattern]	モルタル仕上 t30、土間コンクリート t120 撤去
[Pattern]	既設犬走 モルタル撤去の上、コンクリート目荒らし
[Pattern]	既設側溝 躯体撤去 (蓋共)
[Pattern]	既設アスファルト舗装 撤去 (砕石共)
※撤去部周囲カッター入れ	

平面詳細図1F 1/50



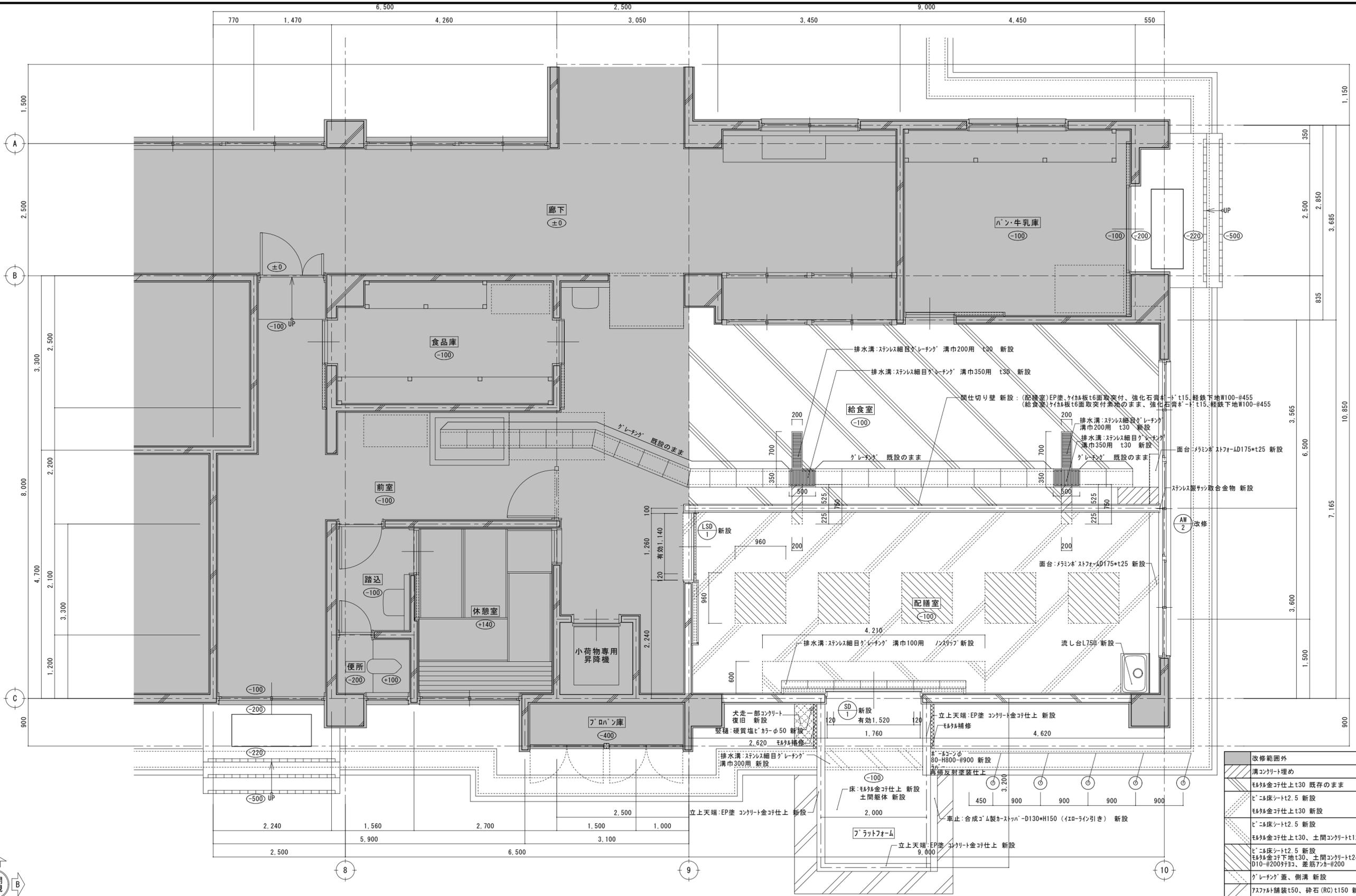
原図: A2

備	
考	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事			
Drawing Title	平面詳細図1F(改修前)			
管理建築士	一級建築士	一級建築士	一級建築士	一級建築士
No.265708	No.215909	No.265708	No.267099	
出口基樹	藤分恵之	出口基樹	倉田和彦	

DATE	
SCALE	A2: 1/50 A3: 1/70
	A-9



改修範囲外	
	溝コンクリート埋め
	モルタル金コシ仕上 t30 既存のまま
	ビニル床シート2.5 新設
	モルタル金コシ仕上 t30 新設
	ビニル床シート2.5 新設
	モルタル金コシ仕上 t30、土間コンクリート t120 新設
	ビニル床シート2.5 新設
	モルタル金コシ下地 t30、土間コンクリート t240 新設
	D10-φ200の30、差筋φ70-φ200
	グレーチング 蓋、側溝 新設
	アスファルト舗装 t50、砕石 (Rc) t150 新設
	モルタル補修 新設
	犬走一部コンクリート復旧 新設

平面詳細図 1F 1/50

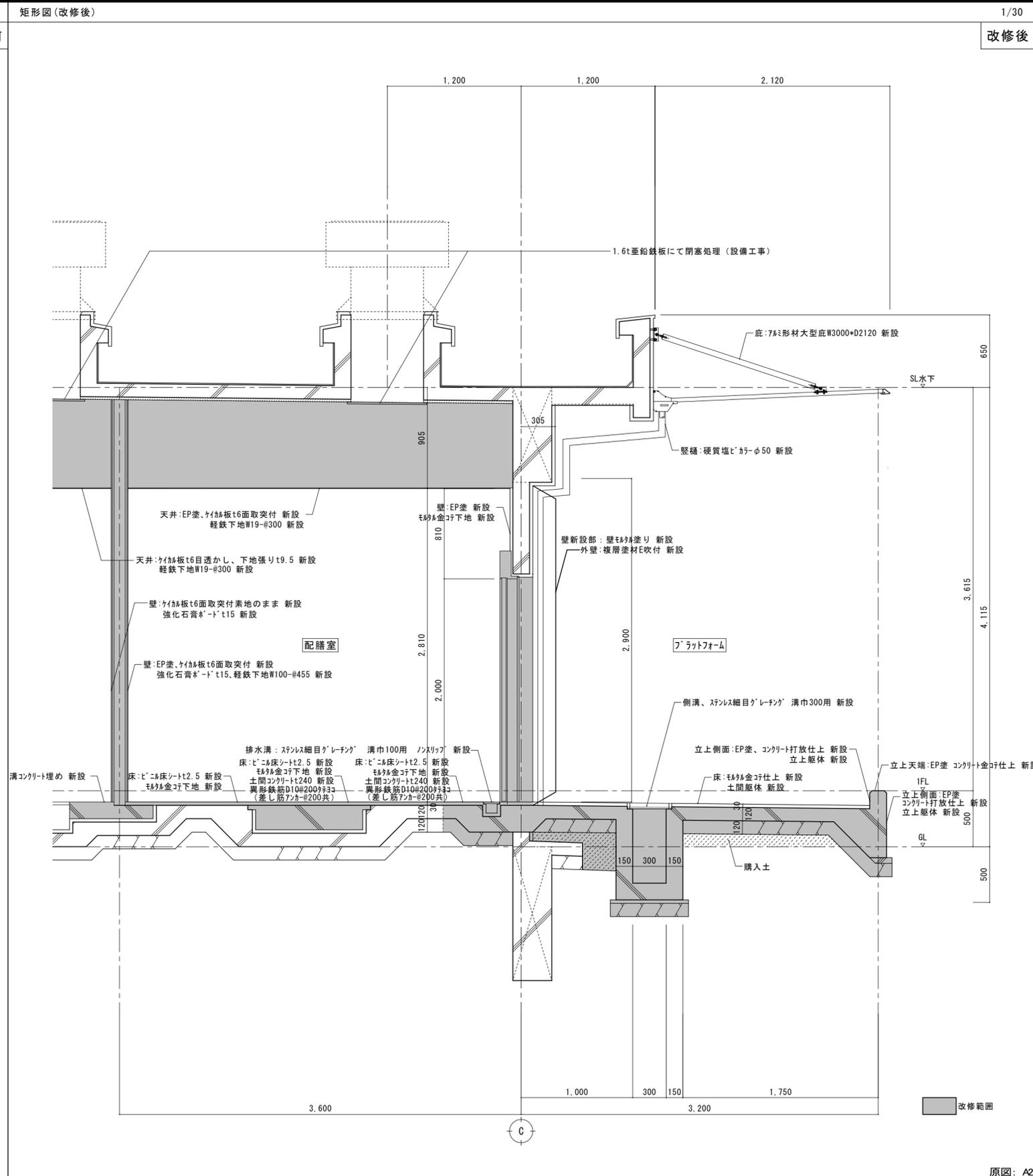
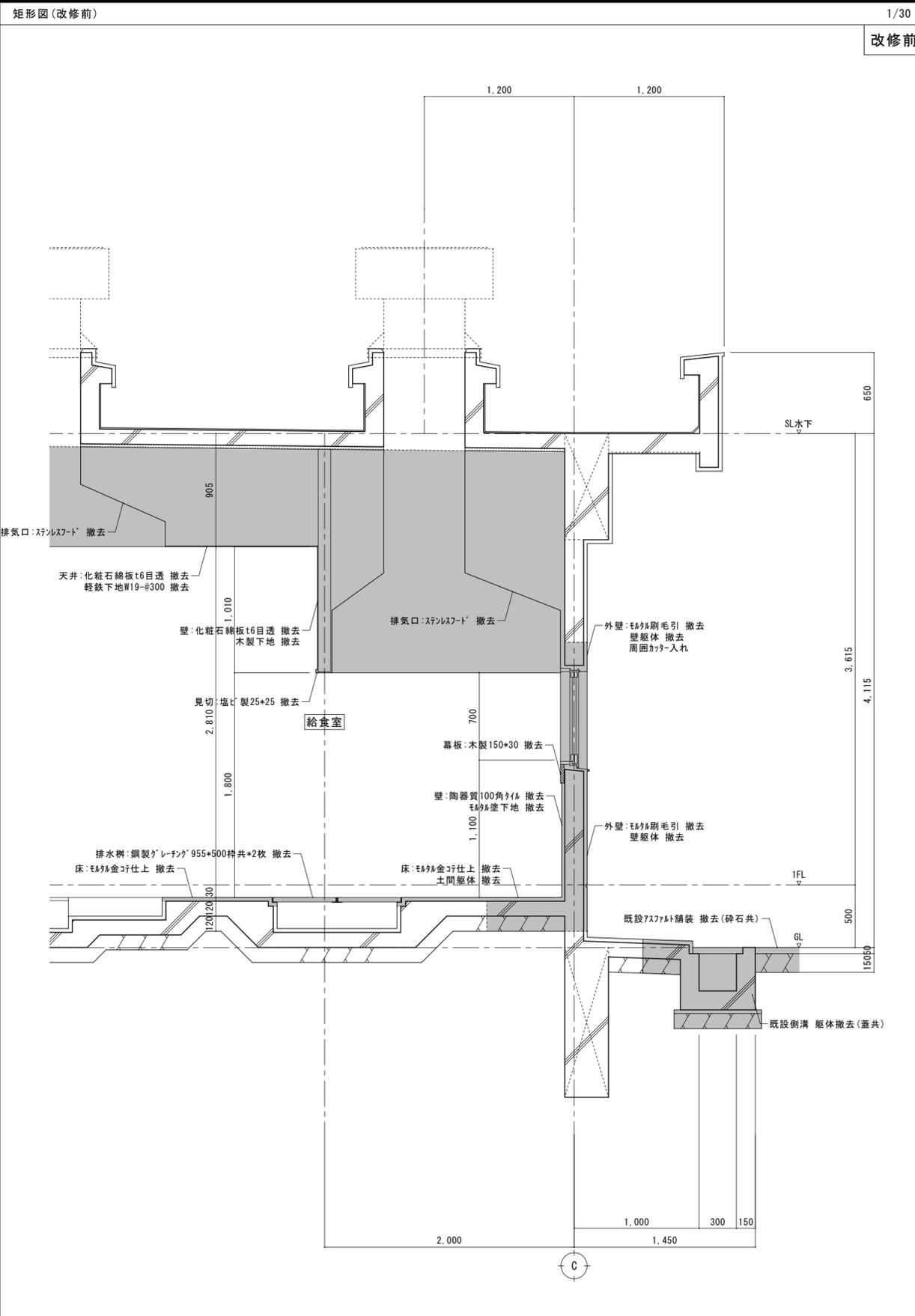
原図: A2



備考

**NISSHIN
SEKKEI**
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Title		DATE	
津市立安東小学校給食受入施設改修工事			
Drawing Title		SCALE	
平面詳細図 1F (改修後)		A2: 1/50 A3: 1/70	
Management Architect		Responsible Architect	
管理建築士	一級建築士 No.265708 出口基樹	担当建築士	一級建築士 No.265708 出口基樹
	一級建築士 No.215909 藤分恵之		一級建築士 No.267099 倉田和彦

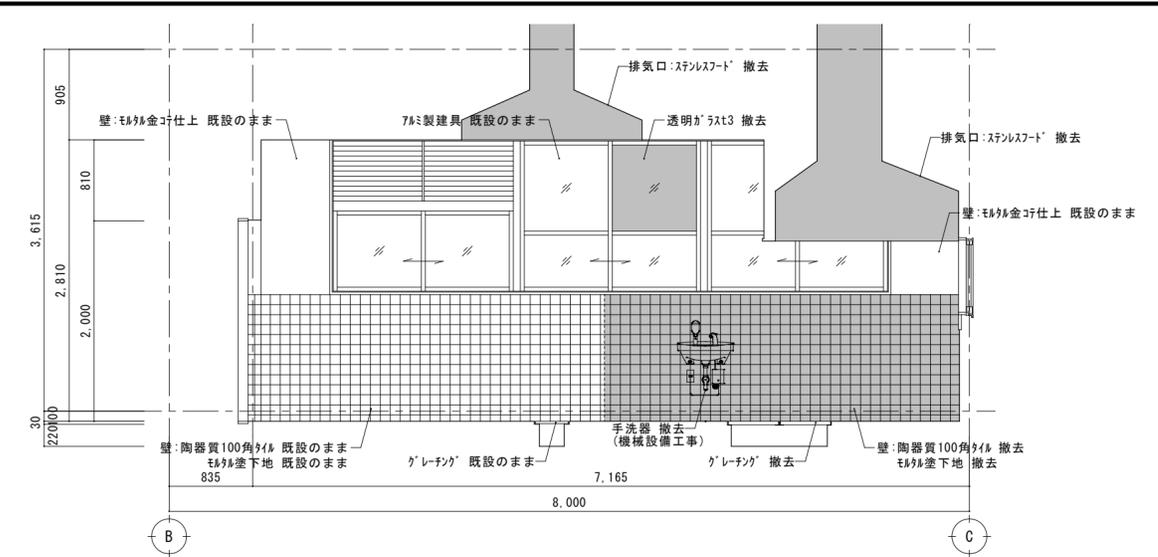
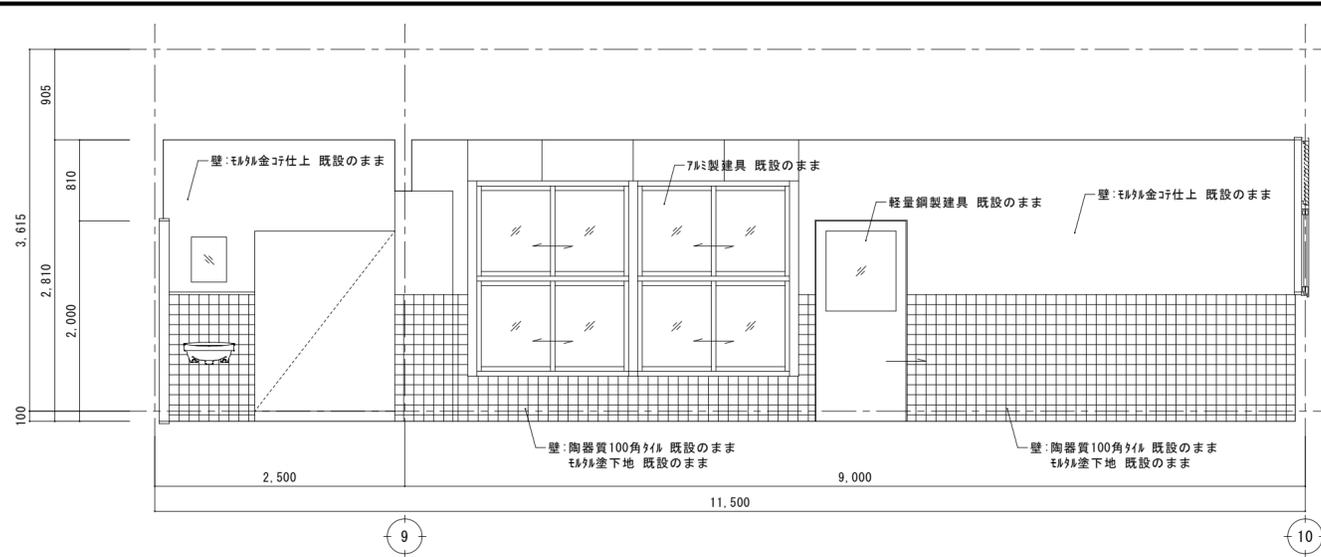


備考

NISSHIN SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Project Title: 津市立安東小学校給食受入施設改修工事		Date:	
Drawing Title: 矩形図(改修前・後)		Scale: A2: 1/30 A3: 1/42	
Manager:	Supervisor:	Designer:	Checker:
Level: 一級建築士 No.265708 出口基樹	Level: 一級建築士 No.215909 藤分恵之	Level: 一級建築士 No.265708 出口基樹	Level: 一級建築士 No.327099 倉田和彦

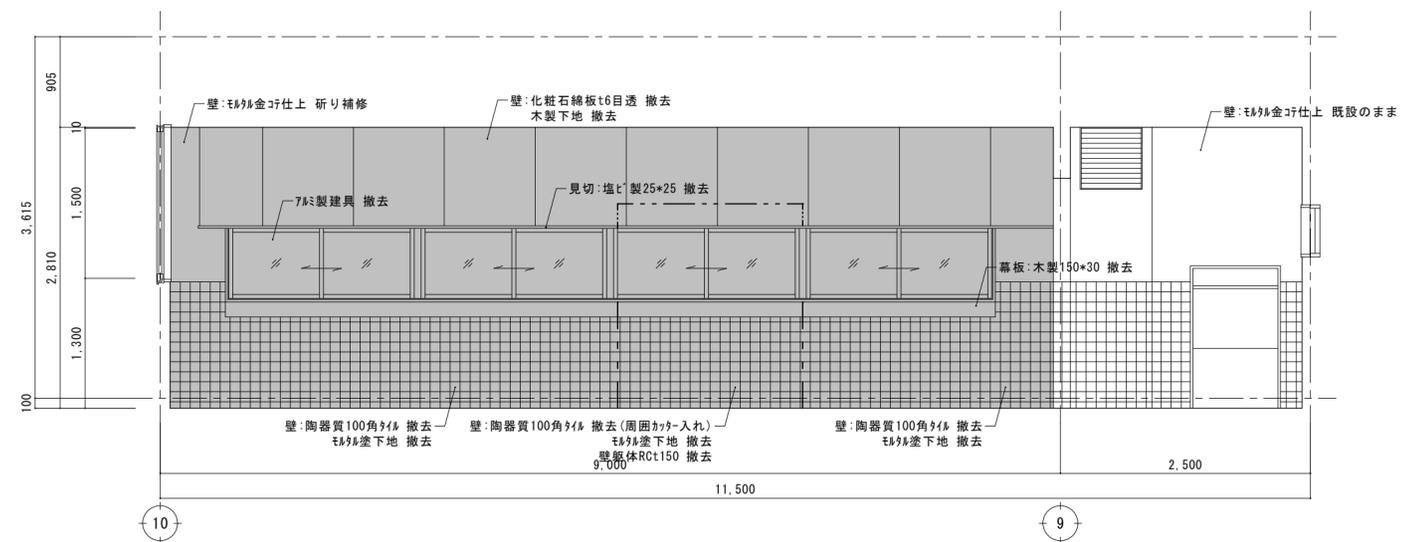
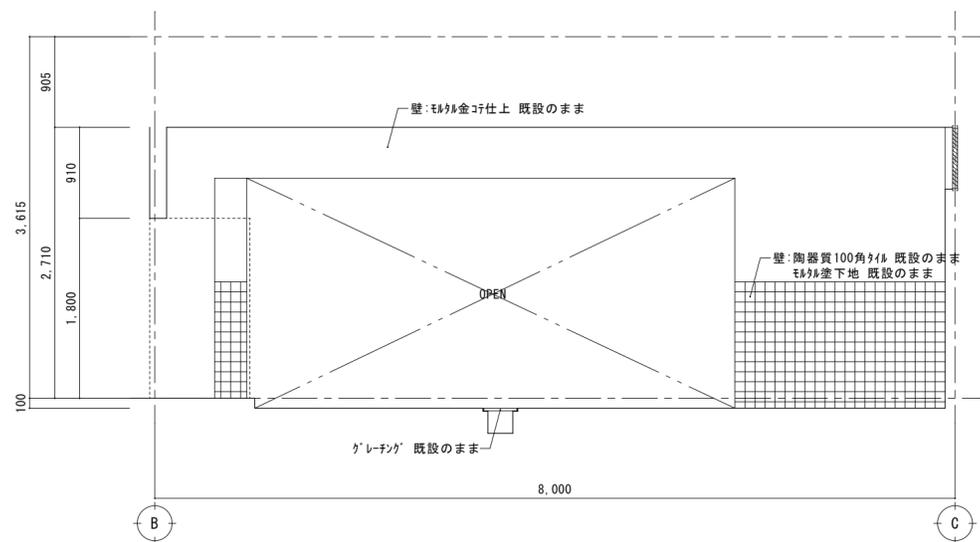
A-11



給食室

A面

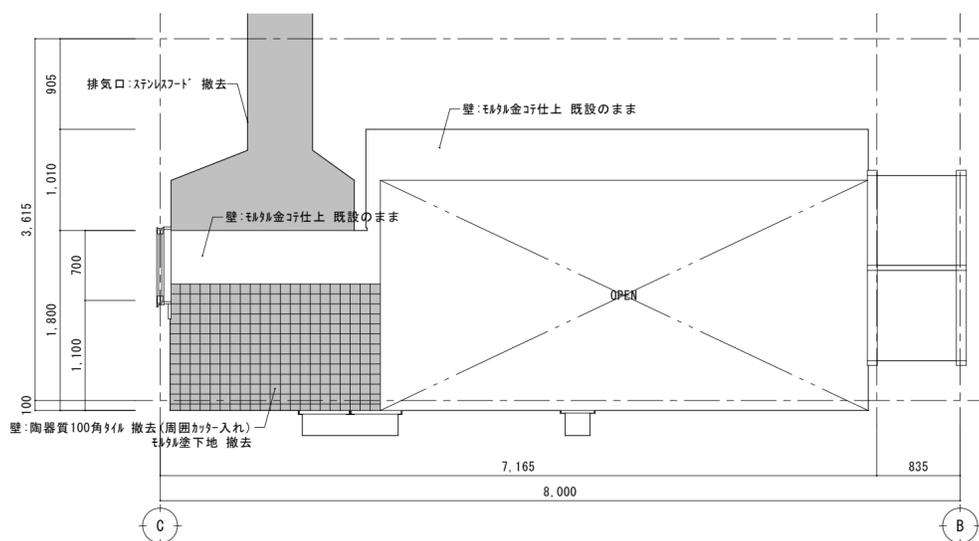
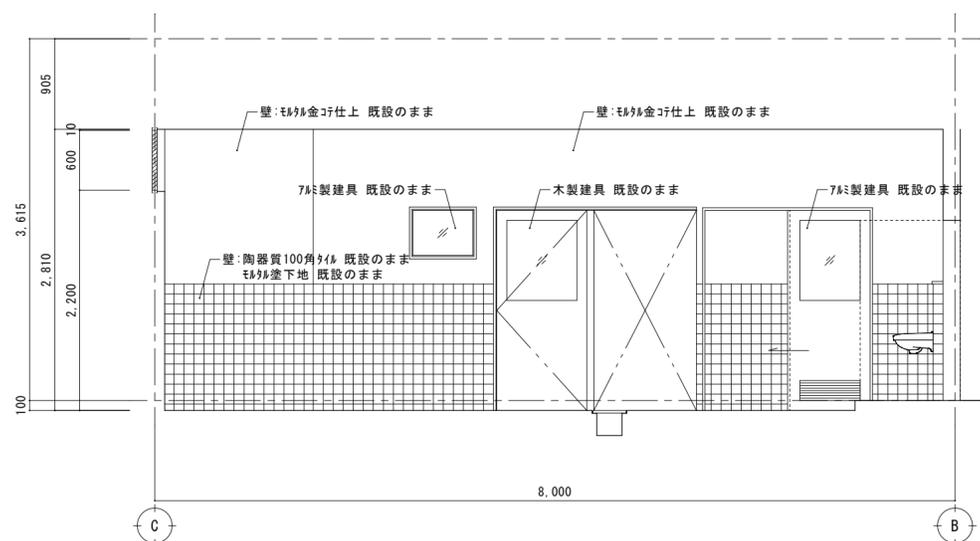
B面



給食室

B面

C面



給食室

D面

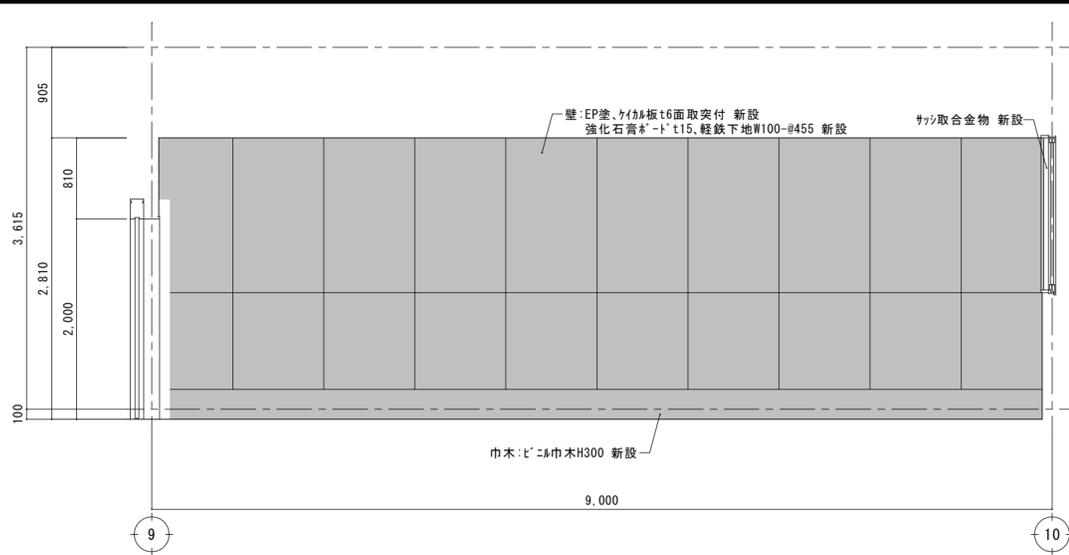
D面

改修範囲

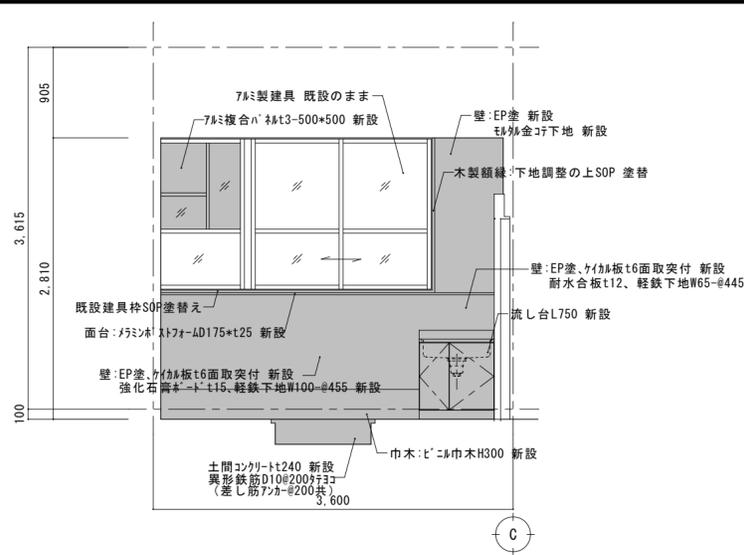
備考

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

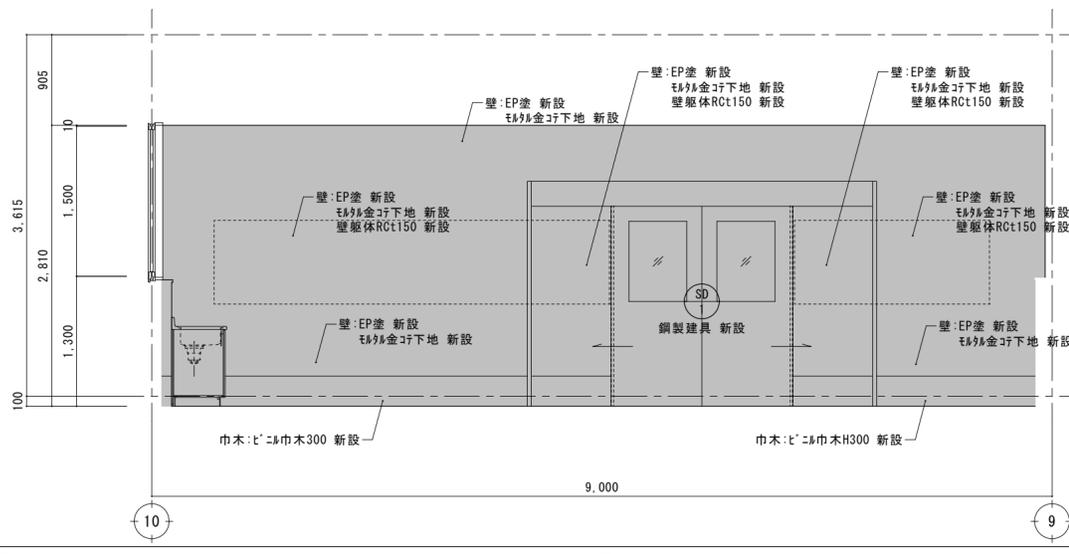
Job Title		津市立安東小学校給食受入施設改修工事		原図: A2
Drawing Title		展開図01(改修前)		DATE
Manager		Responsible Architect		SCALE
Architect		Architect		A2: 1/50 A3: 1/70
Architect		Architect		A-12



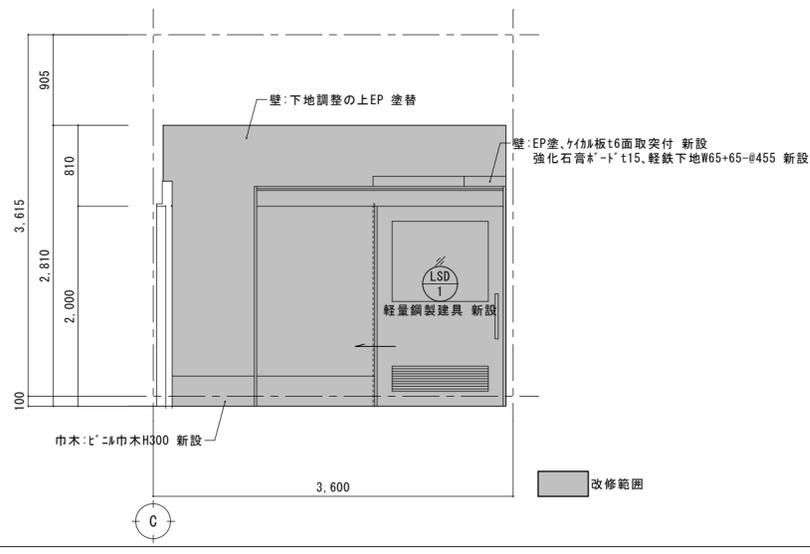
A面



B面



C面



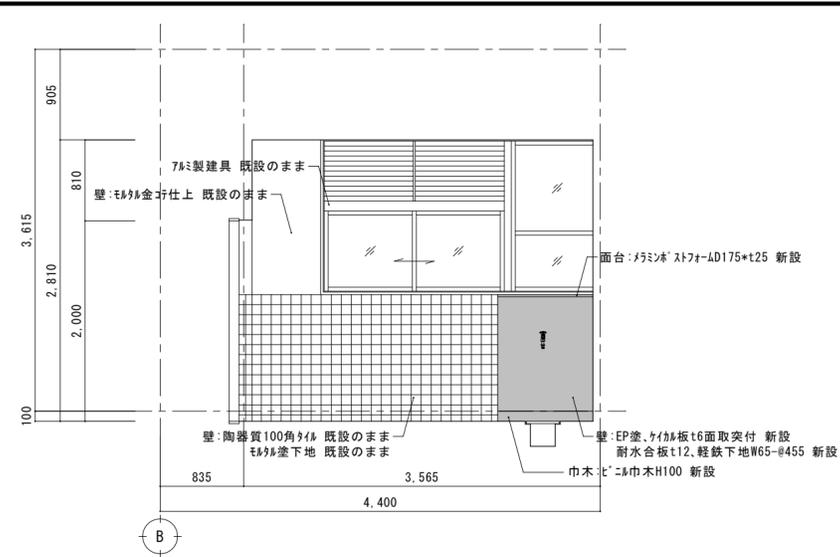
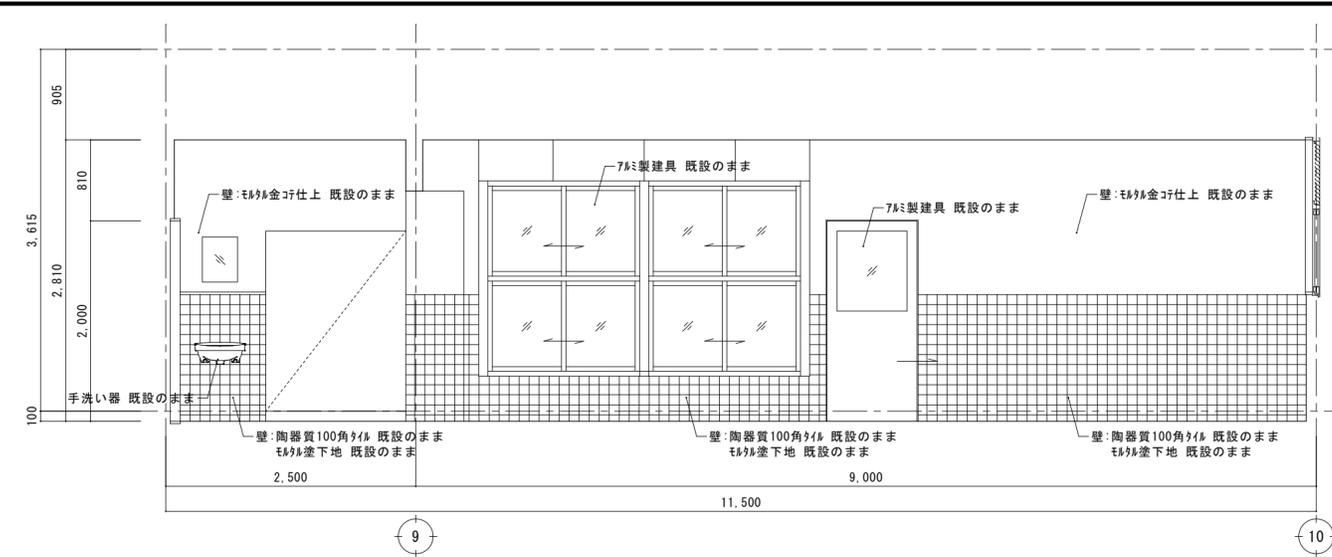
D面

配膳室

備考

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

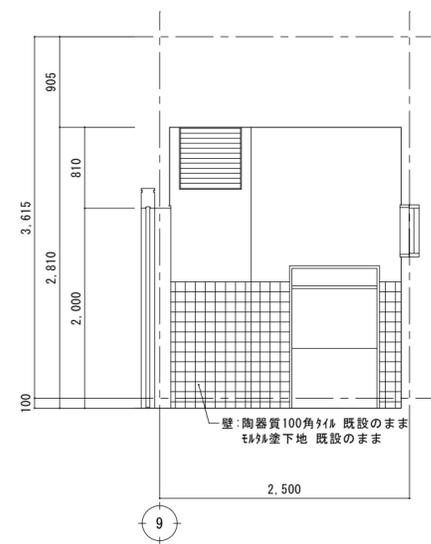
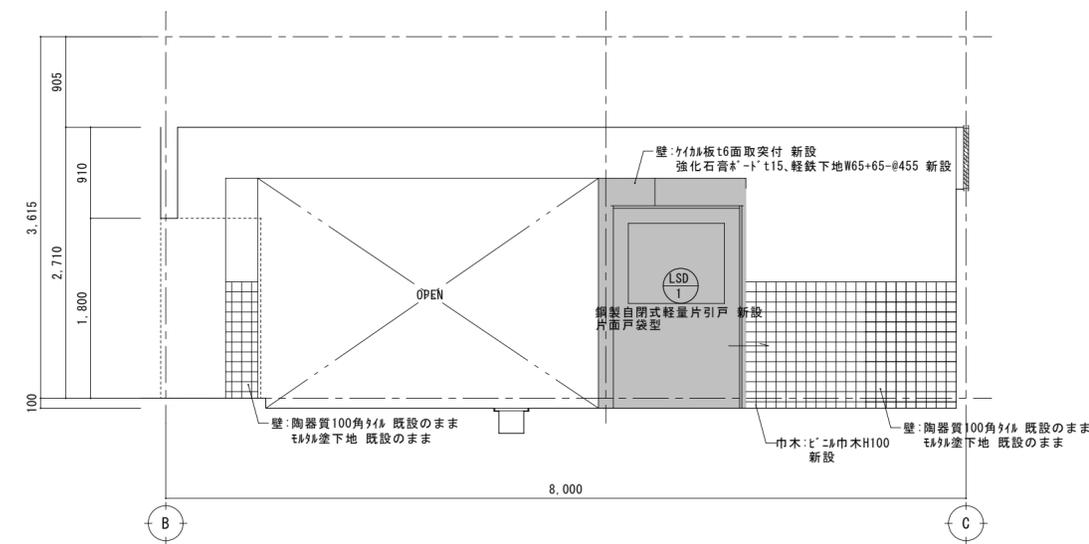
Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE / / /	
Drawing Title 展開図01(改修後)		SCALE A2: 1/50 A3: 1/70	
管理建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327099 倉田和彦



給食室

A面

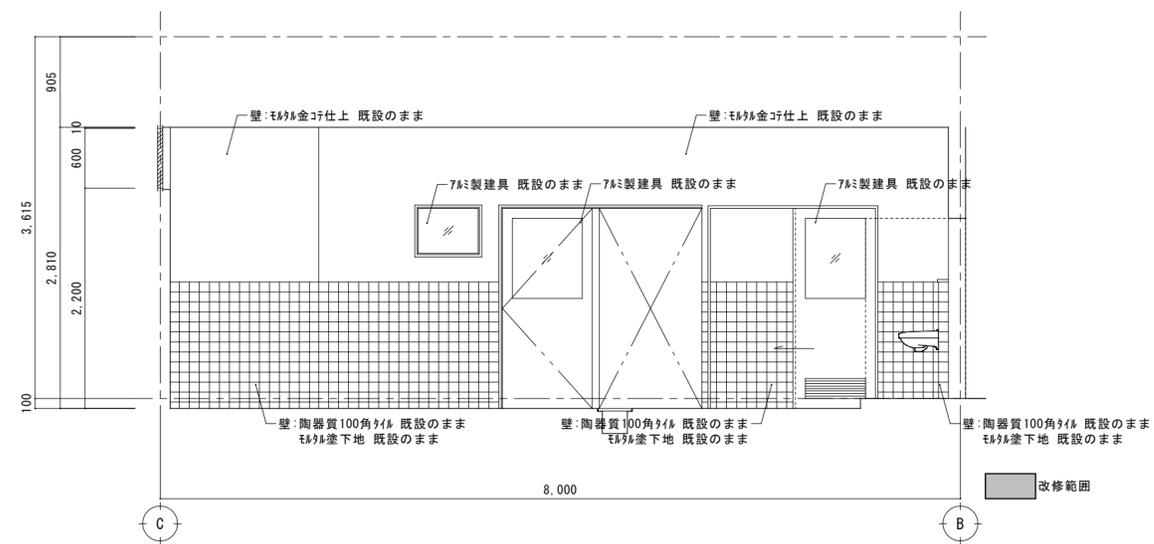
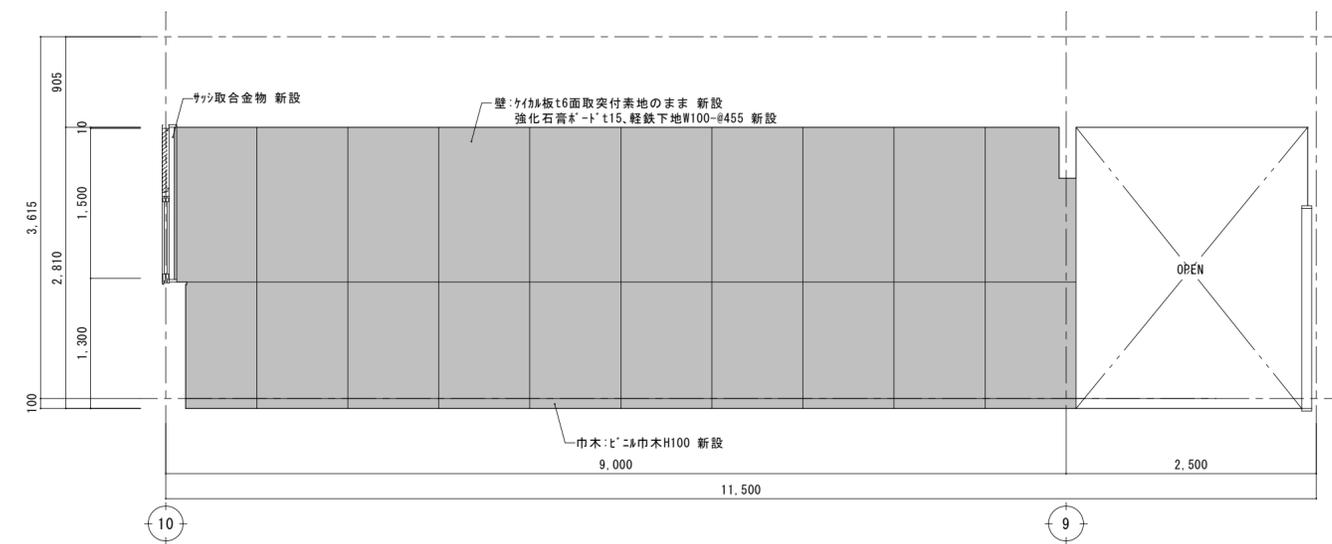
B面



給食室

B面

C面



給食室

C面

D面

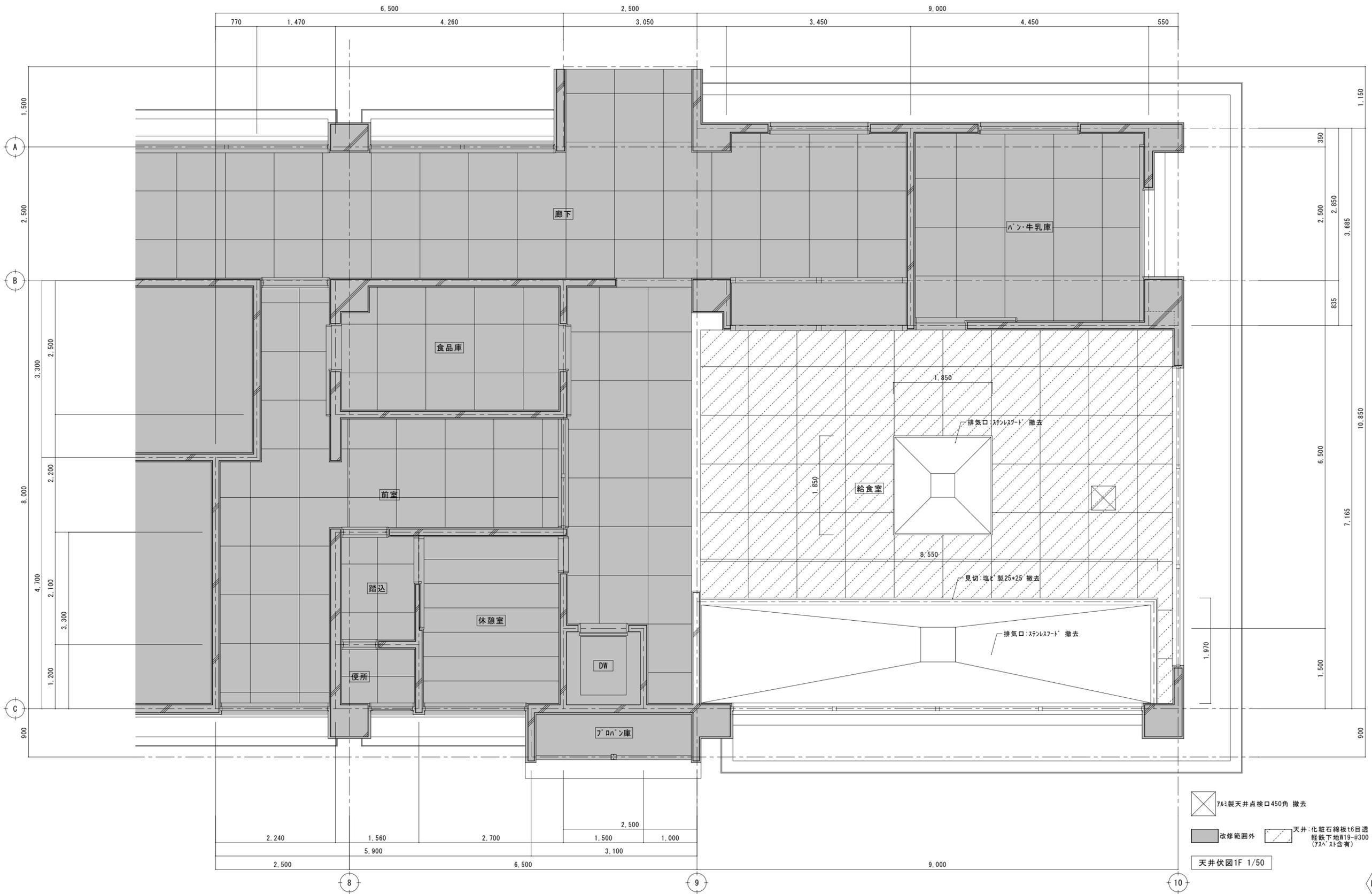
原図: A2

備 考	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

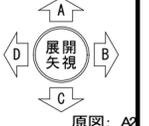
Job Title		津市立安東小学校給食受入施設改修工事	
Drawing Title		展開図02(改修後)	
管理建築士		担当建築士	
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327099 倉田和彦

DATE	
SCALE	A2: 1/50 A3: 1/70
	A-14



- 75製天井点検口450角 撤去
- 天井：化粧石綿板t6目透 撤去（下張共）
経鉄下地W19-8300 撤去（75製ト含有）

天井伏図1F 1/50

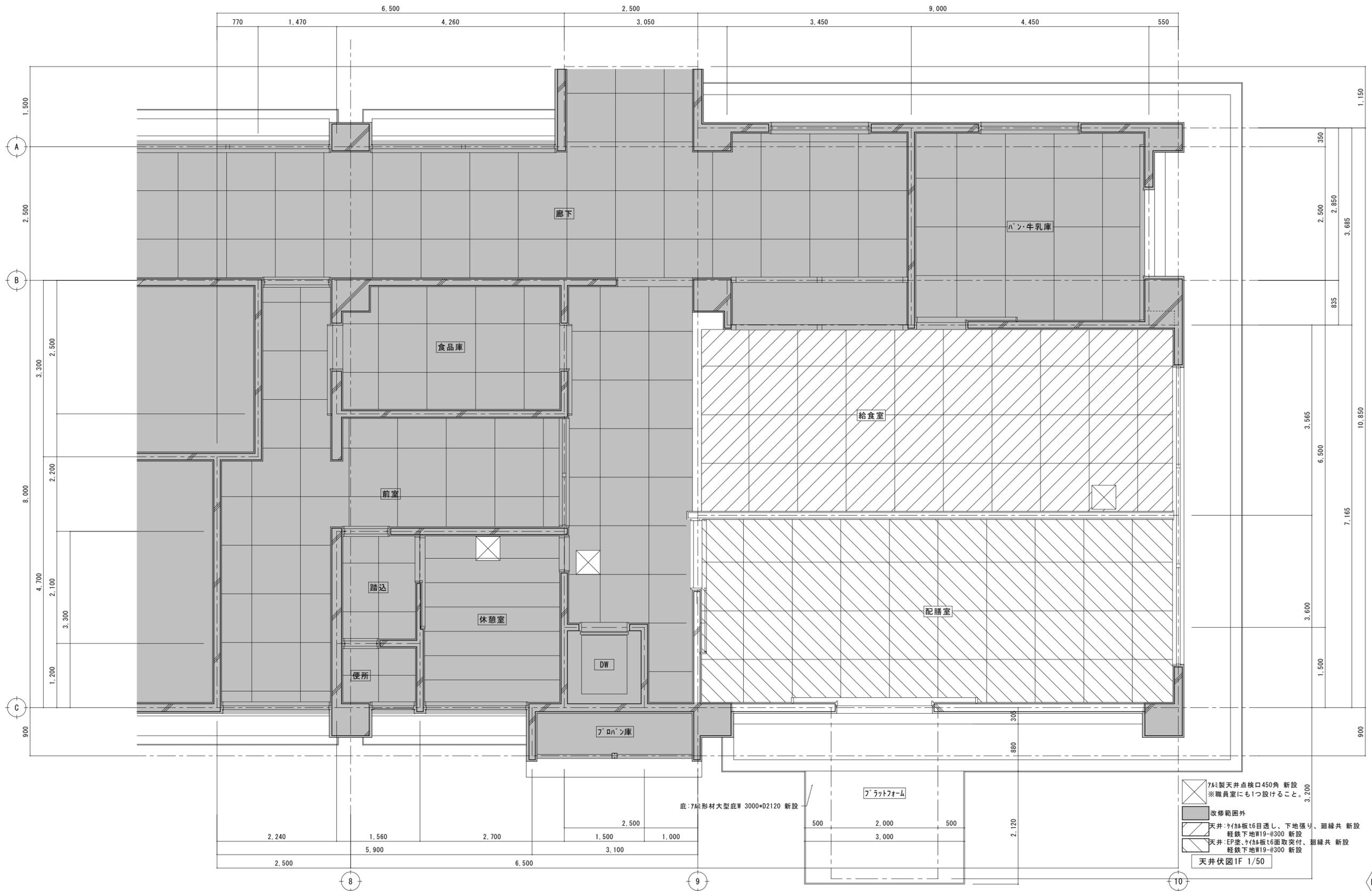


原図：A2

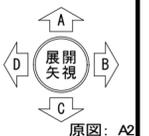
備考
天井仕上材にアスベストが含有されているため、注意すること。

**NISSHIN
SEKKEI**
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE	
Drawing Title 天井伏図1F(改修前)		SCALE A2: 1/50 A3: 1/70	
管理建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327099 倉田和彦



- 7桁型天井点検口450角 新設
※職員室にも1つ設けること。 3,200
 - 改修範囲外
 - 天井:ケイホル板t6目透し、下地張り、廻縁共 新設
 - 軽鉄下地W19-@300 新設
 - 天井:EP塗、ケイホル板t6面取突付、廻縁共 新設
 - 軽鉄下地W19-@300 新設
- 天井伏図 1F 1/50



原図: A2

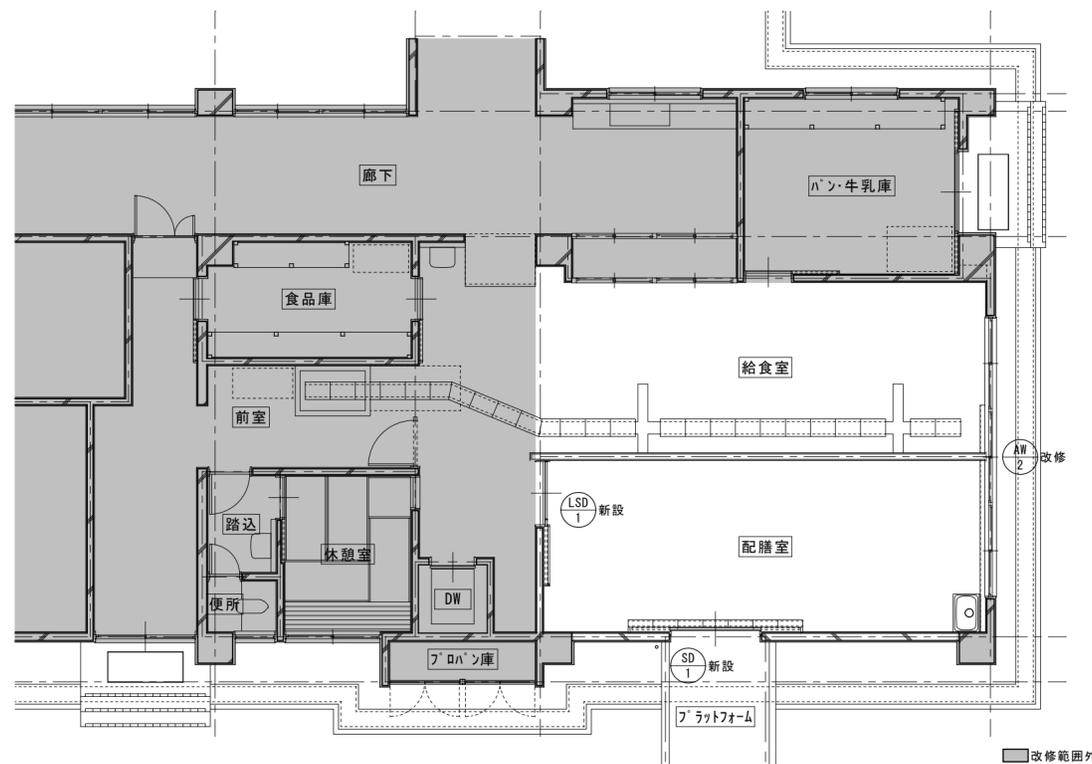
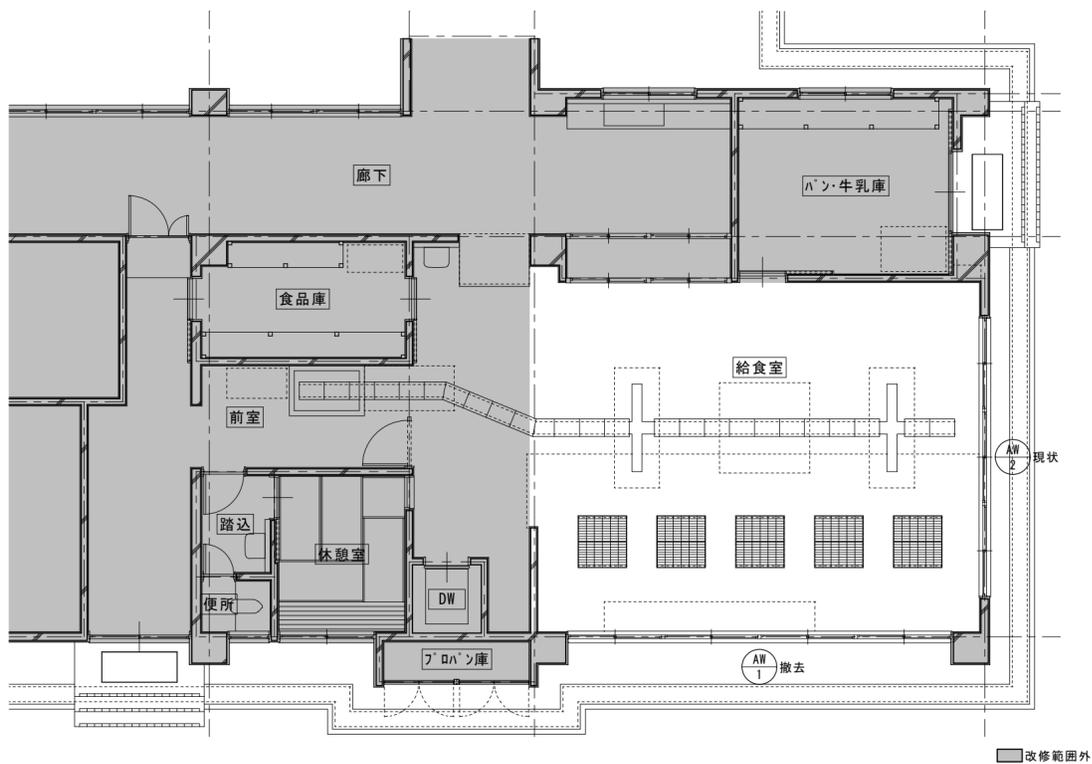
備考

**NISSHIN
SEKKEI**
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE	
Drawing Title 天井伏図1F(改修後)		SCALE A2: 1/50 A3: 1/70	
管理建築士	担当建築士	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.265708 出口基樹
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分進之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.265708 出口基樹

改修前

改修後



建具記号	室名・数量	AW 1 撤去	1ヶ所	AW 2 現状	1ヶ所	AW 2 改修	1ヶ所	SD 1 新設	1ヶ所	LSD 1 新設	1ヶ所
窓											
形式	内法	4連引違窓	7.630*700	7連固定ガラス付3連引違窓	5.540*1.500	7連固定ガラス付3連引違窓	5.540*1.500	両引分戸	3.410*2.000	自閉式軽量片引戸 片面戸袋型	2.465*2.000
枠見込	建具見込	70		70		70		155	40	295	38
建具材質	仕上	7&S		7&S		7&S		亜鉛めっき鋼板	SOP	亜鉛めっき鋼板	粉体焼付塗装
金物・他	付属金物一式			付属金物一式		付属金物一式		カイトレール、カイトロー、引戸錠、戸当り、SUS引手L450、SUS製レール、付属金物一式		自閉装置、スナップ、SUS引手L450、引戸錠、7&S引手、SUS製床見切り、付属金物一式	
ガラス	透明ガラス	透明ガラス		透明ガラス		強化ガラス		型板強化ガラス		型板強化ガラス	
備考	木製額縁75*25			木製額縁75*25 SOP塗		木製額縁75*25 SOP一部塗替、7&S複合ガラス3連新設					

原図: A2

備考

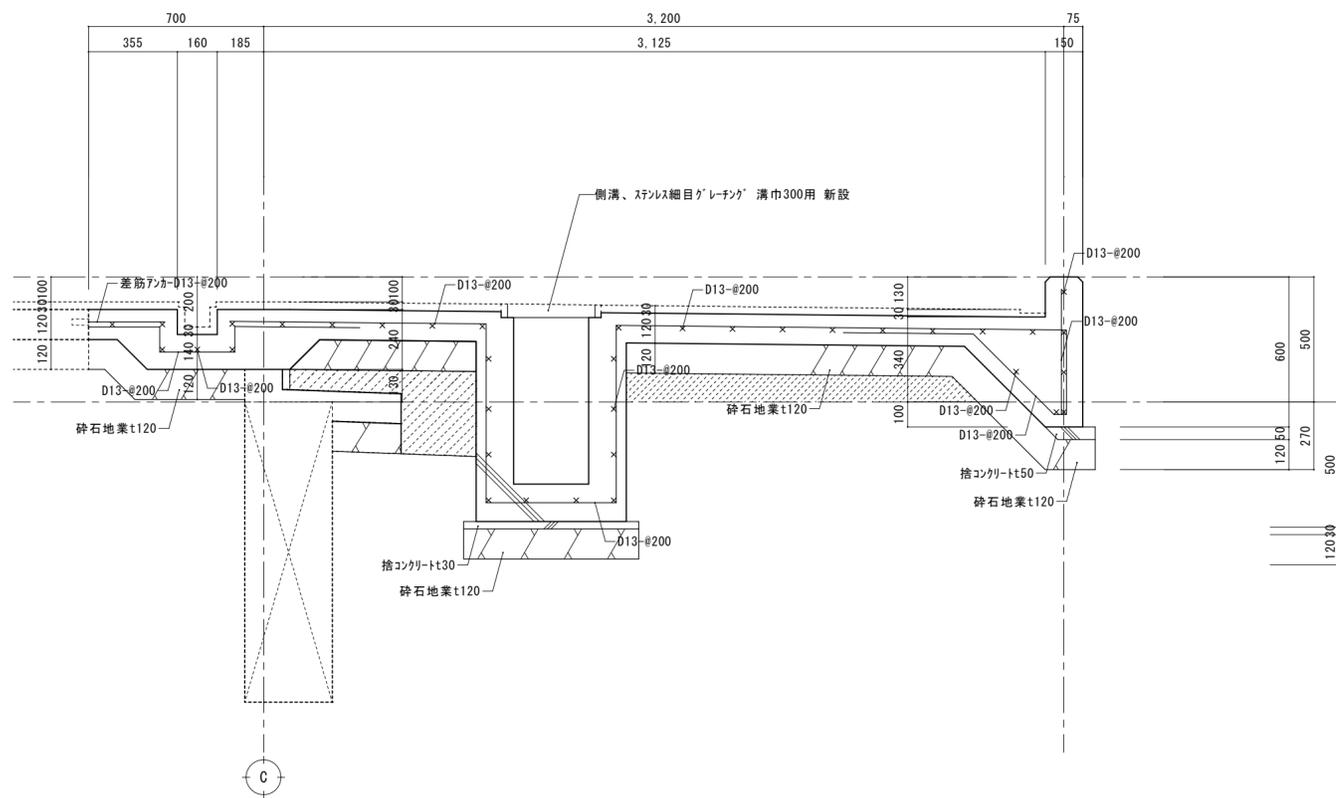
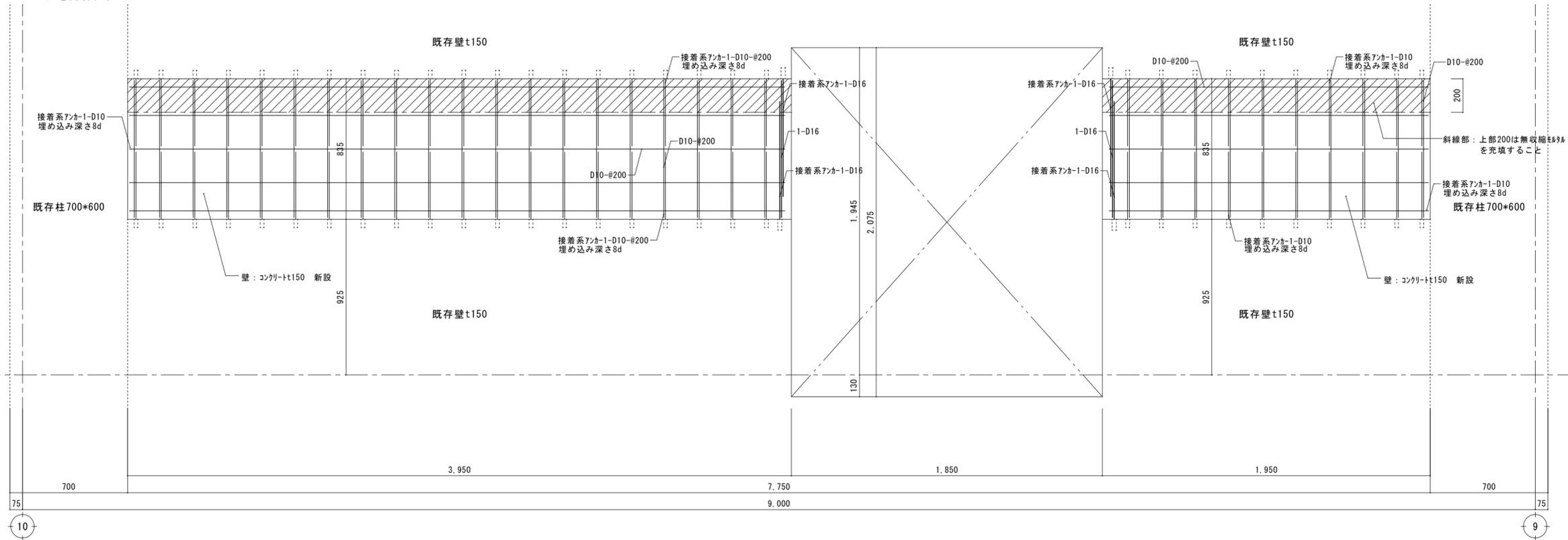
**NISSHIN
SEKKEI**
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

津市立安東小学校給食受入施設改修工事
建具配置図・建具表(改修前・後)

管理建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分憲之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327099 倉田和彦
----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

SCALE
A2: 1/100 A3: 1/140
A-17

新設躯体の上端から200mmは無収縮ポリウレタンを充填すること
 新躯体外部周囲シーリング (PU-2 10×10) を充填すること



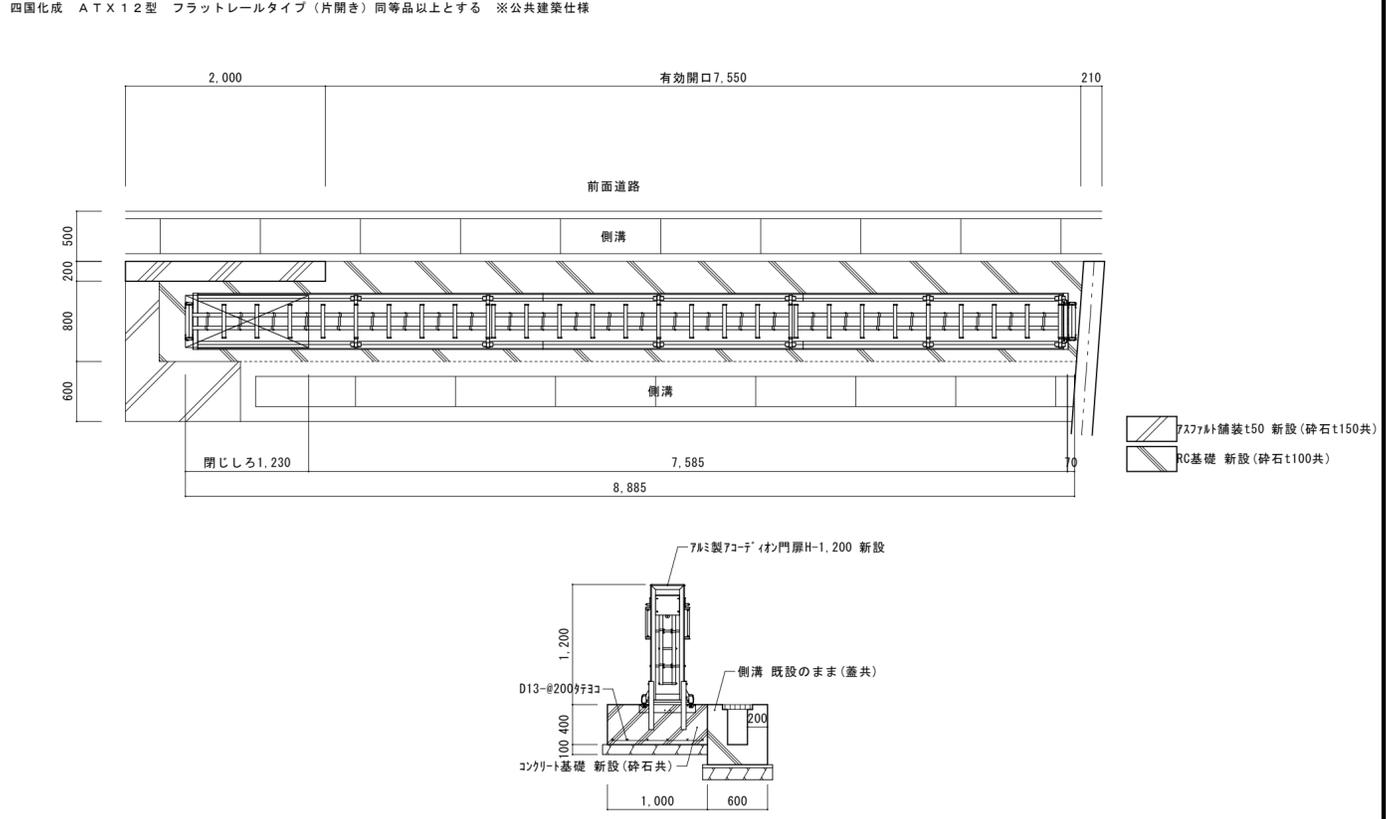
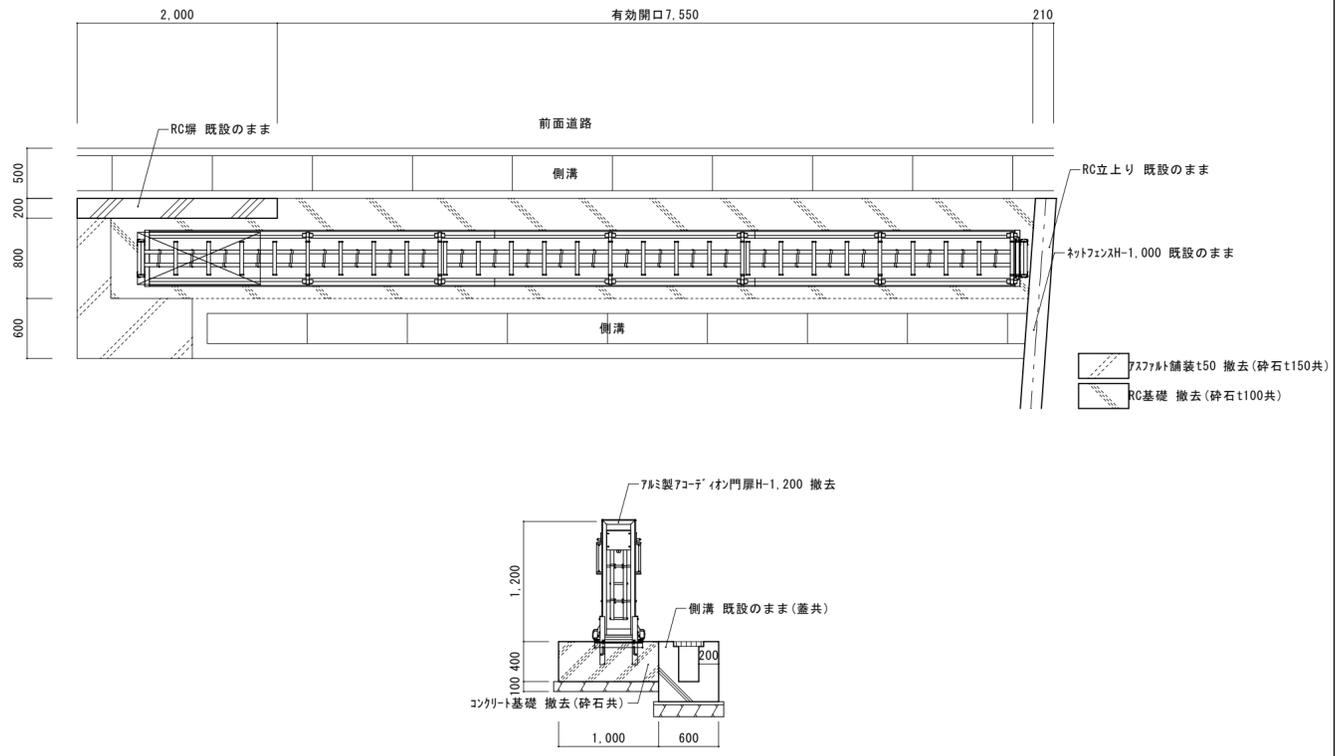
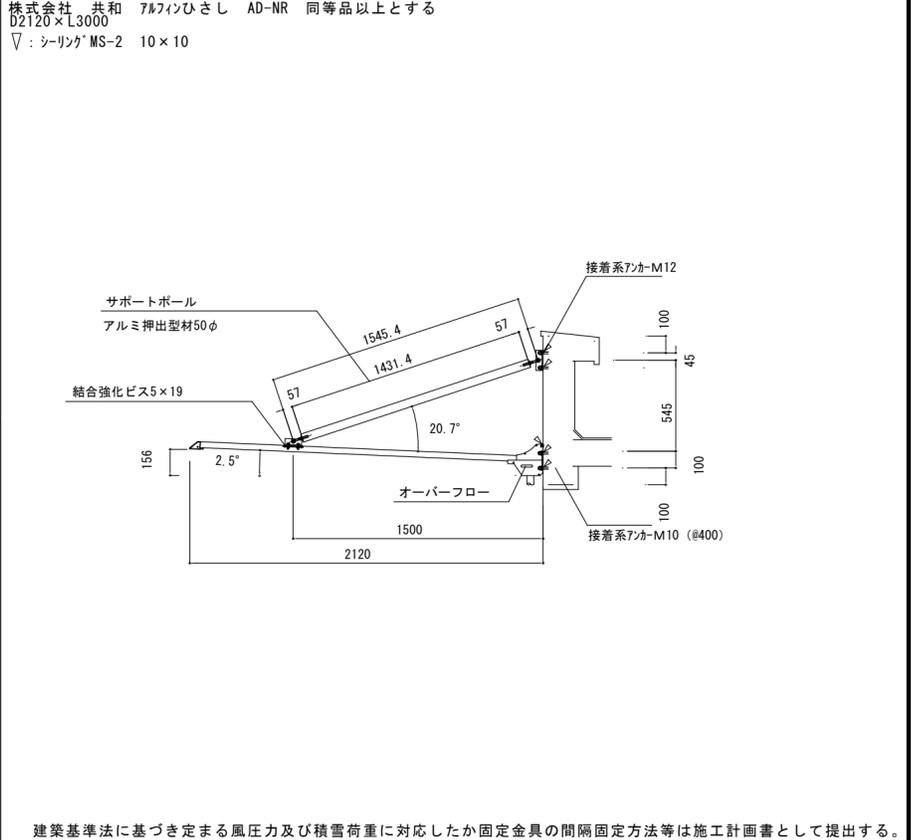
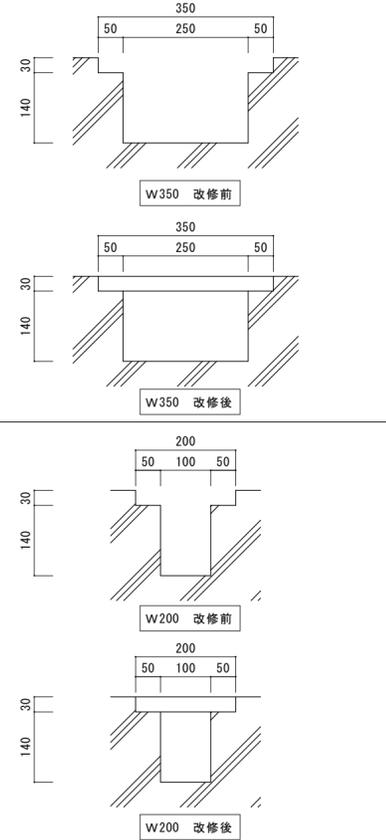
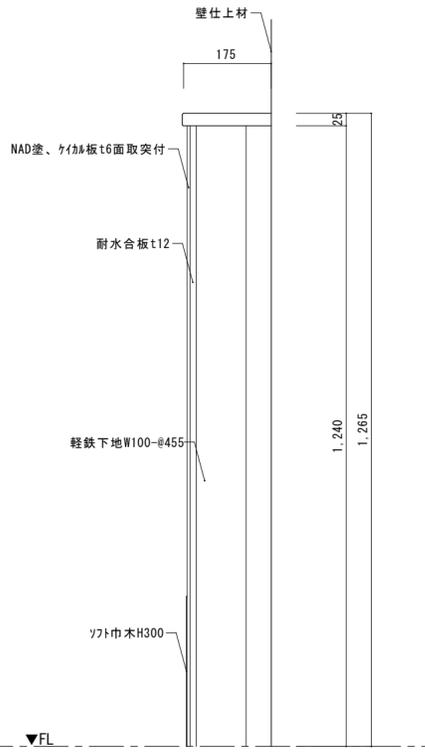
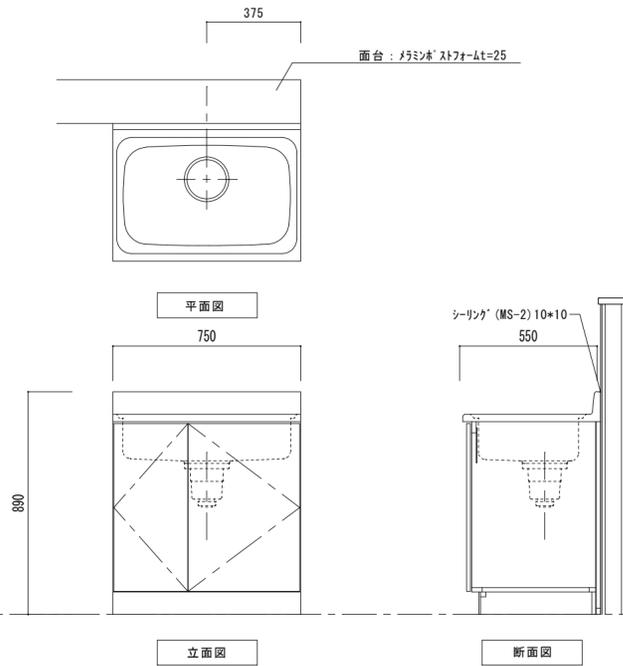
備 考	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title		津市立安東小学校給食受入施設改修工事	
Drawing Title		雑詳細図(改修後)	
管理建築士		担当建築士	
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.267099 倉田和彦

原図: A2
DATE
SCALE
A2: 1/20 A3: 1/28
A-18

参考品番 カウエブ工業(株) GK-S-75同等品 水切りプレート付
 ※化粧板・ファッパ芯材・下地合板・接着剤は、F☆☆☆☆認定品とする
 ※家具塗装は、F☆☆☆☆認定品とする

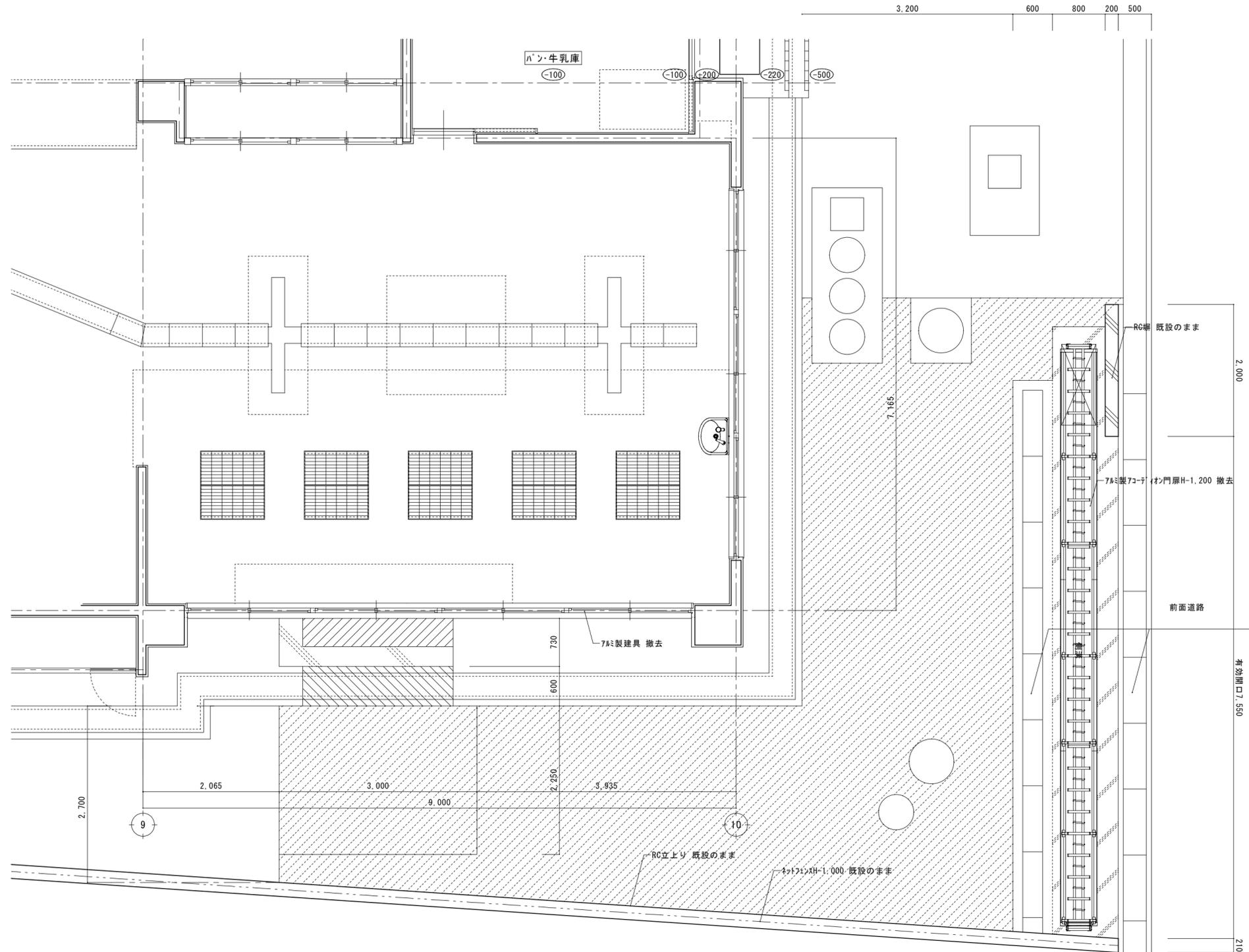


備 考	

NISSHIN SEKKEI
 日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事 Drawing Title 雑詳細図(改修後)		DATE SCALE A2: 1/20 A3: 1/28
管理建築士 一級建築士 No.265708 出口基樹	担当建築士 一級建築士 No.215909 藤分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹 倉田和彦

A-19



凡 例	
	既設犬走 目荒らし
	既設側溝 躯体撤去(蓋共)
	既設7M製舗装 撤去(砕石共)
	既設土間 砕石撤去
	RC基礎 撤去(砕石t100共)
	鉄骨金コシ上t30、土間コンクリートt120 撤去

※撤去部周囲かかへ

外構図 1/50

原図: A2

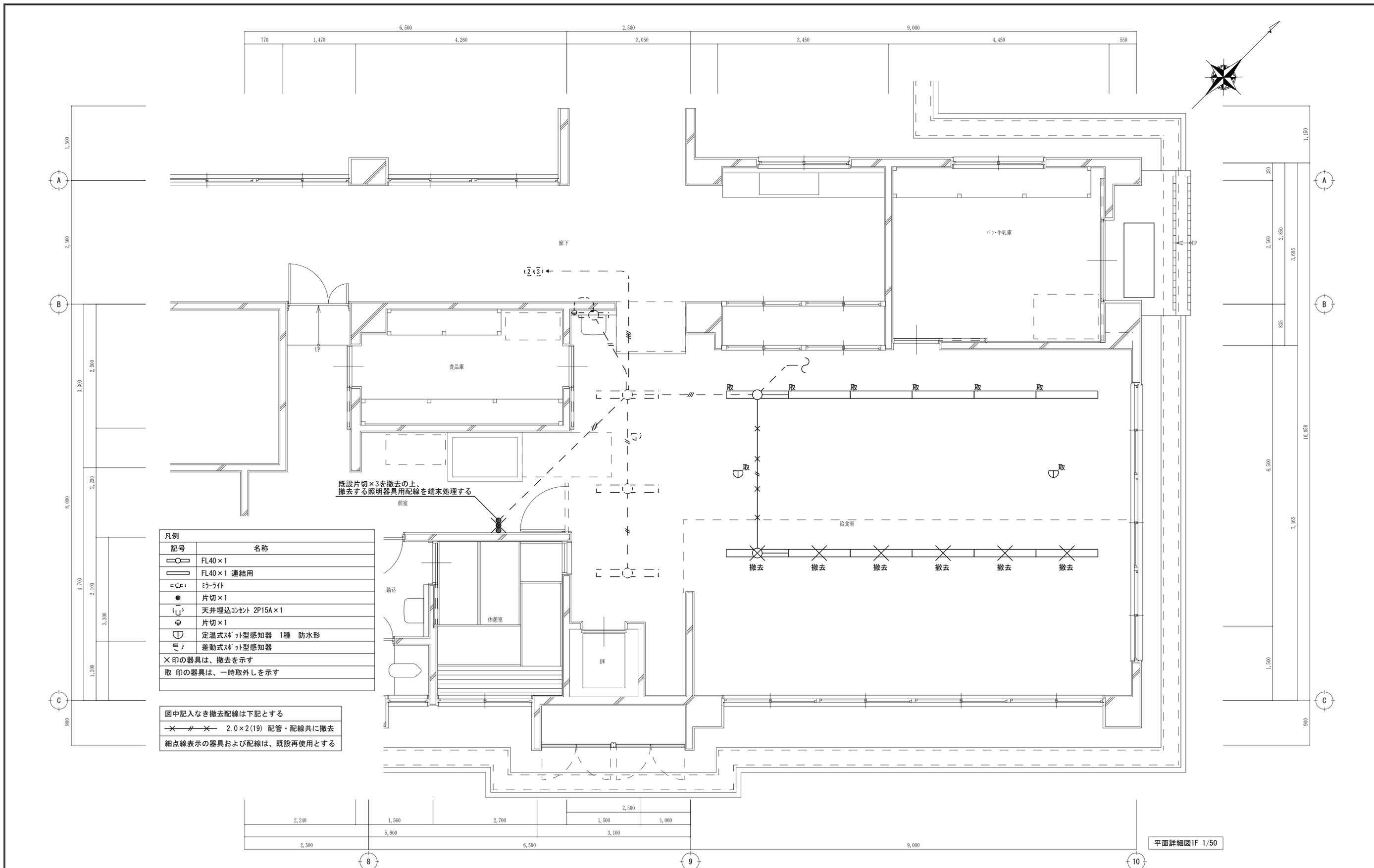
備 考	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE
Drawing Title 外構図(改修前)		SCALE
管理建築士 No.265708 出口基樹		A2: 1/50 A3: 1/70
担当建築士 一級建築士 No.215909 藤分進之 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.327099 倉田和彦		A-20

<p>20. 配線器具の設置</p> <p>(1) 特殊コンセントはプラグ付とする。 (2) 電源の種類により色を区別する。 (3) 配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4) プレートは、図面に指定なき場合は、新金属製とする。 (5) カバプレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を突装しない位置ボックスには用途表示をすること。 (6) フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リフ付）とする。</p> <p>21. 照明器具の設置</p> <p>(1) コードベンダー以外の放電灯及び水気のある場所の器具は接地する。なお、金属配管の場合は、配管を利用してよい。（乾燥した場所のコンパクト器具（27W以下）を除く。） (2) 接地線は電灯配線と同一太さのケーブルの1芯（緑色）を使用する。ただし、監督員の指示により1.6mmの絶縁電線（緑線）を使用することもできる。 (3) 照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承認を得ること。 (4) 照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A級とする。 (5) 天井下地利り支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (6) ハワイ吊りの照明器具は撤止めを施工する。</p> <p>22. 照明改修の際の測定</p> <p>対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所（ ） 測定回数（ ）回</p> <p>23. 分電盤、制御盤、キュービクル等</p> <p>(1) 図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。 (2) 屋外キャビネットで露出配管をボックスに接続する場合は、カップリングを溶接等行い接続部から雨水等が浸入しない方法とする。ただし、既設ボックスに接続する場合はロックナットとボックスの間にゴムパッキン等を取付け、接続部からの雨水等が浸入しないようとする。</p> <p>24. 受変電設備、発電設備の設置場所</p> <p>(1) 保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2) 基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (3) 電気室には水害、蒸気害、ガス害、ダクト等を通過させない。</p> <p>25. 発電設備の燃料配管</p> <p>(1) フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2) 配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>26. 電圧関係の計算及び測定</p> <p>(1) 計算書の提出 電圧強度測定結果による計算書提出 ・ 施工前 ・ 躯体上がり時 ・ その他（ ） (2) 測定の実施 1) 項目 全受電チャンネルの電圧強度、受電面等、等価C/N、ビット誤り率の測定及び映像写真の撮影を行う。 2) 測定時期 ・ 施工前 ・ 躯体上がり時 ・ 施工後 ・ その他（ ） 3) 報告書提出回数 ・ 2部 ・ （ ）部</p> <p>27. 土工事</p> <p>(1) 埋戻しの材料及び工法 ① 5種（材料：根切り土の中の良質土 / 工法：機器による締固め） その他（ ） ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2) 特記なき地中埋設配管の深さは、G1〜G00mm以上とする。 (3) 根切り時の種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等是有掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (4) 機械掘削は根切り底を乱さないようとする。</p> <p>28. ハンドホール、マンホール</p> <p>1) 地中線路及びハンドホール等状況が考慮される場合は、沈下対策を施す。 2) 地耐力 ① 地耐力は、建築基準法施行令第39条の短期応力度とする。 ② 衝撃係数は、設置場所に応じた衝撃係数とする。 3) 高さ900mmを超えるものあっては、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は450mm間隔以上とし、原則として接地を施すこと。</p> <p>29. 地中配線路の表示杭</p> <p>下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込込及び引出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲折箇所 ④ 道路横断箇所 ⑤ 直線部分では30m程度に1個</p>	<p>3. 機器仕様</p> <p>下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については、図面による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【電力設備】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1. 電灯設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 既設等との取り扱い</td> <td>・ 無し ・ 盤改造 ●配線接続 ・ 電源供給 ・ その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>●一般照明器具 ・ 照明制御装置 ・ 外灯（単独設置） ●コンセント等 ・ 分電盤、制御盤等 ・ その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(3) 一般照明器具</td> <td>1) 形式 ●公型式 ・ 一般型 ① 材質 ●アルミ合金 ・ LED灯 ・ HID灯 ・ その他（ ） 2) 灯具 ・ HI蛍光灯 ・ LED灯 ・ モールド 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ・ 防災用 4) 環境 ●普通地域 ・ 指定地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯管にグローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。</td> </tr> <tr> <td>(4) 照明制御装置</td> <td>1) センサ類 ・ 明るさセンサ ・ 人感センサ ・ タイマ ・ 調光スイッチ ・ その他（ ） 2) 調光方式 ・ 段階調光 ・ ON/OFF制御 ・ その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(5) 外灯（単独設置）</td> <td>1) 照明用ポール ① 材質 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製 ・ 溶融亜鉛メッキ ・ その他（ ） ② 配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他（ ） 3) 灯具 ・ 水筒灯 ・ ナトリウム灯 ・ HI蛍光灯 ・ LED灯 ・ その他（ ） 4) 安定器 ・ 一般形高圧形（BH） ・ 低始動電流形 ・ その他（ ） 5) 電源 ・ 商用電源（60Hz）（・ 200V ・ 100V） ・ 単独電源（・ 太陽電池式 ・ 風車式） ・ その他（ ）（点灯時間（ ）時間、不日保証日数（ ）日）</td> </tr> <tr> <td>(6) コンセント等</td> <td>●一般型 ●防水型 ●ハイテンションアウトレット（・ 固定型 ・ 上下動型（アップ式を含む））</td> </tr> <tr> <td>(7) 分電盤、制御盤等</td> <td>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針計（定格電流指示）とする。</td> </tr> <tr> <td>2. 動力設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 既設との取り扱い</td> <td>・ 無し ●盤改造 ●配線接続 ・ その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>●分電盤、制御盤等 ・ その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(3) 負荷設備</td> <td>・ 給水 ・ 排水 ・ 消火 ●空調 ・ 換気 ・ 排煙 ・ 昇降機 ・ その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(4) 負荷設備への接続</td> <td>図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。</td> </tr> <tr> <td>(5) 電動機等の接地</td> <td>・ 専用接地 ・ 金属管接地（7.5kW以下）</td> </tr> <tr> <td>(6) 電動機等の力率の改善</td> <td>本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。</td> </tr> <tr> <td>(7) 保護継電器</td> <td>過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。</td> </tr> <tr> <td>(8) 分電盤、制御盤等</td> <td>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針計（定格電流指示）とする。</td> </tr> <tr> <td>3. 雷保護設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 避雷針</td> <td>1) 受雷部 ・ 突針 ・ 棒上導体 ・ 笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用 3) 接地棒 ・ 接地棒埋設 ・ 建築構造体利用 ・ 測定用補助接地棒 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・ 電位差計方式 ・ 電圧降下法 ② 測定回数 ・ 3回 ・ （ ）回 5) 接地棒埋設機を設置する。</td> </tr> <tr> <td>(2) 雷サージ保護</td> <td>1) 雷サージ変圧器 ・ 設置（・ 単相用 ・ 動力用） ・ 設置しない 2) SPD ・ 低圧用（・ クラスⅠ ・ クラスⅡ） ・ 通信用（・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1） 3) 低圧用SPDクラスⅠの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリD1の性能 別図による</td> </tr> <tr> <td>(3) 電源回路の保護</td> <td>1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。</td> </tr> <tr> <td>(4) 通信回線の保護</td> <td>電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。</td> </tr> <tr> <td>4. 接地設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 接地工事</td> <td>1) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 2) 施工 ・ 各種単独 ・ 共有有り（ ）</td> </tr> <tr> <td>(2) 接地抵抗の測定</td> <td>1) 測定方法 ・ 電位差計方式 ・ 電圧降下法 2) 測定回数 ・ 3回 ・ （ ）回</td> </tr> <tr> <td>(3) 接地棒埋設機</td> <td>接地には接地棒埋設機を施工し、接地棒の位置がわかるようにする。</td> </tr> <tr> <td>【受変電設備】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 受変電設備</td> <td>高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。</td> </tr> <tr> <td>(1) 既設との取り扱い</td> <td>・ 無し ・ 改造（機器取替、追加等を含む） ・ 増設 ・ 配線接続 ・ その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>・ 盤類 ・ 交流遮断器 ・ 断路器 ・ 避雷器 ・ 負荷開閉器 ・ 変圧器 ・ 進相コンデンサ 直列リアクトル ・ 配線用遮断器 ・ 電磁接触器 ・ その他（ ）</td> </tr> <tr> <td>(3) 盤類</td> <td>1) 形式 ・ キュービクル式配電盤（JIS C 4620） ・ 高圧スイッチギア（JEM 1425）（・ CX ・ CW ・ PW ・ MW） ・ 開放形配電盤 ・ その他（ ） 2) 中通路 ・ 有（ ・ 無 ） 3) 特記事項 （ ）</td> </tr> <tr> <td>(4) 交流遮断器</td> <td>真空遮断器（VCB） ① 操作方式 ・ 手動ばね操作 ・ 電動ばね操作 ・ 電磁操作 ② 引外し方式 ・ 電流引外し ・ コンデンサ引外し ・ 電流電圧引外し</td> </tr> </tbody> </table>	項目	特記事項	【電力設備】		1. 電灯設備		(1) 既設等との取り扱い	・ 無し ・ 盤改造 ●配線接続 ・ 電源供給 ・ その他（ ）	(2) 機器類	●一般照明器具 ・ 照明制御装置 ・ 外灯（単独設置） ●コンセント等 ・ 分電盤、制御盤等 ・ その他（ ）	(3) 一般照明器具	1) 形式 ●公型式 ・ 一般型 ① 材質 ●アルミ合金 ・ LED灯 ・ HID灯 ・ その他（ ） 2) 灯具 ・ HI蛍光灯 ・ LED灯 ・ モールド 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ・ 防災用 4) 環境 ●普通地域 ・ 指定地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯管にグローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。	(4) 照明制御装置	1) センサ類 ・ 明るさセンサ ・ 人感センサ ・ タイマ ・ 調光スイッチ ・ その他（ ） 2) 調光方式 ・ 段階調光 ・ ON/OFF制御 ・ その他（ ）	(5) 外灯（単独設置）	1) 照明用ポール ① 材質 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製 ・ 溶融亜鉛メッキ ・ その他（ ） ② 配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他（ ） 3) 灯具 ・ 水筒灯 ・ ナトリウム灯 ・ HI蛍光灯 ・ LED灯 ・ その他（ ） 4) 安定器 ・ 一般形高圧形（BH） ・ 低始動電流形 ・ その他（ ） 5) 電源 ・ 商用電源（60Hz）（・ 200V ・ 100V） ・ 単独電源（・ 太陽電池式 ・ 風車式） ・ その他（ ）（点灯時間（ ）時間、不日保証日数（ ）日）	(6) コンセント等	●一般型 ●防水型 ●ハイテンションアウトレット（・ 固定型 ・ 上下動型（アップ式を含む））	(7) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針計（定格電流指示）とする。	2. 動力設備		(1) 既設との取り扱い	・ 無し ●盤改造 ●配線接続 ・ その他（ ）	(2) 機器類	●分電盤、制御盤等 ・ その他（ ）	(3) 負荷設備	・ 給水 ・ 排水 ・ 消火 ●空調 ・ 換気 ・ 排煙 ・ 昇降機 ・ その他（ ）	(4) 負荷設備への接続	図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。	(5) 電動機等の接地	・ 専用接地 ・ 金属管接地（7.5kW以下）	(6) 電動機等の力率の改善	本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。	(7) 保護継電器	過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。	(8) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針計（定格電流指示）とする。	3. 雷保護設備		(1) 避雷針	1) 受雷部 ・ 突針 ・ 棒上導体 ・ 笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用 3) 接地棒 ・ 接地棒埋設 ・ 建築構造体利用 ・ 測定用補助接地棒 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・ 電位差計方式 ・ 電圧降下法 ② 測定回数 ・ 3回 ・ （ ）回 5) 接地棒埋設機を設置する。	(2) 雷サージ保護	1) 雷サージ変圧器 ・ 設置（・ 単相用 ・ 動力用） ・ 設置しない 2) SPD ・ 低圧用（・ クラスⅠ ・ クラスⅡ） ・ 通信用（・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1） 3) 低圧用SPDクラスⅠの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリD1の性能 別図による	(3) 電源回路の保護	1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。	(4) 通信回線の保護	電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。	4. 接地設備		(1) 接地工事	1) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 2) 施工 ・ 各種単独 ・ 共有有り（ ）	(2) 接地抵抗の測定	1) 測定方法 ・ 電位差計方式 ・ 電圧降下法 2) 測定回数 ・ 3回 ・ （ ）回	(3) 接地棒埋設機	接地には接地棒埋設機を施工し、接地棒の位置がわかるようにする。	【受変電設備】		5. 受変電設備	高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。	(1) 既設との取り扱い	・ 無し ・ 改造（機器取替、追加等を含む） ・ 増設 ・ 配線接続 ・ その他（ ）	(2) 機器類	・ 盤類 ・ 交流遮断器 ・ 断路器 ・ 避雷器 ・ 負荷開閉器 ・ 変圧器 ・ 進相コンデンサ 直列リアクトル ・ 配線用遮断器 ・ 電磁接触器 ・ その他（ ）	(3) 盤類	1) 形式 ・ キュービクル式配電盤（JIS C 4620） ・ 高圧スイッチギア（JEM 1425）（・ CX ・ CW ・ PW ・ MW） ・ 開放形配電盤 ・ その他（ ） 2) 中通路 ・ 有（ ・ 無 ） 3) 特記事項 （ ）	(4) 交流遮断器	真空遮断器（VCB） ① 操作方式 ・ 手動ばね操作 ・ 電動ばね操作 ・ 電磁操作 ② 引外し方式 ・ 電流引外し ・ コンデンサ引外し ・ 電流電圧引外し	<p>(5) 断路器</p> <p>1) 形式 ・ 3極単投 ・ 単極単投（避雷器用に限る） 2) 操作方式 ・ 遠方手動操作 ・ フック棒操作（避雷器用に限る）</p> <p>(6) 負荷開閉器</p> <p>1) 形式 ・ 配電盤用 ・ 引込柱用 ・ 地中引込用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ・ フック棒操作 ・ 遠方手動操作 ・ 電動操作 ② 断電モード ・ 有（ストライク付） ・ 無 ③ 引外し装置 ・ ストライク引外し ・ 電圧引外し ・ 無 ④ 本体及び制御箱の材質 ・ ステンレス製 ・ 鋼製 ⑤ 保護装置 ・ 過電流警勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ⑥ 保護装置は、過電流警勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする</p> <p>3) 引込柱用 ① 本体及び制御箱の材質 ・ ステンレス製 ・ 鋼製 ② 保護装置 ・ 過電流警勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③ 保護装置は、過電流警勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする</p> <p>4) 地中引込用 1) 形式 ・ 油入 ・ モールド 2) 設置方式 ・ 屋外型 ・ 屋内型 3) ダイヤル温度計 ・ 有（・ 最大値指針 無） ・ 無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p> <p>(7) 変圧器</p> <p>1) 形式 ・ 油入 ・ モールド 2) 容量 ・ 6kVA ・ 13% 3) ダイヤル温度計 ・ 有（・ 最大値指針 無） ・ 無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p> <p>(8) 進相コンデンサ</p> <p>1) 絶縁方式 ・ 油入 ・ モールド 2) その他 ① 内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ② 放電装置を附属又は内蔵すること</p> <p>(9) 直列リアクトル（進相コンデンサ用）</p> <p>1) 絶縁方式 ・ 油入 ・ モールド 2) 容量 ・ 6kVA ・ 13% 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること</p> <p>(10) 設備不平衡</p> <p>高圧受電の三相3線式における不平衡の制限は、設備不平衡率が3.0%以下となるようにする。</p> <p>(11) キュービクル等</p> <p>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。</p> <p>(12) 基礎</p> <p>1) 施工 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他（ ） 2) ビット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。</p> <p>(13) 配線ビッド及び蓋</p> <p>1) 施工 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他（ ） 2) ビット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。</p> <p>(14) 設置場所</p> <p>・ 屋内 ・ 屋外（・ 地上 ・ 屋上）</p> <p>【電気貯蔵設備】</p> <p>6. 直流電源設備</p> <p>(1) 用途 ・ 非常用照明器具電源 ・ 受変電設備制御電源 ・ その他（ ）</p> <p>(2) 容量 （ ）kVA</p> <p>(3) 整流装置</p> <p>1) 出力電圧 直流（・ 12V ・ 24V ・ 48V ・ （ ）V） 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p> <p>(4) 蓄電池</p> <p>1) 種類 ・ 鉛蓄電池（・ HS ・ MSE ・ 長寿命形MSE） ・ アルカリ蓄電池（・ AH ・ AMH） ・ その他（ ） 2) 最低蓄電池温度 ・ 5℃ ・ 15℃ ・ 25℃ ・ -5℃ ・ （ ）℃</p> <p>(5) 性能 停電復帰時間（ ）</p> <p>7. 交流無停電電源設備</p> <p>(1) 用途 （ ）</p> <p>(2) 容量 （ ）kVA</p> <p>(3) 給電方式 ・ 常時インバータ給電方式 ・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式 ・ その他（ ）</p> <p>(4) 整流装置等 整流装置、インバータ装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。</p> <p>(5) 蓄電池</p> <p>1) 種類 ・ 鉛蓄電池（・ HS ・ MSE ・ 長寿命形MSE） ・ アルカリ蓄電池（・ AH ・ AMH） ・ その他（ ） 2) 最低蓄電池温度 ・ 5℃ ・ 15℃ ・ 25℃ ・ -5℃ ・ （ ）℃</p> <p>(6) 性能 停電復帰時間（ ）</p> <p>8. 電力平準化用蓄電設備</p> <p>(1) 用途 （ ）</p> <p>(2) 機能 ・ ピークシフト機能 ・ ピークカット機能 ・ 商用停電時のバックアップ機能</p> <p>(3) 蓄電池</p> <p>1) 種類 ・ リチウム二次電池 ・ 鉛蓄電池 ・ ニッケル水素蓄電池 2) 容量 3) 期待寿命 4) 充放電回数 5) 放電時間 6) 補機類 ・ 製造者標準 ・ その他（ ）</p> <p>(4) 性能 1) 交流入出力電気方式 ・ 三相3線式（・ 200V ・ （ ）V） ・ 単相3線式（200/100V） 2) 自立運転 ・ する ・ しない 3) 系統連系 ・ する ・ しない (5) 計測表示 遠方監視用接点 ・ 設けない ・ 設ける（詳細は別図による）</p> <p>(6) 状態・警報表示 移動用の遠方監視用接点の搭載を必須とする。</p> <p>9. 分散電源 燃料・マテリアル</p> <p>【発電設備】</p> <p>10. 燃料系発電設備</p> <p>(1) 用途 1) 用途 ・ 防災電源専用（防災認定品） ・ 防災電源兼用（防災認定品） ・ 一般用 2) 区分 ・ 常用 ・ 非常用</p> <p>(2) 設置場所 ・ 屋内 ・ 屋外（・ 普通地域 ・ 指定地域）</p> <p>(3) 機器 ・ 発電装置 ・ 燃料槽 ・ 給油ボックス ・ 燃料移送ポンプ ・ その他（ ）</p> <p>(4) 発電装置</p> <p>1) 種類 ・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 2) 形式 ・ 筒筒形 ・ オープン式 ・ キュービクル式（・ 85dB(A)/1m ・ 75dB(A)/1m） 3) 始動時間（停電後） ・ 10秒以内 ・ 40秒以内 4) 連続運転時間 ・ 2時間以上 ・ 10時間以上 ・ 24時間以上 ・ 72時間以上 ・ その他（ ）</p> <p>5) 発電機 ① 電気方式 ・ 三相3線式（・ 6.6kV ・ 200V ・ （ ）V） ・ 単相3線式（200/100V） ② 定格周波数 ・ 60Hz ③ 定格出力 （ ）kVA ④ 定格出力 （ ）kW以上 ⑤ 冷却方式 ・ ラジエーター方式 ・ 冷却水循環式 ・ その他（ ）</p> <p>(6) 原動機 1) 種類 ・ 軽油 ・ 灯油 ・ A重油 ・ その他（ ） 2) 引込燃料 ・ 炭タンク ・ 指定なし ・ その他（ ）</p> <p>(7) 燃料槽</p> <p>1) 形式及び容量 ・ パッケージ搭載タンク（ ）リットル ・ 燃料小出槽（ ）リットル ・ 主燃料槽（ ）リットル 2) 燃料小出槽 ・ 屋外型（・ ステンレス製 ・ 鋼製） ・ 屋内型（・ ステンレス製 ・ 鋼製） 3) 主燃料槽 ① 設置場所 ・ 屋内（地上） ・ 地下埋設（・ タンク室内埋設 ・ 直埋設） ② 形式 ・ 単重タンク ・ 二重タンク ・ その他（ ） ③ 設置工事 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ その他（ ） ④ タンク室工事 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他（ ）</p> <p>(8) 給油ボックス</p> <p>1) 材質 ・ ステンレス製 ・ 鋼製 ・ その他（ ） 2) 油温指示計 ・ 有（ ・ 無 ）</p> <p>(9) 燃料移送ポンプ</p> <p>1) 電動ポンプ ・ 単重ポンプ ・ 油中ポンプ 2) 手動ポンプ（ウイングポンプ） ・ 有 ・ 無 3) 電動ポンプ水没防止カバー ・ 有 ・ 無</p> <p>(9) 基礎 ・ 本工事（・ 2.1N/m² ・ 1.8N/m²） ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他（ ）</p>	<p>11. 太陽光発電設備</p> <p>(1) 機器 ・ 太陽電池アレイ ・ パワーコンディショナ ・ 系統連系保護装置 ・ 接続箱 ・ 情報処理装置 ・ その他（ ）</p> <p>(2) 太陽電池アレイ</p> <p>1) 発電能力 公称出力（ ）kW 2) 架台は、JIS C 8955「太陽電池アレイ用支持設計標準」による。 (3) パワーコンディショナ及び系統連系保護装置 1) 出力電気方式 ・ 三相3線式（・ 200V ・ （ ）V） ・ 単相3線式（200/100V） ・ 単相2線式（・ 200V ・ 100V ・ （ ）V） 2) 定格周波数 60Hz 3) 設置場所 ・ 屋内 ・ 屋外 ・ その他（ ） 4) 設置方式 ・ 壁掛型 ・ 自立型 ・ その他（ ） 5) 機能 ・ 系統連系 ・ 高圧連系 ・ みなし低圧連系 ・ 低圧連系 ・ 自立運転 ・ その他（ ） 6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。</p> <p>(4) 情報処理装置</p> <p>1) 装置 ・ データ処理装置 ・ データ表示装置 ・ 気温計 ・ 日射計 2) 記録作成 ・ 日報 ・ 月報 ・ 年報 ・ その他（ ） 仕様詳細は「太陽光発電設備特記仕様書」による。</p> <p>12. 風力発電設備</p> <p>(1) 機器 ・ 風車発電装置 ・ 制御装置 ・ 系統連系保護装置 ・ 支持構造物 ・ 情報処理装置 ・ その他（ ）</p> <p>(2) 風車発電装置 発電能力 定格出力（ ）kW</p> <p>(3) 制御盤</p> <p>1) 出力電気方式 ・ 三相3線式（・ 200V ・ （ ）V） ・ 単相3線式（200/100V） ・ 単相2線式（・ 200V ・ 100V ・ （ ）V） 2) 定格周波数 60Hz 3) 設置場所 ・ 屋内 ・ 屋外 ・ その他（ ） 4) 設置方式 ・ 壁掛型 ・ 自立型 ・ その他（ ） 5) 機能 ・ 系統連系 ・ 高圧連系 ・ みなし低圧連系 ・ 低圧連系 ・ 自立運転 ・ その他（ ） 6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。 自置、積載荷重、積雪、振動、衝撃等に対し、安全が確保されたものとする。</p> <p>(4) 支持構造物 1) 装置 ・ データ処理装置 ・ データ表示装置 ・ 風速計 ・ 風向計 ・ 気温計 ・ その他（ ） 2) 記録作成 ・ 日報 ・ 月報 ・ 年報 ・ その他（ ） 仕様詳細は「風力発電設備特記仕様書」による。</p> <p>13. その他発電設備 （ ）の仕様詳細は別図による。</p> <p>【通信・情報設備】</p> <p>14. 構内情報通信網設備</p> <p>(1) インターフェース</p> <p>1) LAN ・ 1000BASE-T ・ 無線LAN（ ） ・ その他（ ） 2) WAN（ ）</p> <p>(2) 機器 ・ スイッチ ・ ルータ ・ メディアコンバータ ・ ファイアウォール ・ 時刻同期装置 ・ ネットワーク管理装置 ・ 機器収納ラック ・ アウトレット ・ その他（ ） 各機器の仕様詳細は別図による。</p> <p>(3) ケーブル</p> <p>1) 幹線系 ・ UTP ・ 光ファイバ ・ その他（ ） 2) 支線系 ・ UTP ・ 光ファイバ 3) フロア系 ・ UTP ・ その他（ ）</p> <p>(4) アウトレット ・ ローテーションアウトレット（・ 固定型 ・ 上下動型（アップ式を含む）） ・ 壁コンセント ・ その他（ ）</p> <p>15. 構内交換設備</p> <p>(1) 機器 ・ 交換装置 ・ 電話機 ・ 端子盤類 ・ アウトレット ・ その他（ ）</p> <p>(2) 交換装置</p> <p>1) 種別 ・ 構内交換装置（・ デジタルPBX ・ IP-PBX ・ VoIPサーバ） ・ ボタン電話装置 ・ その他（ ）</p> <p>2) 局線応答方式 ・ 局線中継台方式 ・ 分散中継台方式 ・ ダイヤライン方式 ・ ダイレクトインダイヤル方式 ・ ダイレクトインラン方式 ・ その他（ ）</p> <p>3) 保安用接地 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他（ ）</p> <p>4) 本配電盤(MDF) ・ 自立フレーム ・ 片面形 ・ 両面形 ・ 交換機一体型 ・ 壁掛型 ・ その他（ ）</p> <p>5) 電源装置 ① 形式 ・ 別置型 ・ 一体形 ・ その他（ ） ② 停電復帰時間 ・ 30分以上 ・ （ ）</p> <p>(3) 電話機 ・ 一般電話機 ・ 多機能電話機 ・ IP電話機 ・ デジタルコードレス電話機（PHS方式） ・ IPコードレス電話機（無線LAN方式） ・ その他（ ）</p> <p>(4) 端子盤類</p> <p>1) 端子盤 ・ 中継端子盤（IDF） ・ 室内端子盤 2) 中継端子盤には実装数の2.0%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子スペースを見込む。</p> <p>(5) アウトレット ・ ローテーションアウトレット（・ 固定型 ・ 上下動型（アップ式を含む）） ・ 壁コンセント ・ その他（ ）</p> <p>16. 情報表示設備</p> <p>・ マルチサイン装置 ・ 出退表示装置 ・ 時刻表示装置 ・ 警報等表示装置</p> <p>(2) マルチサイン装置</p> <p>1) 機器 ・ 操作制御部 ・ 情報表示部 ・ その他（ ） 2) 通信方式 ・ TCP/IP 3) 操作制御部 ・ メーサースキヤナ ・ 有 ・ 無 4) 情報表示部 ・ 発光ダイオード式 ・ 液晶式 ・ その他（ ）</p> <p>(3) 出退表示装置</p> <p>1) 機器 ・ 制御装置 ・ 出退表示部 ・ その他（ ） 2) 出退表示部 ・ 発光ダイオード式 ・ 液晶式 ・ その他（ ）</p> <p>(4) 時刻表示装置</p> <p>1) 機器 ・ 観時計 ・ 子時計 ・ 電源装置 ・ 単独時計 ・ その他（ ） 2) 観時計 ① 形式 ・ 壁掛型 ・ 自立型 ・ ラックマウント型（ラック架組込） ② 時刻補正機能 ・ FM放送受信（・ アンテナ設置 ・ 既設利用） ・ 長距離標準電波受信（・ アンテナ設置 ・ 既設利用） ③ 回線数 （ ）回線 ④ 機能 ・ 電子チャイム（ ）曲 ・ 時報 ・ プログラムタイム （引渡し時は機種の説明及びプログラムの入力を行うこと。） ・ アナログ式 ・ デジタル式</p> <p>3) 子時計 ① 方式 ・ 屋内用 ・ 屋外用 ・ その他（ ） ② 設置場所 ・ 屋内 ・ 屋外 4) 電源装置 運転可能時間（・ 10時間 ・ （ ）時間） 5) 単独時計 ① 方式 ・ アナログ式 ・ デジタル式 ② 設置場所 ・ 屋内 ・ 屋外 ③ 時刻補正機能 ・ 有 ・ 無</p> <p>(5) 警報等表示装置</p> <p>1) 機器 ・ 表示器 ・ 検出装置 ・ その他（ ） 2) 表示器 ① 表示方式 ・ 表示器 ・ その他（ ） ② 施工 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他（ ） 3) 検出装置 ① 検出方式 ・ 電線 ・ 無電圧接点 ・ その他（ ） ② 施工 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他（ ）</p> <p>4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。</p>
項目	特記事項																																																																						
【電力設備】																																																																							
1. 電灯設備																																																																							
(1) 既設等との取り扱い	・ 無し ・ 盤改造 ●配線接続 ・ 電源供給 ・ その他（ ）																																																																						
(2) 機器類	●一般照明器具 ・ 照明制御装置 ・ 外灯（単独設置） ●コンセント等 ・ 分電盤、制御盤等 ・ その他（ ）																																																																						
(3) 一般照明器具	1) 形式 ●公型式 ・ 一般型 ① 材質 ●アルミ合金 ・ LED灯 ・ HID灯 ・ その他（ ） 2) 灯具 ・ HI蛍光灯 ・ LED灯 ・ モールド 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ・ 防災用 4) 環境 ●普通地域 ・ 指定地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯管にグローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。																																																																						
(4) 照明制御装置	1) センサ類 ・ 明るさセンサ ・ 人感センサ ・ タイマ ・ 調光スイッチ ・ その他（ ） 2) 調光方式 ・ 段階調光 ・ ON/OFF制御 ・ その他（ ）																																																																						
(5) 外灯（単独設置）	1) 照明用ポール ① 材質 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製 ・ 溶融亜鉛メッキ ・ その他（ ） ② 配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他（ ） 3) 灯具 ・ 水筒灯 ・ ナトリウム灯 ・ HI蛍光灯 ・ LED灯 ・ その他（ ） 4) 安定器 ・ 一般形高圧形（BH） ・ 低始動電流形 ・ その他（ ） 5) 電源 ・ 商用電源（60Hz）（・ 200V ・ 100V） ・ 単独電源（・ 太陽電池式 ・ 風車式） ・ その他（ ）（点灯時間（ ）時間、不日保証日数（ ）日）																																																																						
(6) コンセント等	●一般型 ●防水型 ●ハイテンションアウトレット（・ 固定型 ・ 上下動型（アップ式を含む））																																																																						
(7) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針計（定格電流指示）とする。																																																																						
2. 動力設備																																																																							
(1) 既設との取り扱い	・ 無し ●盤改造 ●配線接続 ・ その他（ ）																																																																						
(2) 機器類	●分電盤、制御盤等 ・ その他（ ）																																																																						
(3) 負荷設備	・ 給水 ・ 排水 ・ 消火 ●空調 ・ 換気 ・ 排煙 ・ 昇降機 ・ その他（ ）																																																																						
(4) 負荷設備への接続	図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。																																																																						
(5) 電動機等の接地	・ 専用接地 ・ 金属管接地（7.5kW以下）																																																																						
(6) 電動機等の力率の改善	本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。																																																																						
(7) 保護継電器	過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。																																																																						
(8) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針計（定格電流指示）とする。																																																																						
3. 雷保護設備																																																																							
(1) 避雷針	1) 受雷部 ・ 突針 ・ 棒上導体 ・ 笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用 3) 接地棒 ・ 接地棒埋設 ・ 建築構造体利用 ・ 測定用補助接地棒 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・ 電位差計方式 ・ 電圧降下法 ② 測定回数 ・ 3回 ・ （ ）回 5) 接地棒埋設機を設置する。																																																																						
(2) 雷サージ保護	1) 雷サージ変圧器 ・ 設置（・ 単相用 ・ 動力用） ・ 設置しない 2) SPD ・ 低圧用（・ クラスⅠ ・ クラスⅡ） ・ 通信用（・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1） 3) 低圧用SPDクラスⅠの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリD1の性能 別図による																																																																						
(3) 電源回路の保護	1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。																																																																						
(4) 通信回線の保護	電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。																																																																						
4. 接地設備																																																																							
(1) 接地工事	1) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 2) 施工 ・ 各種単独 ・ 共有有り（ ）																																																																						
(2) 接地抵抗の測定	1) 測定方法 ・ 電位差計方式 ・ 電圧降下法 2) 測定回数 ・ 3回 ・ （ ）回																																																																						
(3) 接地棒埋設機	接地には接地棒埋設機を施工し、接地棒の位置がわかるようにする。																																																																						
【受変電設備】																																																																							
5. 受変電設備	高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。																																																																						
(1) 既設との取り扱い	・ 無し ・ 改造（機器取替、追加等を含む） ・ 増設 ・ 配線接続 ・ その他（ ）																																																																						
(2) 機器類	・ 盤類 ・ 交流遮断器 ・ 断路器 ・ 避雷器 ・ 負荷開閉器 ・ 変圧器 ・ 進相コンデンサ 直列リアクトル ・ 配線用遮断器 ・ 電磁接触器 ・ その他（ ）																																																																						
(3) 盤類	1) 形式 ・ キュービクル式配電盤（JIS C 4620） ・ 高圧スイッチギア（JEM 1425）（・ CX ・ CW ・ PW ・ MW） ・ 開放形配電盤 ・ その他（ ） 2) 中通路 ・ 有（ ・ 無 ） 3) 特記事項 （ ）																																																																						
(4) 交流遮断器	真空遮断器（VCB） ① 操作方式 ・ 手動ばね操作 ・ 電動ばね操作 ・ 電磁操作 ② 引外し方式 ・ 電流引外し ・ コンデンサ引外し ・ 電流電圧引外し																																																																						
備考		<p style="text-align: center;">NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社</p> <p style="text-align: center;">三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹</p>	<table border="1"> <tr> <td>Job Title</td> <td colspan="4">津市立安東小学校給食受入施設改修工事</td> <td>DATE</td> </tr> <tr> <td>Drawing Title</td> <td colspan="4">電気設備特記仕様書 2</td> <td>SCALE</td> </tr> <tr> <td>管理建築士</td> <td colspan="4">担当建築士</td> <td>A2: NS</td> </tr> <tr> <td>一級建築士 No.265708 出口基樹</td> <td>一級建築士 No.215909 園分恵之</td> <td>一級建築士 No.265708 出口基樹</td> <td>一級建築士 No.327089 倉田和彦</td> <td></td> <td>E-02</td> </tr> </table>	Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事				DATE	Drawing Title	電気設備特記仕様書 2				SCALE	管理建築士	担当建築士				A2: NS	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 園分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦		E-02																																												
Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事				DATE																																																																		
Drawing Title	電気設備特記仕様書 2				SCALE																																																																		
管理建築士	担当建築士				A2: NS																																																																		
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 園分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦		E-02																																																																		

<p>17. 映像・音響設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 映像機器</p> <p>1) 表示機器</p> <p>2) 付属機器</p> <p>(3) 音響機器</p> <p>(4) 増幅器</p> <p>(5) スピーカ</p> <p>18. 拡声設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 増幅器</p> <p>(3) 付属機器</p> <p>(4) 操作装置</p> <p>(5) スピーカ</p> <p>19. 誘導支援設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 音声誘導装置</p> <p>(3) インターホン</p> <p>(4) トイレ等呼出装置</p> <p>20. テレビ共用受信設備</p> <p>(1) 受信放送</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <p>21. テレビ電波障害防除設備</p> <p>(1) 対象戸数</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <p>22. 監視カメラ設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 伝送方式</p> <p>(3) カメラ</p> <p>(4) モニタ装置</p> <p>(5) 録画装置</p>	<p>23. 駐車管理設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 管制盤</p> <p>(3) 検知器</p> <p>(4) 番号灯・警報灯</p> <p>(5) 発券機</p> <p>(6) カゲート</p> <p>24. 防犯・入室管理設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 防犯装置</p> <p>(3) 入室管理装置</p> <p>25. 自動火災報知設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機 (表示装置)</p> <p>(4) 中継器</p> <p>(5) 発信機</p> <p>(6) 感知器</p> <p>26. 自動閉鎖設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 運動制御器</p> <p>(3) 感知器</p> <p>(4) 自動閉鎖装置</p> <p>(5) 自動閉鎖装置</p> <p>27. 非常警報設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 非常放送装置</p> <p>28. ガス漏れ火災警報設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機</p> <p>(4) 検知器</p>	<p>【中央監視制御設備】</p> <p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1) 監視制御対象設備</p> <p>(2) 既設との取り合い</p> <p>(3) 機器</p> <p>(4) 機能</p> <p>(5) 監視操作装置</p> <p>(6) 信号処理装置</p> <p>(7) 記録装置</p> <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1) 形式</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1) 配線方式</p> <p>(2) 建柱</p> <p>(3) 装柱機器 (高圧用)</p> <p>(4) 装柱機器 (低圧用)</p> <p>(5) ハンドホール・マンホール</p> <p>(6) 錆鉄蓋</p> <p>(7) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【構内通信線路】</p> <p>33. 構内通信線路</p> <p>(1) 用途</p> <p>(2) 配線方式</p> <p>(3) 建柱</p> <p>(4) ハンドホール・マンホール</p> <p>(5) 錆鉄蓋</p> <p>(6) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【その他】</p> <p>34. 消火器</p>	<p>III. 機器標準取得高さ標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。(〇印はバリアフリー対応)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>名 称</th> <th>備 考</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">電力</td> <td>接地端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取引用計器</td> <td>地上～窓中心</td> <td>1,800～2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引込開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800～2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分電盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">電灯</td> <td>スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td>〇1,000mm</td> </tr> <tr> <td>コンセント (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> <td>〇400mm</td> </tr> <tr> <td>コンセント (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント (台上)</td> <td>床下～中心</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント (WP)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント (地下)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">動力</td> <td>コンセント (土間)</td> <td>床下～中心</td> <td>500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,100～2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット (鏡上)</td> <td>鏡上端～中心</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット (処理場)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電話</td> <td>壁掛制御盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">時計・拡声</td> <td>保安器盤</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁掛型親時計</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">表示</td> <td>時計針</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁掛型スピーカ</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td>2,500mm</td> </tr> <tr> <td>アツチネータ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表示器</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">インターホン</td> <td>壁付発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベル・プザー・チャイム</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁付インターホン</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">テレビ</td> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子機 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>呼びボタン (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>800～950</td> <td>便座先端から後方100～200mm 2個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)</td> </tr> <tr> <td>表示灯 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">火災報知</td> <td>機器収容箱</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直列ユニット</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直列ユニット (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受信機・副受信機</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考資料</td> <td>発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表示灯</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベル</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参考資料</td> <td colspan="4">高齢者が居住する住宅の設計に係る指針 (最終改正 平成21年国交省告示第906号) ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等 (平成25年4月 三重県)</td> </tr> </tbody> </table>		名 称	備 考	取付高さ (mm)	備 考	電力	接地端子盤	床下～下端			取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000		引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000		分電盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm	電灯	スイッチ	床下～中心	1,300	〇1,000mm	コンセント (一般)	床下～中心	300	〇400mm	コンセント (和室)	床下～中心	200		コンセント (台上)	床下～中心	150		コンセント (WP)	床下～中心	1,000		コンセント (地下)	床下～中心	1,000		動力	コンセント (土間)	床下～中心	500		ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300		ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150		ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500		電話	壁掛制御盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm	手元開閉器	床下～中心	1,500		操作スイッチ	床下～中心	1,300		端子盤	床下～下端	300		時計・拡声	保安器盤	床下～中心	2,000		壁位置ボックス	床下～中心	300		壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200		壁掛型親時計	床下～中心	1,500	上端1,900mm	表示	時計針	床下～中心	2,300		壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300	2,500mm	アツチネータ	床下～中心	1,300		表示器	床下～中心	2,300		インターホン	壁付発信器	床下～中心	1,300		ベル・プザー・チャイム	床下～中心	2,300		壁付インターホン	床下～中心	1,300		壁位置ボックス (和室)	床下～中心	300		テレビ	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200		子機 (身障者用)	床下～中心	1,100		呼びボタン (身障者用)	床下～中心	800～950	便座先端から後方100～200mm 2個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800		火災報知	機器収容箱	床下～中心	2,000		直列ユニット	床下～中心	300		直列ユニット (和室)	床下～中心	200		受信機・副受信機	床下～中心	1,500		参考資料	発信器	床下～中心	1,300		表示灯	床下～中心	1,800		ベル	床下～中心	2,300		参考資料	高齢者が居住する住宅の設計に係る指針 (最終改正 平成21年国交省告示第906号) ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等 (平成25年4月 三重県)			
	名 称	備 考	取付高さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																							
電力	接地端子盤	床下～下端																																																																																																																																																																																									
	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000																																																																																																																																																																																								
	引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000																																																																																																																																																																																								
	分電盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																																							
電灯	スイッチ	床下～中心	1,300	〇1,000mm																																																																																																																																																																																							
	コンセント (一般)	床下～中心	300	〇400mm																																																																																																																																																																																							
	コンセント (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																								
	コンセント (台上)	床下～中心	150																																																																																																																																																																																								
	コンセント (WP)	床下～中心	1,000																																																																																																																																																																																								
	コンセント (地下)	床下～中心	1,000																																																																																																																																																																																								
動力	コンセント (土間)	床下～中心	500																																																																																																																																																																																								
	ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300																																																																																																																																																																																								
	ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150																																																																																																																																																																																								
	ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500																																																																																																																																																																																								
電話	壁掛制御盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																																							
	手元開閉器	床下～中心	1,500																																																																																																																																																																																								
	操作スイッチ	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																								
	端子盤	床下～下端	300																																																																																																																																																																																								
時計・拡声	保安器盤	床下～中心	2,000																																																																																																																																																																																								
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																																																																																								
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																								
	壁掛型親時計	床下～中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																																							
表示	時計針	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																																								
	壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300	2,500mm																																																																																																																																																																																							
	アツチネータ	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																								
	表示器	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																																								
インターホン	壁付発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																								
	ベル・プザー・チャイム	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																																								
	壁付インターホン	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																								
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	300																																																																																																																																																																																								
テレビ	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																								
	子機 (身障者用)	床下～中心	1,100																																																																																																																																																																																								
	呼びボタン (身障者用)	床下～中心	800～950	便座先端から後方100～200mm 2個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)																																																																																																																																																																																							
	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800																																																																																																																																																																																								
火災報知	機器収容箱	床下～中心	2,000																																																																																																																																																																																								
	直列ユニット	床下～中心	300																																																																																																																																																																																								
	直列ユニット (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																								
	受信機・副受信機	床下～中心	1,500																																																																																																																																																																																								
参考資料	発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																								
	表示灯	床下～中心	1,800																																																																																																																																																																																								
	ベル	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																																								
	参考資料	高齢者が居住する住宅の設計に係る指針 (最終改正 平成21年国交省告示第906号) ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等 (平成25年4月 三重県)																																																																																																																																																																																									



凡例

記号	名称
○	FL40×1
—○—	FL40×1 連結用
□	ミラーライト
●	片切×1
□	天井埋込コンセント 2P15A×1
○	片切×1
○	定温式ｽﾍﾞｯﾄ型感知器 1種 防水形
○	差動式ｽﾍﾞｯﾄ型感知器
×	×印の器具は、撤去を示す
取	取印の器具は、一時取外しを示す

図中記入なき撤去配線は下記とする
 —×//×— 2.0×2(19) 配管・配線共に撤去
 細点線表示の器具および配線は、既設再使用とする

既設片切×3を撤去の上、撤去する照明器具用配線を端末処理する

平面詳細図1F 1/50

備考

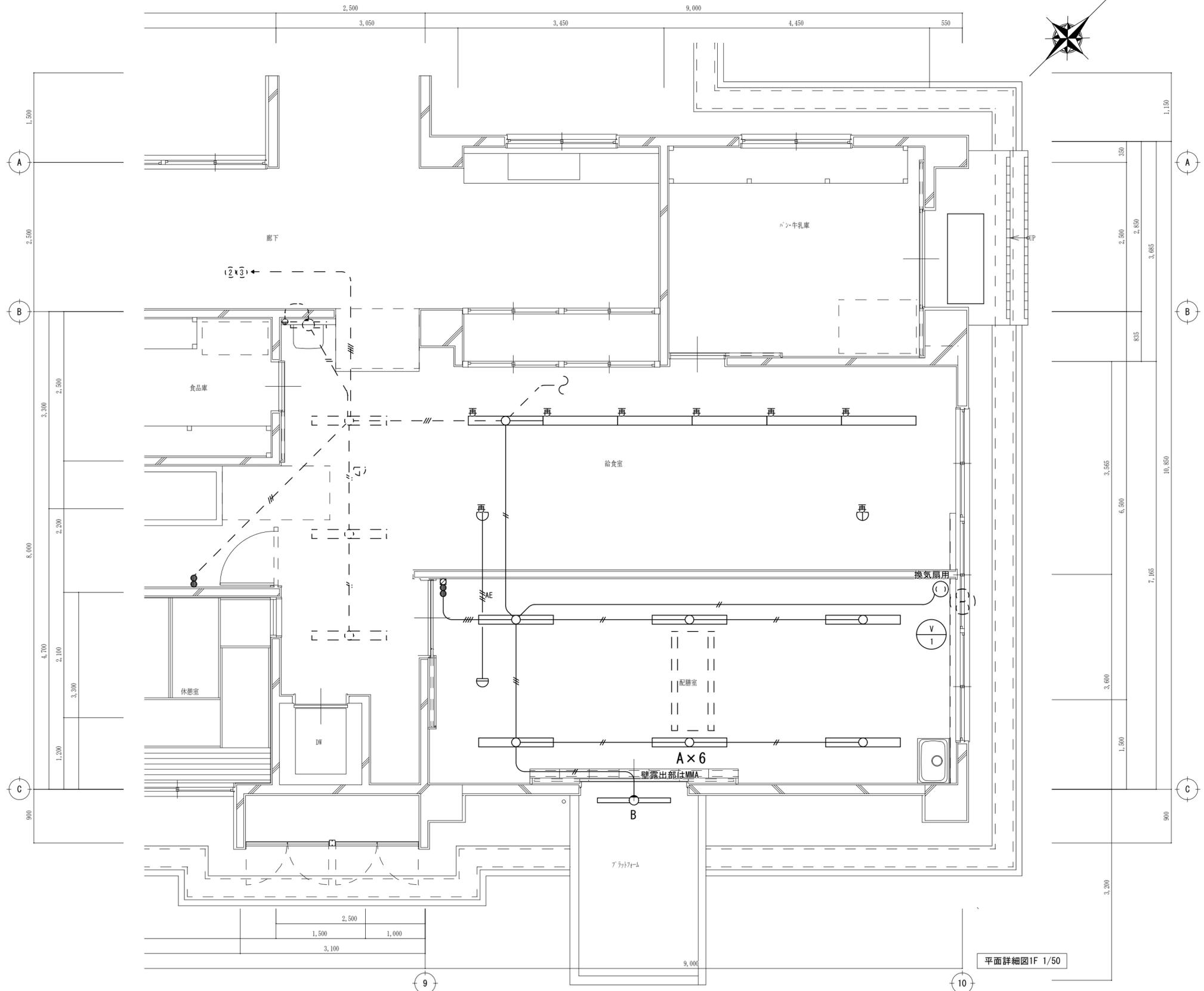
**NISSHIN
SEKKEI**
 日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事				DATE
Drawing Title	電灯設備・自動火災報知設備 1F平面図(改修前)				SCALE
					A2:1/50
管理建築士	担当建築士				E-04
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 園分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦		

公共施設型番：LSS9-6800LM	
A	LED ^α -スライト Hf32W高出力×2器具相当
LBF3MP/RP-2600LM	
B	LEDウォールライト 防湿型・防雨型

凡例	記号	名称
		LED ^α -スライト
		LED ^α -スライト 連結用
		LEDウォールライト
		片切1P15A × 1
		換気扇スイッチ (機械設備工事)
		差動式スト型感知器 2種
		定温式スト型感知器 1種 防水形
		天井換気扇 (機械設備工事)
		抜止コンセント (2P15A × 1)

図中記入なき配線は下記とする	
電灯	VVF1.6-2C
	VVF1.6-3C
火報	AE1.2-2C
点線の器具および配線は、既設とする	
再 印の器具は、再取付けを示す	
壁内は、PF22にて保護とする	



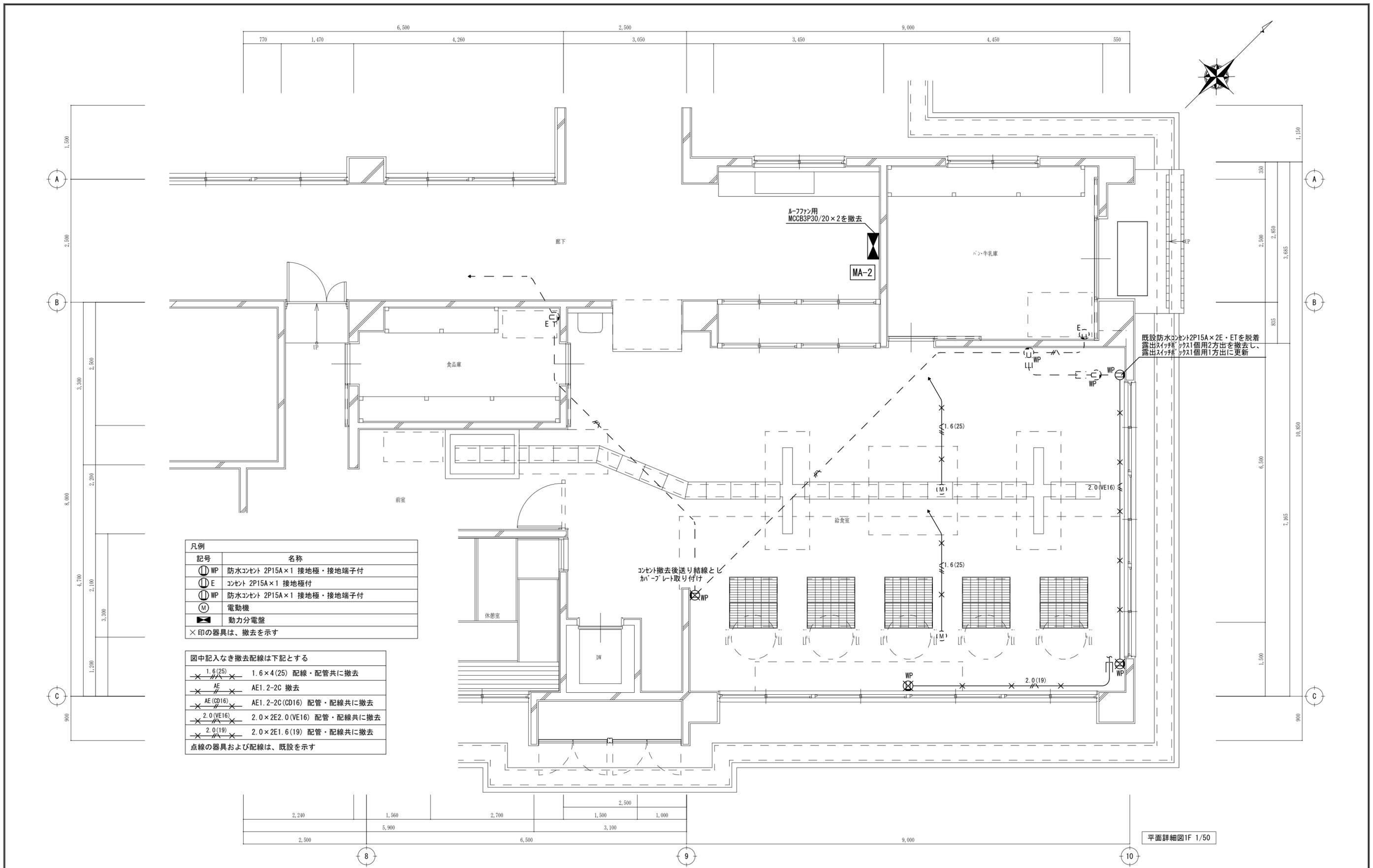
平面詳細図1F 1/50

備考	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事			
Drawing Title	電灯設備・自動火災報知設備 1F平面図(改修後)			
管理建築士	担当建築士			
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 園分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦	

DATE	
SCALE	A2:1/50
	E-05



凡例	
記号	名称
WP	防水コンセント 2P15A×1 接地極・接地端子付
E	コンセント 2P15A×1 接地極付
WP	防水コンセント 2P15A×1 接地極・接地端子付
M	電動機
MA	動力分電盤
×印の器具は、撤去を示す	

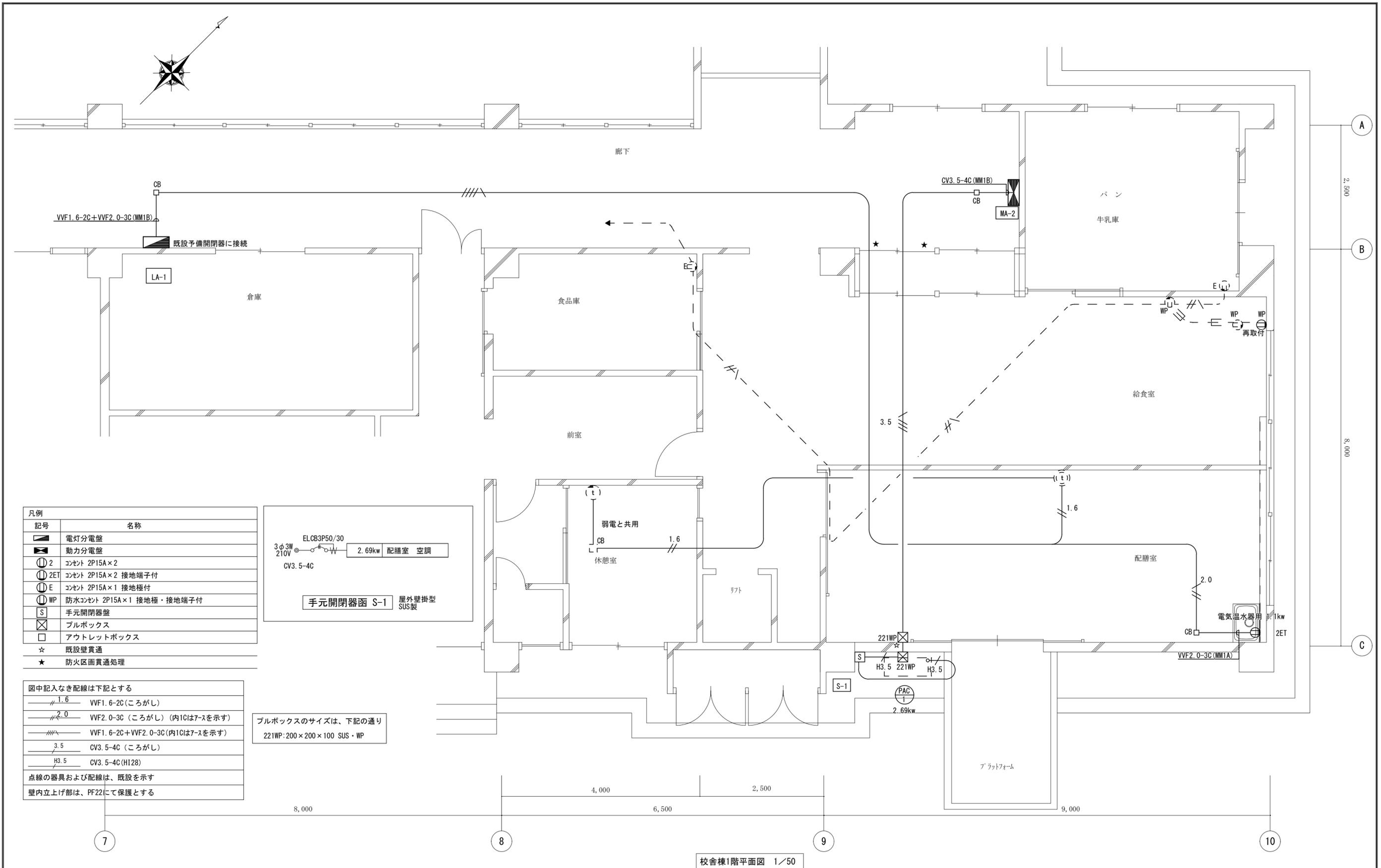
図中記入なき撤去配線は下記とする	
1.6(25)	1.6×4(25) 配線・配管共に撤去
AE	AE1.2-2C 撤去
AE(CD16)	AE1.2-2C(CD16) 配管・配線共に撤去
2.0(VE16)	2.0×2E2.0(VE16) 配管・配線共に撤去
2.0(19)	2.0×2E1.6(19) 配管・配線共に撤去
点線の器具および配線は、既設を示す	

平面詳細図1F 1/50

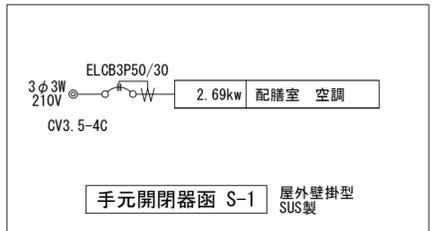
備考

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	DATE
津市立安東小学校給食受入施設改修工事	
Drawing Title	SCALE
コンセント・動力設備 1F平面図(改修前)	A2:1/50
管理建築士	担当建築士
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 園分恵之
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦
E-06	



凡例	記号	名称
	☐	電灯分電盤
	⚡	動力分電盤
	⊙ 2	コンセント 2P15A×2
	⊙ 2ET	コンセント 2P15A×2 接地端子付
	⊙ E	コンセント 2P15A×1 接地極付
	⊙ WP	防水コンセント 2P15A×1 接地極・接地端子付
	S	手元開閉器盤
	⊗	ブルボックス
	□	アウトレットボックス
	☆	既設壁貫通
	★	防火区画貫通処理



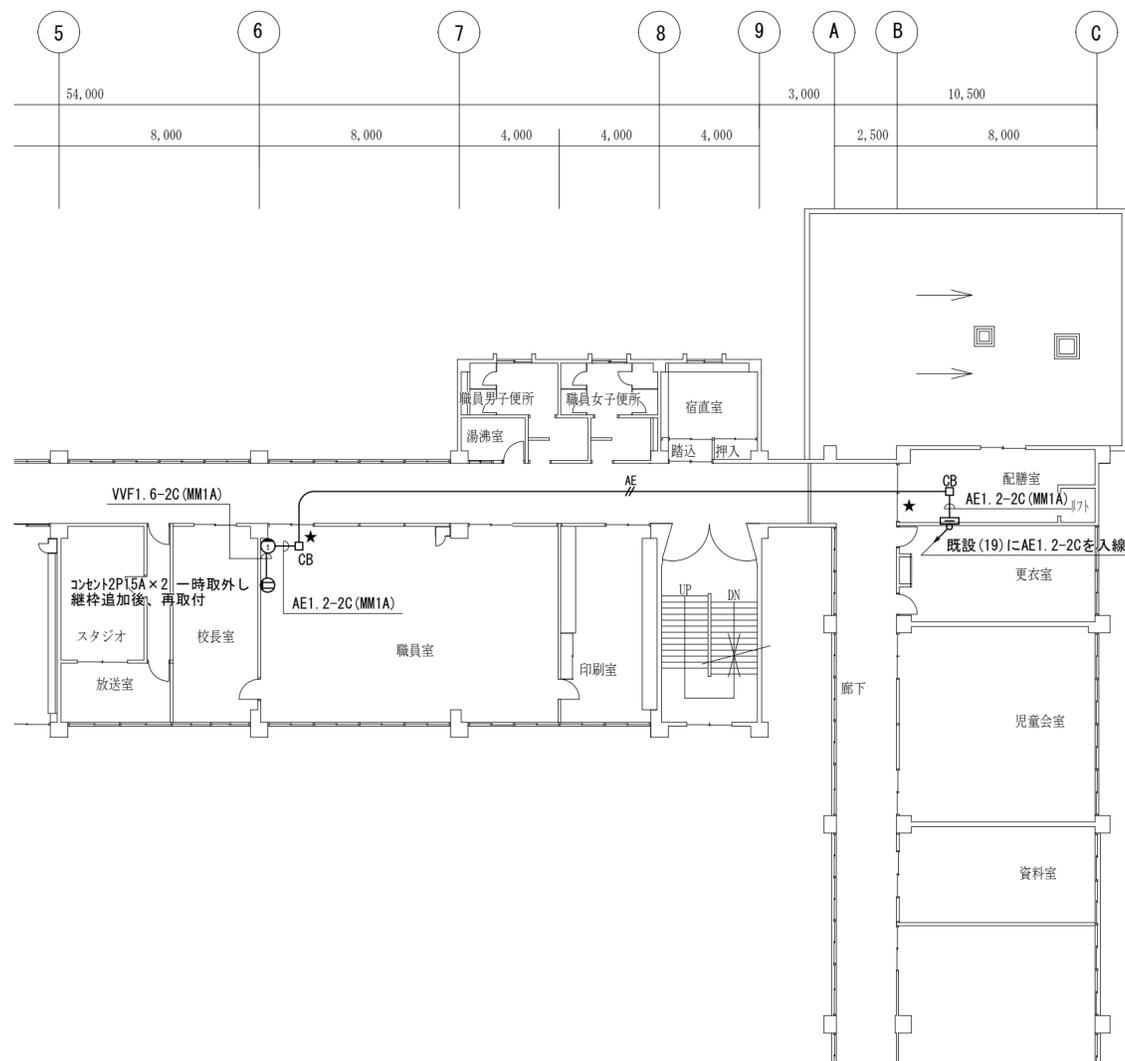
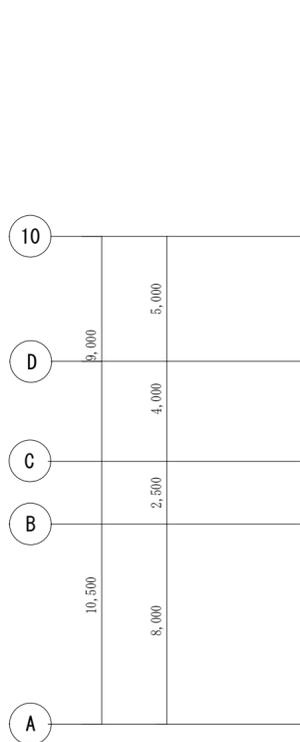
図中記入なき配線は下記とする	
1.6	WF1.6-2C (ころがし)
2.0	WF2.0-3C (ころがし) (内1Cは7-スを示す)
WF1.6-2C+WF2.0-3C	WF1.6-2C+WF2.0-3C (内1Cは7-スを示す)
3.5	CV3.5-4C (ころがし)
H3.5	CV3.5-4C (H128)

点線の器具および配線は、既設を示す
壁内立上げ部は、PF22にて保護とする

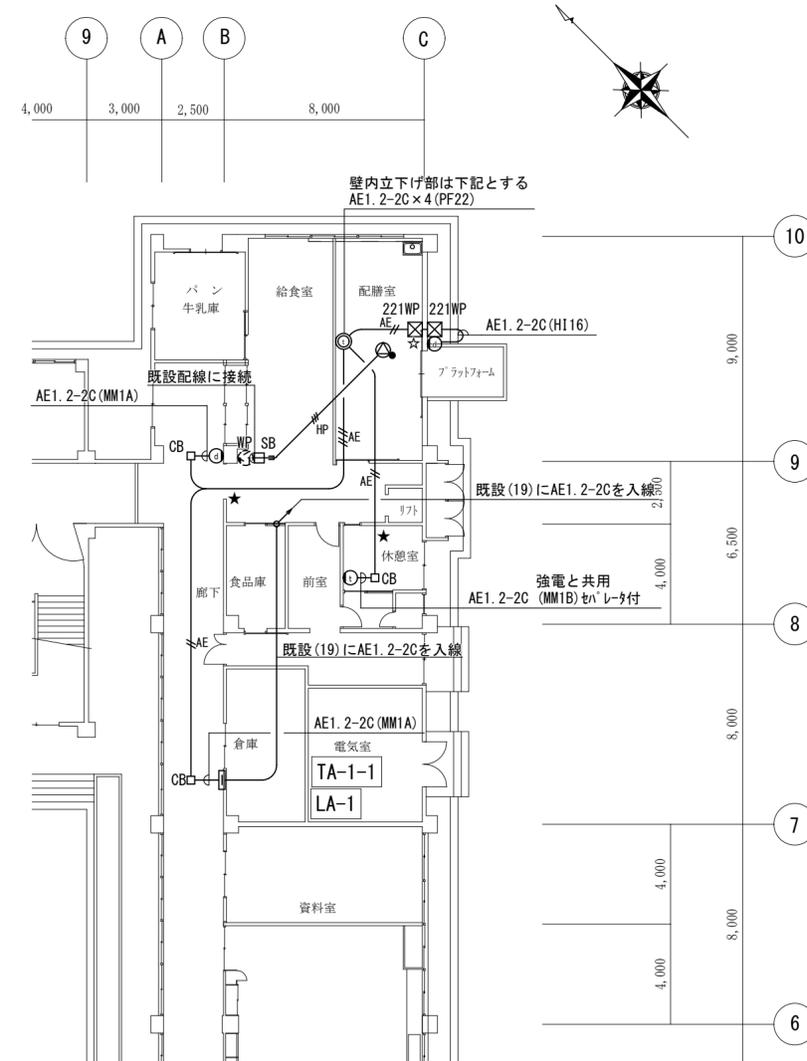
ブルボックスのサイズは、下記の通り
221WP: 200×200×100 SUS・WP

校舎棟1階平面図 1/50

備考	NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.265708 出口基樹		Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事	DATE	
			Drawing Title コンセント・動力設備 1F平面図(改修後)	SCALE	
			管理建築士 一級建築士 No.265708 出口基樹	担当建築士 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.327089 倉田和彦	A2:1/50
					E-07



2階平面図 1/200



1階平面図 1/200

<p>天井埋込スピーカ (ATT付) SC₀H₁-1V₃-M</p> <table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>5W(3.3kΩ)・1W(10kΩ)</td></tr> <tr><td>入力インピーダンス</td><td>3-3kΩ・10kΩ</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>100Hz~15kHz</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>92dB (1m-1W)</td></tr> <tr><td>使用スピーカ</td><td>16cmコーンスピーカ</td></tr> <tr><td>パネル</td><td>アルミバッキング</td></tr> <tr><td>音量調整</td><td>付設 (ATT付)</td></tr> </table>	定格入力	5W(3.3kΩ)・1W(10kΩ)	入力インピーダンス	3-3kΩ・10kΩ	周波数特性	100Hz~15kHz	出力音圧レベル	92dB (1m-1W)	使用スピーカ	16cmコーンスピーカ	パネル	アルミバッキング	音量調整	付設 (ATT付)	<p>モニター付親機</p> <p>参考型番: JH-2MAP-T</p> <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>本体: 自己消火性樹脂・アクリルパネル部: 難燃性樹脂</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>拡声自動交差通話/プレストーク通話</td></tr> <tr><td>モニター</td><td>3.5型 TFT カラー液晶</td></tr> <tr><td>移動視点</td><td>無電圧マークまたはブレーク検点</td></tr> <tr><td>増設親機</td><td>モニター付またはモニター無し合計3台</td></tr> <tr><td>録音機能</td><td>自動・手動録音、再生、保護、消去</td></tr> </table>	電源電圧	AC100V 50/60Hz	形状	壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)	材質	本体: 自己消火性樹脂・アクリルパネル部: 難燃性樹脂	通話方式	拡声自動交差通話/プレストーク通話	モニター	3.5型 TFT カラー液晶	移動視点	無電圧マークまたはブレーク検点	増設親機	モニター付またはモニター無し合計3台	録音機能	自動・手動録音、再生、保護、消去	<p>モニター付増設親機</p> <p>参考型番: JH-2HD-T</p> <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>本体: 自己消火性樹脂 アクリルパネル部: 難燃性樹脂</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>拡声自動交差通話/プレストーク通話</td></tr> <tr><td>モニター</td><td>3.5型 TFT カラー液晶</td></tr> </table>	電源電圧	AC100V 50/60Hz	形状	壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)	材質	本体: 自己消火性樹脂 アクリルパネル部: 難燃性樹脂	通話方式	拡声自動交差通話/プレストーク通話	モニター	3.5型 TFT カラー液晶	<p>カメラ付き玄関子機</p> <p>参考型番: JH-DA</p> <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>モニター付親機から供給</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr> <tr><td>カメラ</td><td>1/4型カラーCMOS</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>拡声自動交差通話</td></tr> <tr><td>備考</td><td>防雨形 (JIS C 0920 1PX3 相当)</td></tr> </table>	電源電圧	モニター付親機から供給	形状	壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)	材質	自己消火性樹脂	カメラ	1/4型カラーCMOS	通話方式	拡声自動交差通話	備考	防雨形 (JIS C 0920 1PX3 相当)
定格入力	5W(3.3kΩ)・1W(10kΩ)																																																						
入力インピーダンス	3-3kΩ・10kΩ																																																						
周波数特性	100Hz~15kHz																																																						
出力音圧レベル	92dB (1m-1W)																																																						
使用スピーカ	16cmコーンスピーカ																																																						
パネル	アルミバッキング																																																						
音量調整	付設 (ATT付)																																																						
電源電圧	AC100V 50/60Hz																																																						
形状	壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)																																																						
材質	本体: 自己消火性樹脂・アクリルパネル部: 難燃性樹脂																																																						
通話方式	拡声自動交差通話/プレストーク通話																																																						
モニター	3.5型 TFT カラー液晶																																																						
移動視点	無電圧マークまたはブレーク検点																																																						
増設親機	モニター付またはモニター無し合計3台																																																						
録音機能	自動・手動録音、再生、保護、消去																																																						
電源電圧	AC100V 50/60Hz																																																						
形状	壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)																																																						
材質	本体: 自己消火性樹脂 アクリルパネル部: 難燃性樹脂																																																						
通話方式	拡声自動交差通話/プレストーク通話																																																						
モニター	3.5型 TFT カラー液晶																																																						
電源電圧	モニター付親機から供給																																																						
形状	壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)																																																						
材質	自己消火性樹脂																																																						
カメラ	1/4型カラーCMOS																																																						
通話方式	拡声自動交差通話																																																						
備考	防雨形 (JIS C 0920 1PX3 相当)																																																						

プルボックスサイズは、下記の通り
221WP : 200×200×100 SUS・WP

図中記入なき配線は下記とする
 AE AE1.2-2C
 AE AE1.2-2C×2
 HP HP1.2-3C (ころがし)
 点線の器具および配線は、既設を示す

記号	名称
□	端子盤
○	モニター付親機
○	モニター付増設親機
○	カメラ付き玄関子機
□	プルボックス
□	コーナーボックス
☆	既設壁貫通
★	防火区画貫通処理
△	天井埋込スピーカ ATT付
⊙	壁掛スピーカ 防滴形
□	スイッチボックス

職 業 者				

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事			
Drawing Title	弱電設備 1F・2F平面図(改修後)			
管理建築士	担当建築士			
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 園分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦	

DATE	
SCALE	A2:1/200
	E-08

図示記号

記号	名称
———	給水管
- - - - -	通気管
———	排水管
——— ———	給湯管
——— G ———	ガス管
——— R ———	冷媒管
——— D ———	ドレン管
———	換気ダクト
⊕	給水栓
●	給湯栓
♀ ♂ ⊗	弁類
⊕	ガスコック
▽	ヒューズコック
⊖	床上掃除口
⊙	排水金物

衛生器具表

名称	参考品番	付属品	給入室	配膳室	合計
混合水栓	TKS05311J	壁付シングルレバー		1	1
	SF-WM435SY				
横水栓	T200SNR13C	呼び径 13mm	1		1
	LF-7R-13	呼び径 13mm			
電気温水器 (飲料・洗い物用)	REKB12A12	貯湯量：12L 電源：AC100V 消費電力：1.1KW		1	1
	EHPN-KA12ECV2	付属品：ウイクリータイマー 自動給排水 開放式排水ホッパー アンクル止水栓 他一式			
流し台	建築工事			(1)	(1)

備考	

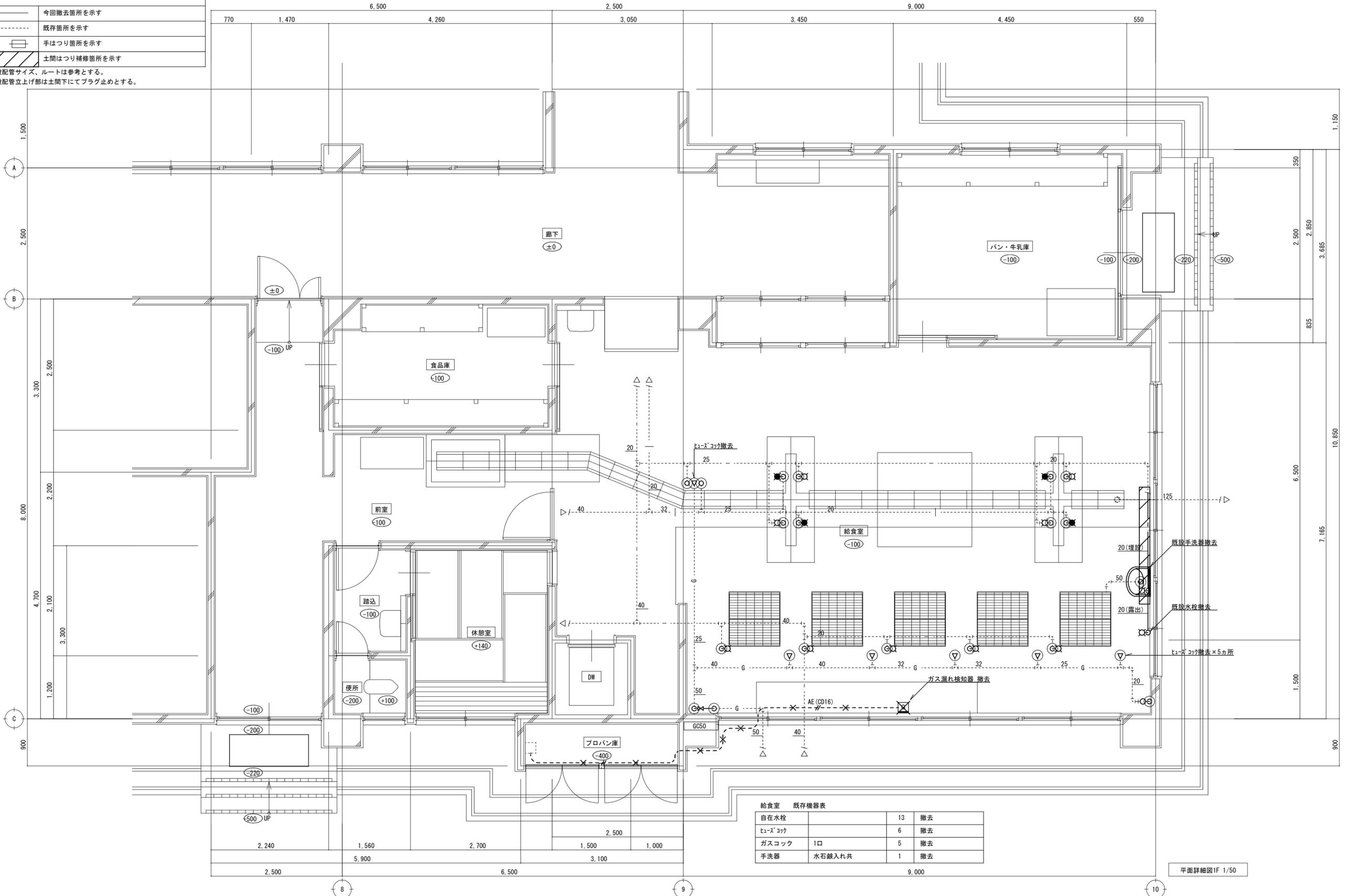
NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事	DATE
Drawing Title	図示記号・衛生器具表	SCALE
管理建築士	担当建築士	A2: NS A3: NS
一級建築士 No. 265708 出口基樹	一級建築士 No. 215909 関分孝之 一級建築士 No. 265708 出口基樹	一級建築士 No. 327089 倉田和彦

M-03
(原図：A2)

凡例	今回撤去箇所を示す
	既存箇所を示す
	手はつり箇所を示す
	土間はつり補修箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
既設配管立上げ部は土間下にてプラグ止めとする。



自在水栓		13	撤去
たこ焼き		6	撤去
ガスコック	1口	5	撤去
手洗器	水石鹸入れ共	1	撤去

平面詳細図 1F 1/50

業	
種	
号	

**NISSHIN
SEKKEI**

日新設計株式会社

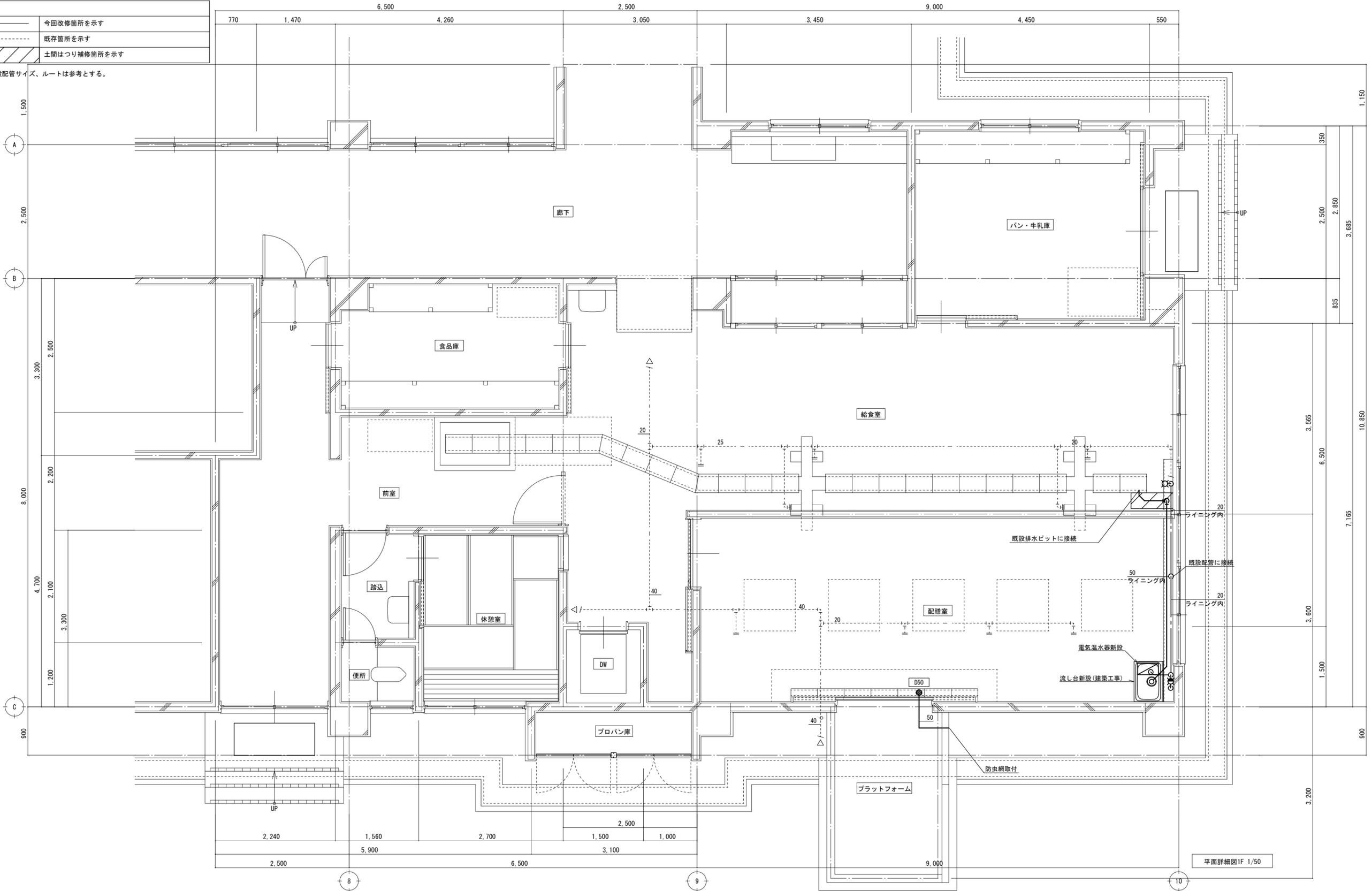
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事	DATE	
Drawing Title	平面詳細図 1F (改修前) 給排水衛生設備	SCALE	A2:1/50 A3:1/70
管理棟梁士		担当棟梁士	
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 関分孝之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦

M-04
(原図: A2)

凡例	
——	今回改修箇所を示す
---	既存箇所を示す
////	土間はつり補修箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。



平面詳細図1F 1/50

番 号	

**NISSHIN
SEKKEI**
 日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事
Drawing Title	平面詳細図1F(改修後) 給排水衛生設備
管理建築士	担当建築士
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 関分孝之 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.327089 倉田和彦

DATE	
SCALE	A2:1/50 A3:1/70
	M-05 (原図: A2)

空調機器表 形式：空冷ヒートポンプ式

機器番号	機器名称	形式・仕様	電気容量			台数	設置場所及び備考
			電源	圧縮機	消費電力		
			(V)	(KW)	(KW)		
PAC-1	パッケージエアコン	形式 天井カセット形 2方向	3-200	1.85	冷 2.59	1	配膳室
		冷房能力 10.0(2.5~11.2) kW			暖 2.69		
		暖房能力 11.2(2.8~14.0) kW			低温 4.18		
		付属品 化粧パネル、ワイドリモコン、防護ネット、他一式共					室外機転倒防止金物支持
		基礎 既成コンクリート基礎（防振ゴム敷）					
注記	運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。 空調機トッランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。 室外機—室内機間の二次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。 リモコン配線共本工事とする。室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。 機器は同等品以上とする。 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様とする。						

換気機器表

機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量		台数	設置場所及び備考
			電源	送風機		
			(φ-V)	(W)		
V-1	換気扇	形式 低騒音形	1-100	18.0	1	配膳室
	EX-20SC3-S	風量 460 m3/h				
		付属品 SUS深形フード(防鳥網)、電源スイッチ 他一式共				
0A-1	給排気グリル	形式 壁付形(フィルター付き)200φ			1	配膳室
		付属品 SUS深形フード(防虫網) 他一式共				
注記	消費電力は参考とする					

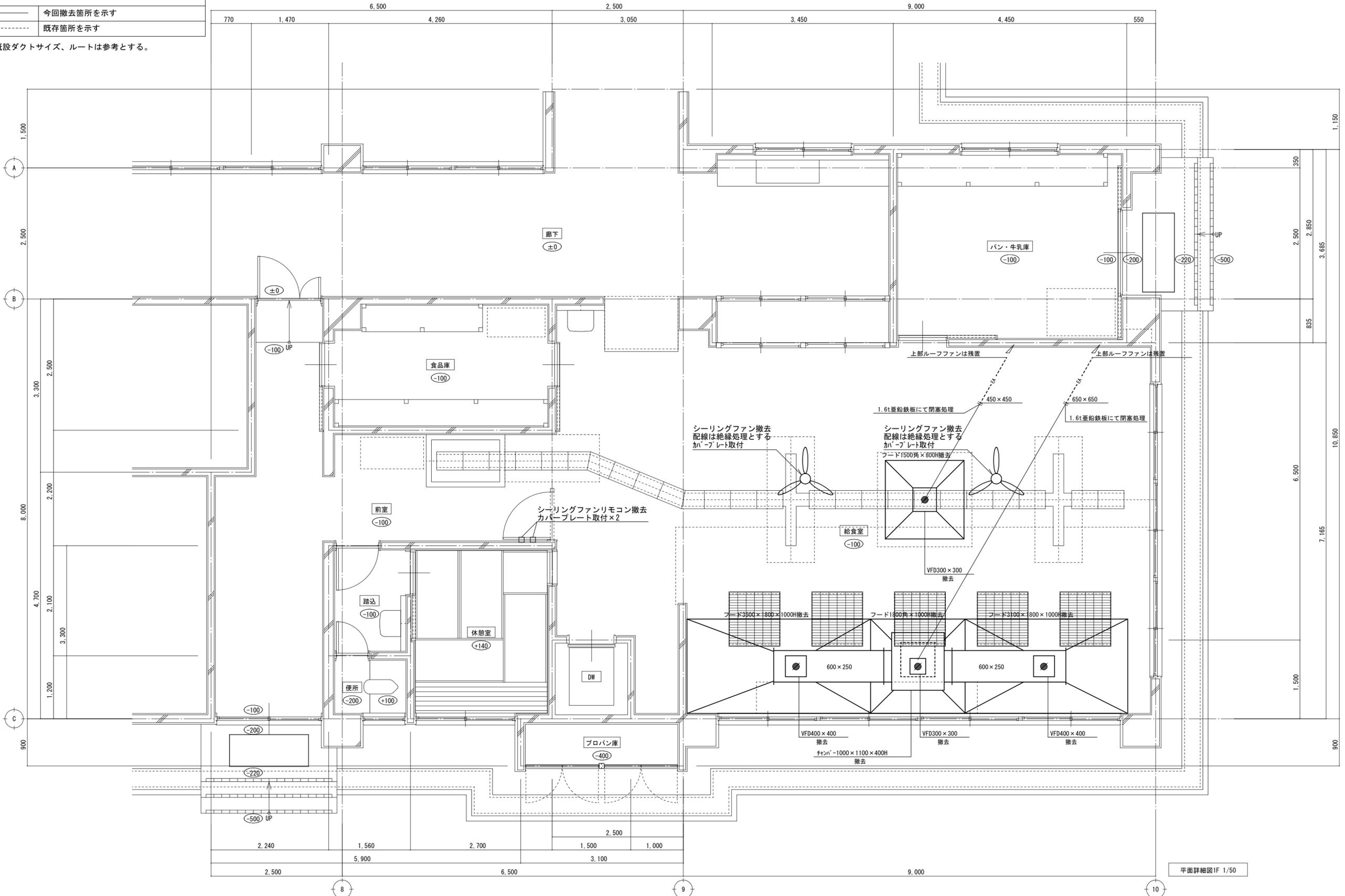
備考	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事	DATE
Drawing Title	空調機器表・換気機器表	SCALE
管理建築士	担当建築士	A2: NS A3: NS
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 園分憲之 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.327089 倉田和彦	M-06 (原図: A2)

凡例	
——	今回撤去箇所を示す
-----	既存箇所を示す

注記) 既設ダクトサイズ、ルートは参考とする。



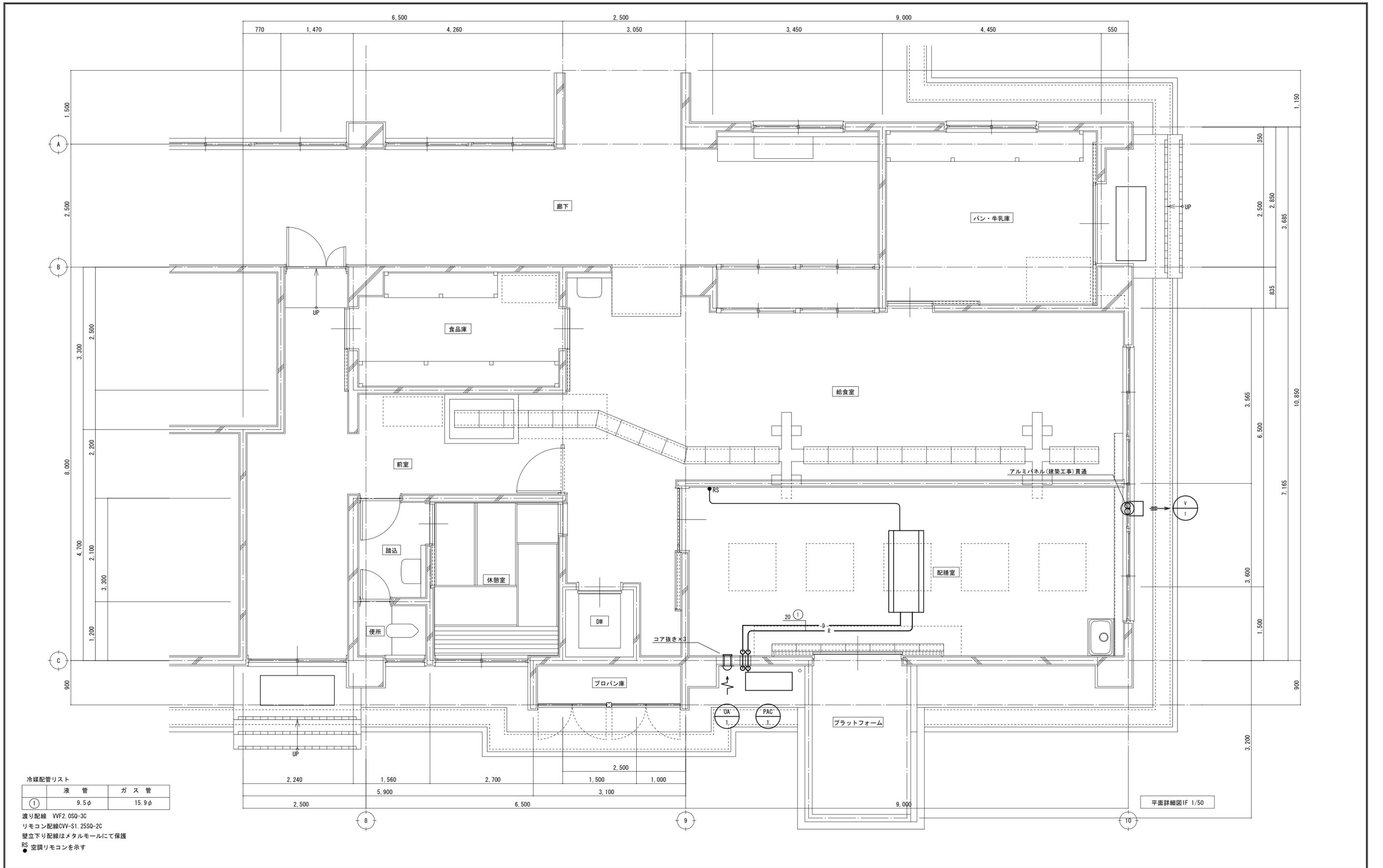
平面詳細図1F 1/50

審 査 欄	

**NISSHIN
SEKKEI**
 日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事
Drawing Title	平面詳細図1F(改修前) 空調換気設備
管理棟長	担当建築士
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 関分孝之 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.327089 倉田和彦

DATE	
SCALE	A2:1/50 A3:1/70
M-07 (原図:A2)	



冷媒配管リスト

①	液管	ガス管
	9.5φ	15.9φ

渡り配線 VVF2.0S0-3C
 リモコン配線CVV-S1.25S0-2C
 壁立下り配線はメタルモールにて保護
 RS 空調リモコンを示す

備考	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事	DATE	
Drawing Title	平面詳細図1F(改修後) 空調換気設備	SCALE	A2:1/50 A3:1/70
管理建築士	担当建築士		
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 関分孝之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦
			M-08 (原図: A2)